

防災業務アプリケーションユニット標準仕様

V1.0

平成21年3月



財団法人全国地域情報化推進協会

資料No.「業務1-2」

防災業務アプリケーションユニット標準仕様
【業務ユニット概要説明】

V1.0

平成21年3月



財団法人全国地域情報化推進協会

目 次

本資料の位置づけ	1
1.はじめに	1
1.1 適用範囲	1
1.2 想定する利用者	1
1.3 前提とする標準・規格	2
1.4 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様との関係	2
1.5 参考にした他仕様	3
2.防災アプリケーションユニット標準仕様の概要	4
2.1 本仕様の目的	4
2.2 防災情報共有ユニットのイメージ	4
2.3 目指す効果	5
2.4 本仕様のスコープ	5
2.5 防災情報共有ユニット概要説明	6
2.5.1 本仕様作成における基本方針	6
2.5.2 業務ユニットの策定方針	6
2.5.3 防災情報共有ユニット概要説明	6
2.5.4 インターフェース定義	7
2.5.5 定義対象データの利用イメージ	7
2.5.6 本仕様で定義する「防災情報共有ユニットの範囲」	9

防災業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0【業務ユニット概要説明】

本資料の位置づけ

地域情報プラットフォーム標準仕様は、業務モデル、サービス協調技術標準の仕様、及びガイドライン一式である。

本書「防災業務アプリケーションユニット標準仕様【業務ユニット概要説明】」は、業務モデル標準の仕様に位置付けられ、地域情報プラットフォーム標準仕様準拠の業務ユニットである「防災情報共有ユニット」を定義したものである。

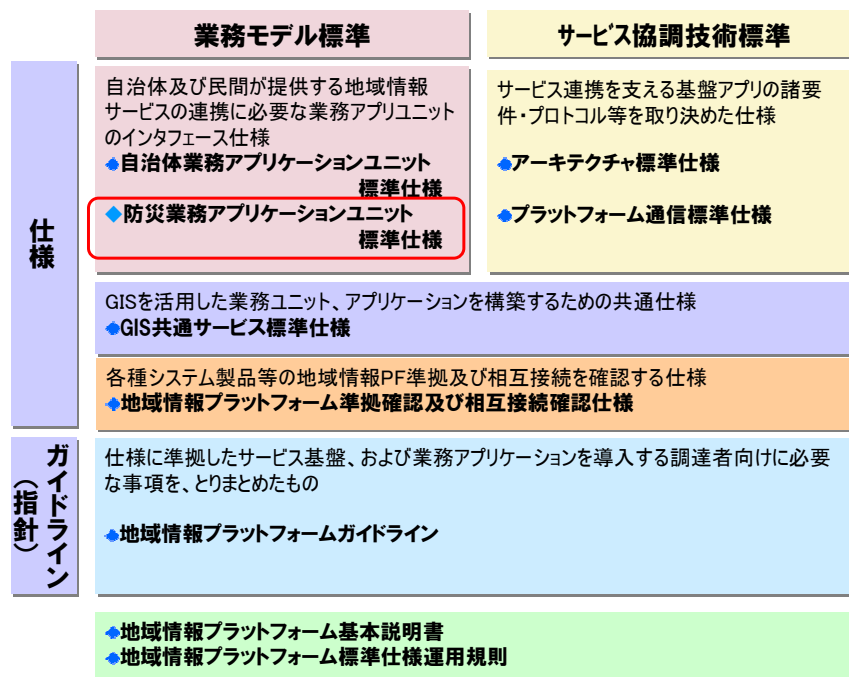


図 1-1.地域情報プラットフォーム標準仕様の体系

1 はじめに

1.1 適用範囲

本仕様は、地域情報プラットフォームに準拠する業務ユニットの1つである防災情報共有ユニットを開発、運用、管理する際に適用されるものとする。

1.2 想定する利用者

本仕様の主な利用者は以下を想定する。

- 対象
 - ① 防災アプリケーションの調達者(主に自治体)
 - ② 防災アプリケーションの開発者・インテグレータ

- 活用用途
 - ① 調達者

本仕様書が紹介する全国の自治体で共通利用可能な機能および国や他の自治体とのデータ共有/連携のあり方を参考にすることで、「調達業務の効率化」「調達精度の向上」の一助としての活用

- ② 開発者・インテグレータ

防災業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0【業務ユニット概要説明】

本仕様書が紹介する全国の自治体で共通利用可能な機能および各種団体間でのデータ共有/連携のあり方を参考にすることで、「調達者ニーズの効率的把握」「開発業務の効率化」「品質の向上」の一助としての活用

1.3 前提とする標準・規格

本仕様の策定にあたっては、以下に示す地域情報プラットフォームの各種仕様に準拠するものとする。

- アーキテクチャ標準仕様 V2.0
- プラットフォーム通信標準仕様 V2.0
- 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様 V2.0

1.4 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様との関係

自治体業務アプリケーションユニット標準仕様との関係については、表 1-1 の内容で連携を想定している。

表 1-1.自治体業務アプリケーションユニット標準仕様ドキュメントとの関係

項番	ドキュメント名	防災業務アプリケーションユニット標準仕様での対応
1	標準仕様の読み方	自治体業務アプリケーションユニット標準仕様の資料である業務 1-1 を踏まえることとし、本仕様では特に定義しない
2	業務ユニット概要説明	資料番号 業務 1-2 として定義
3	業務ユニット番号一覧	資料番号 業務 1-3 として定義
4	機能一覧	資料番号 業務 1-4 として定義
5	機能構成図(DMM)	資料番号 業務 1-5 として定義
6	機能情報関連図(DFD)	資料番号 業務 1-6 として定義
7	インターフェース仕様	資料番号 業務 1-7 として定義
8	データ一覧	資料番号 業務 1-8 として定義
9	インターフェース一覧	資料番号 業務 1-9 として定義
10	XML スキーマ	資料番号 業務 1-10 として定義
11	WSDL 定義	資料番号 業務 1-11 として定義
12	項目セット辞書	自治体業務アプリケーションユニット標準仕様で既に定義されている項目セット辞書を活用することとし、本仕様では定義しない
13	コード辞書	自治体業務アプリケーションユニット標準仕様で既に定義されている項目セット辞書を活用することとし、防災特有のコードについては資料番号 業務 1-13 として定義
20	法改正対応状況と留意事項	自治体業務アプリケーションユニット標準仕様の資料である業務 1-20 を踏まえることとし、本仕様では特に定義しない
21	標準仕様の記載ルール	自治体業務アプリケーションユニット標準仕様の資料である業務 1-21 を踏まえることとし、本仕様では特に定義しない
30	ワンストップサービス分析ドキュメント記載ルール	自治体業務アプリケーションユニット標準仕様の資料である業務 1-30 を踏まえることとし、本仕様では特に定義しない

1.5 参考にした他仕様等

本仕様の策定にあたっては、表 1-2 の通り既存の仕様書等を参考にした。

表 1-2.参考にした他仕様書等一覧

	既存の標準仕様等	概 要
1	CAP(Common Alerting Protocol)V1.1	緊急時の警報情報を交換することを目的とし、OASIS (Organization for the Advancement Structured Information Standards) が標準として承認している仕様
2	関西広域連携情報共通基盤の取組事例	関西広域連携協議会(現在は関西広域連携機構)が中心となり、関西圏の 2 府 4 県 4 政令市・放送局・ライフライン事業者等が CAPV1.1 の避難警報を中心に日本語へのローカライズを実施)
3	減災情報共有プロトコル(スキーマ)	発災後～3 日間程度の緊急対応時に被災市町村の災害対応業務の円滑化を図り、被害を軽減させることを目的とし、独立行政法人防災科学技術研究所・独立行政法人産業技術総合研究所が中心になって研究・開発した「減災情報共有プラットフォーム」の一環として策定されているデータ交換標準仕様。 現在、本仕様(研究成果)は特定非営利活動法人防災推進機構により継承されている
4	TVCML(Television Common Markup Language)Version2.0	デジタル放送や地域情報共通 XML フォーマットを使用し、デジタル放送で公共的な情報を交換するための手段の総称である。デジタル放送地域情報 XML 共通化研究会において、TVCML を災害情報の伝達に活用することをテーマに検討を行っている

防災業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0【業務ユニット概要説明】

2 防災業務アプリケーションユニット標準仕様の概要

2.1 本仕様の目的

全国の地方公共団体が共通利用可能な公共ネットワークを活用した防災分野における公共アプリケーションを整備し、策定した公共アプリケーションを普及促進することを目的としている。

この目的を実現するために以下の内容を APPLIC 防災 WG において検討を行った。

- 地方公共団体が防災アプリケーションを整備するにあたり、標準的に装備すべき機能の定義と推奨仕様の提示＜防災アプリケーション基本提案書(第3版)において整理＞
- 災害発生時に市町村～都道府県～国の間で共有すべき災害情報を整理し、ICT を活用することでこれら災害情報を迅速・円滑に共有するための仕組み(共有データの標準フォーマット制定、管理)づくり＜防災業務アプリケーションユニット標準仕様 V1.0 において定義＞
- 防災・災害情報を庁内・庁外で共有化するためのネットワークを構築する際に必要なノウハウを集約した構築ガイドラインの提示＜防災ネットワーク整備ガイドラインにおいて整理＞

本仕様により、図 2-1 のような防災アプリケーション同士が有機的に連携し、防災情報の共有/連携が実現することを目指している。

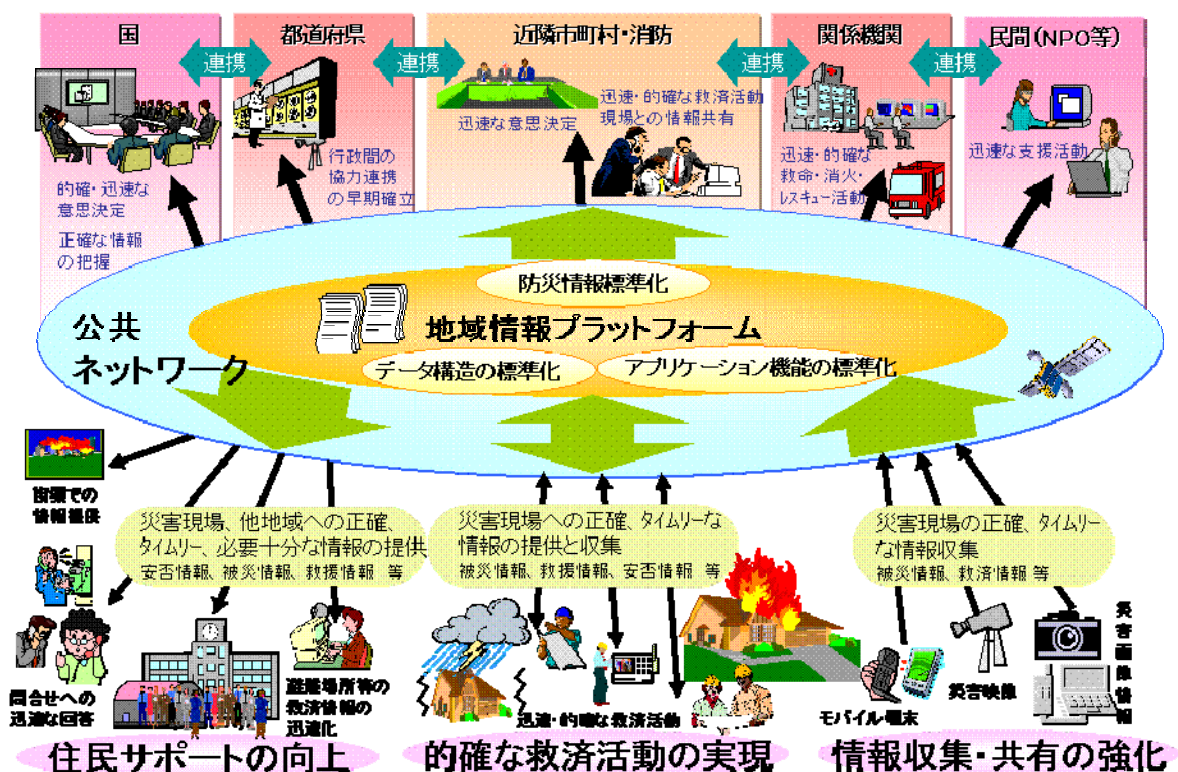


図 2-1. 防災アプリケーションの活用イメージ(将来像)

2.2 防災情報共有ユニットのイメージ

防災情報共有ユニットは、図 2-2 のとおり地域情報プラットフォーム上において、インターフェース仕様が統一されているため各ユニット間でデータ連携が可能となる。



以下の効果を産み出すことを目指している。

- 本仕様では、自治体内・自治体間および国の機関の業務(GtoG)を対象としている(図 2-3 参照)。
今後、住民(GtoC)まで順次拡大を予定(標準仕様の合意形成等普及活動の推進後検討)



防災業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0【業務ユニット概要説明】

2.5 防災情報共有ユニット概要説明

2.5.1 本仕様策定における基本方針

本仕様を策定するにあたり、以下の点を基本方針とした

- 既に世の中に存在する防災情報共有を目的としたデータ標準を参考にし、互換性または親和性の確保を目指す

2.5.2 業務ユニットの策定方針

地域情報プラットフォームに準拠した業務ユニットを策定するにあたり、「自治体の業務調達単位」で分けることが望ましいため図 2-4 の 4 ユニット案を定め、まずは自治体間の防災情報の共有/連携を目的とした「防災情報共有業務ユニット」を検討・策定することとし、その他 3 業務ユニットについては、平成 21 年度以降の普及・展開状況を踏まえつつ別途整理することとした。

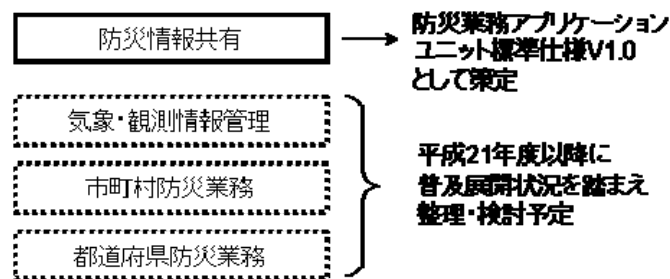


図 2-4.業務ユニット体系図

2.5.3 防災情報共有ユニット概要

表 2-1 にて、業務ユニットの機能対象範囲の概要を示す。

表 2-1.業務ユニット概要説明

業務ユニット 番号	業務ユニット 名	概要
AB01	防災情報共有	国や都道府県、市町村、その他災害対応活動に関わる団体が個々に保有する災害情報をそれぞれの団体間で共有し、各種災害情報を閲覧、入手することを可能とし、各団体の災害対応活動の向上に寄与することを実現する

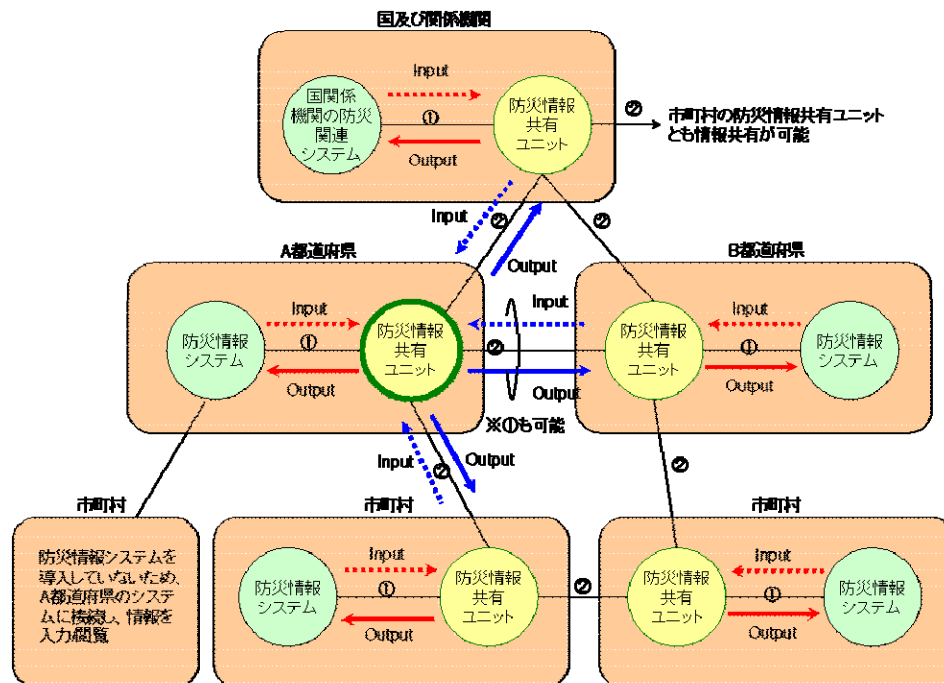
防災情報共有ユニットは、表 2-1 の機能を実現するユニットであるが、既に国や都道府県、市町村において運用されている防災情報システム等にこの機能が実装されていないという点において、現在世の中に無い仕組みである。しかし本WGでは、団体間で災害情報の共有/連携が必要だと考えることから、この機能を実現するための「データ標準仕様」として定義した。

従って、防災情報共有ユニットを普及・展開するには、普及・展開の初期段階においては、既に国や都道府県、市町村において運用されている防災情報システムを利活用しつつ、本業務ユニットの機能を実装していくことを視野に入れている。そのためには既設の防災情報システムの付加機能（オプション機能）として実装され、徐々に普及・展開が進み、既設の防災情報システムが更改されるタイミングで、本仕様書に基づく防災情報システムの調達・開発・運用を行うことで、防災情報システムと防災情報共有ユニットが一体となり、自治体内で災害情報を防災情報システムに登録・蓄積することにより、自治体間で災害情報を共有/連携するサービスが普及することを目指している。

防災業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0【業務ユニット概要説明】

2.5.4 インターフェース定義

団体間で災害情報を共有するインターフェースを図2-5の通り定義。このインターフェースを実装することで、国（関係機関含む）～都道府県間及び都道府県間、都道府県～市町村間の情報共有が可能となり、最終的に各団体に実装された防災情報共有ユニット間でデータを交換することも可能となることを目指している。



* 本ユニットは、防災情報システムに内包される機能として実装されるケースも想定される。

F.例

- ①インターフェース番号: 1-1
②インターフェース番号: 1-2

①国関係機関、都道府県、市町村からデータを防災情報共有ユニットへ格納

Input データ格納(登録)

Output ← データ登録結果

②他防災情報共有ユニットからデータを参照要求を行い、参照データを返す(ユニット間データ交換)

Input データ参照要求(検索)

Output ← データ参照要求結果(検索結果)

図 2-5.インターフェース図

2.5.5 定義対象データの利用イメージ(団体内データ連携の例)

団体内の他の防災アプリケーションや自治体基幹系システムが地域情報プラットフォームに準拠している場合、そのシステムで扱っているデータを共有・連携し、防災業務の効率化に寄与することができる。

例えば、図2-6のように、住民基本台帳アプリケーションの住民情報を利用し、防災アプリケーションにおける避難所管理の機能において、避難者リストを自動生成することが可能となる。従来は、避難所において住民が避難してきたら1件1件入力していたが、この仕組みにより避難所運営稼働が軽減化され、住民サービスの向上に寄与すると考えられる。

具体的な活用例として、図2-7のように、避難所運営において、予め避難予定の住民の情報

防災業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0【業務ユニット概要説明】

をリスト化して表示しておくことで、避難所へ派遣された職員は避難者受入確認の業務においてクリック操作のみで登録が可能となる。これにより避難者への対応が迅速化している。

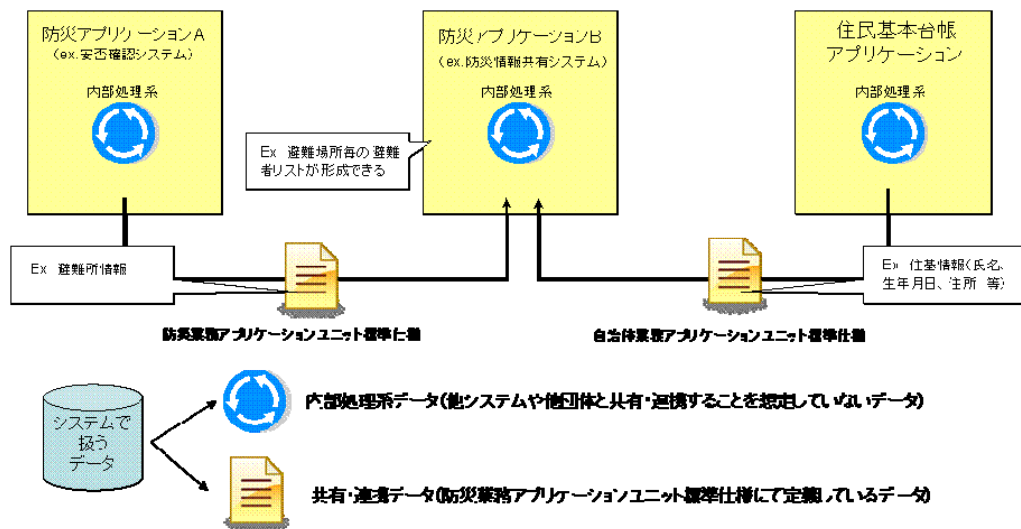


図 2-6.定義対象データの利用イメージ

No	詳細	予定地区	氏名	フリガナ	性別	生年月日	住所	状態	避難済	退去
1	詳細	三里	本田 妙子	ホンダタエコ	女	1936/04/01	岐阜市六条江東1丁目16番8号	未確認	☐	☐
2	詳細	三里	寺井 正	テライタダシ	男	1954/07/17	岐阜市清760番地16	未確認	☐	☐
3	詳細	三里	野原 紀彦	テライノリヒコ	男	2002/05/22	岐阜市清760番地16	未確認	☐	☐
4	詳細	三里	佐々木 信子	テライノブコ	女	2003/07/21	岐阜市清760番地16	未確認	☐	☐
5	詳細	三里	小島 実	コジマミノル	男	1970/11/22	岐阜市清822番地	未確認	☐	☐
6	詳細	三里	亀谷 孝雄	カメガイタカオ	男	1971/10/24	岐阜市清822番地	未確認	☐	☐

図 2-7.住民基本台帳情報を活用した避難者リスト画面の例
(岐阜市防災システムでの活用事例)

防災業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0【業務ユニット概要説明】

2.5.6 本仕様で定義する「防災情報共有ユニット」の対象範囲

「防災情報共有ユニット」で定義されているデータの対象範囲は図 2-8 の通りである。災害対応フェーズ毎に必要な業務を想定し、情報の登録者が誰で、どんな情報が、いつ必要とされているかという観点で整理した。

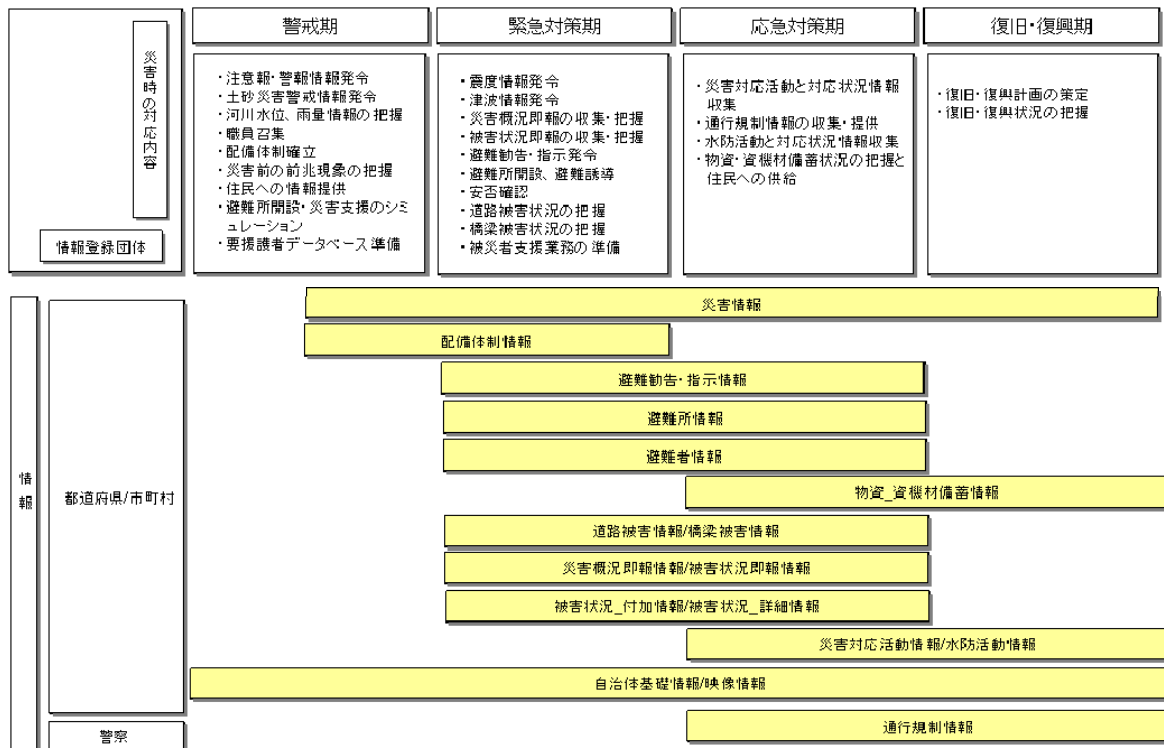


図 2-8. 定義データ俯瞰図

図 2-8 における各データの意味は表 2-2 の通りである。なお、本仕様では、異なる団体間で共有/連携するための情報を、業務の観点から抽出・定義しているため、庁内での情報共有を前提とした情報項目は標準化の「対象外」としている。

なお、気象情報については、気象庁が策定する「気象庁防災情報 XML フォーマット(*)」を推奨することとし、両仕様に基づく情報共有の具体的方法については次年度以降引き続き検討を進めていくこととする。

*「気象庁防災情報 XML フォーマット」

市町村向けの警報等、今後提供が計画されている、より詳細で高度化された気象警報や津波警報等の防災情報を可能な限り多くの人に有効に活用することを目的として検討をおこなっている仕様である。H20 年度末に V1.0 が発表される予定である。(気象庁防災情報 XML フォーマット参照)

防災業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0【業務ユニット概要説明】

表 2-2.定義データ説明

NO	データ項目名	項目説明
01	災害情報	災害発生時に命名する災害名。通常、災害情報は災害名に紐付く形で管理される
02	災害概況即報	消防庁第4号様式(その1)の情報。災害の具体的な状況、個別の災害現場の概況等を報告する場合、災害の当初の段階で被害状況が十分に把握できていない場合(例えば、地震等の第一報で、死傷者の有無、火災、津波の発生の有無等を報告する場合)に本様式に情報を記入し報告を行う
03	被害状況即報	消防庁第4号様式(その2)の情報。災害の被害状況及び応急措置の実施措置の実施状況等を取り纏め、報告を行う
04	被害状況_付加情報	消防庁第4号様式で扱っていない被害情報項目を付加情報として整理
05	被害状況_詳細情報	被害情報の1事案に関する詳細情報。人的被害情報であれば、いつ、どこで、誰が、どのような被害を受けているか…等
06	避難勧告_指示情報	住民へ甚大な被害が及ぶと想定される場合に、市町村が住民に対して避難所や避難場所へ避難するよう勧告または指示を行った情報
07	避難所情報	避難所の運営状況に関する情報。避難所の名称、被害状況、開設の可否、閉鎖状況、避難者数等
08	避難者情報	避難所へ避難している住民に関する情報。避難者名、怪我の有無等避難者個々の状態、避難/退所状況等 (注)本情報は、個人情報を含むため、共有サーバ等での不特定な団体間での共有対象とはせず、情報の取扱について協定を締結した団体間での個別通信でのみ参照可能な情報と想定する
09	災害対応活動情報	災害対応活動に関する情報。例えば、発生した被害に対する対応/処置状況に関する情報等
10	配備体制情報	地域防災計画に基づき、災害が発生し、または災害が発生する恐れがある場合において、防災活動を推進するために必要がある時に、各団体にて定められている基準に基づき配備体制を敷く際の配備体制名に関する情報
11	通行規制情報	各種道路の規制状況に関する情報
12	水防活動情報	洪水や高潮等の恐れがある時にその現場へ出動し、氾濫等による被害拡大を防止するために対応/処置する水防活動に関する活動報告
13	自治体基礎情報	災害対応時に使用する可能性が高い公共施設(自治体管理対象)の情報。
14	物資_資機材備蓄情報	平常時より管理・備蓄している物資数、資機材数に関する情報
15	道路被害情報	道路に関する被害情報
16	橋梁被害情報	橋梁に関する被害情報
17	映像情報	各団体における定点カメラ映像や公共施設管理のカメラ映像等に関する情報

資料No.「業務1－3」

防災業務アプリケーションユニット標準仕様
【業務ユニット番号一覧】

V1.0

平成21年3月



財団法人全国地域情報化推進協会

目 次

本書の位置づけ	1
業務ユニット番号一覧	2

本資料の位置づけ

本書「防災業務アプリケーションユニット標準仕様【業務ユニット番号一覧】」は、業務ユニットとそれに対応する業務ユニット番号を示したものである。

業務ユニット番号の採番に関する基本的な考え方については、「(業務1－21)標準仕様の記載ルール」を参照のこと。

防災業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0【業務ユニット番号一覧】

下記に、各業務ユニットの業務ユニット番号を示す。

業務ユニット番号	業務ユニット名称
AB01	防災情報共有

表 1 業務ユニット番号一覧

資料No.「業務1-4」

防災業務アプリケーションユニット標準仕様
【機能一覧】

V1.0

平成21年3月



財団法人全国地域情報化推進協会

目 次

本書の位置づけ	1
機能一覧	2

本資料の位置づけ

本書「防災業務アプリケーションユニット標準仕様【機能一覧】」は、各業務ユニットに含まれる機能を定義し、その機能の内容を説明したものである。

機能は階層構造で定義されており、最下位の機能レベルは、一般的な機能の単位としての機能を、上位の機能レベルは、下位レベルの機能をグループ化したものである。

各業務ユニットを実装するにあたっては、本機能一覧と階層構造は異なってもよいが、少なくとも最下位レベルで定義された機能を持つことが必要である。

<<準拠ルール>>

： 各業務ユニットは、本機能一覧で定義される、最下位レベルの各機能を持つこと。

なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なってもよい。（必須）[1.4]

機能一覧		業務名
		防災情報共有
機能（レベル〇１）	機能（レベル〇２）	機能説明
1.1.登録	1.1.1.自動登録	各団体から動的に格納されるデータを登録する（都道府県や関係機関への報告情報の登録も含む）
	1.1.2.手動登録	予め登録しておく静的なデータ（ex 避難所情報、自治体基礎情報等）を手動で登録する
	1.1.3.変更・更新	登録されているデータの変更・更新や欠落したデータを追加する
1.2.削除	1.2.1.登録データ削除	登録されているデータを手動で削除する
1.3.参照	1.3.1.データ参照	団体職員が登録されているデータを参照する
	1.3.2.災害名検索・照会	災害名から登録されているデータの検索や照会を行う
	1.3.3.団体別検索・照会	団体名（都道府県、市町村、消防本部、施設管理者）から登録されているデータの検索や照会を行う
	1.3.4.時間別検索・照会	日時から登録されているデータの検索や照会を行う
	1.3.5.情報別検索・照会	災害情報から登録されているデータの検索や照会を行う

資料No.「業務1-5」

防災業務アプリケーションユニット標準仕様
【機能構成図（DMM）】

V1.0

平成21年3月



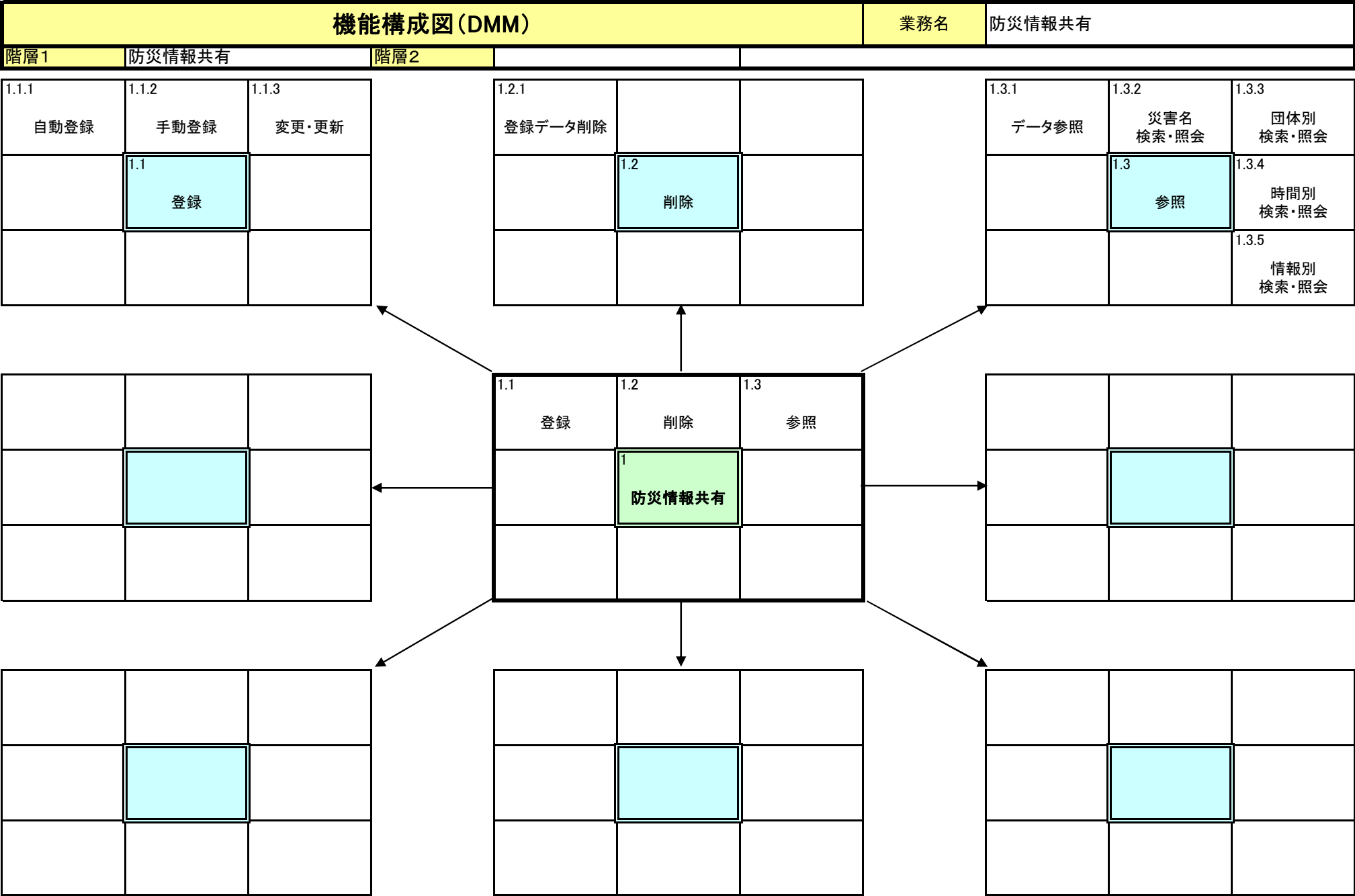
財団法人全国地域情報化推進協会

目 次

本書の位置づけ	1
機能構成図(DMM)	2

本資料の位置づけ

本書「防災業務アプリケーションユニット標準仕様【機能構成図(DMM)】」は、同標準仕様「機能一覧」(業務1-4)にて定義された業務ユニット内の機能の構成を階層的に表したものである。「機能一覧」(業務1-4)、および「機能情報関連図(DFD)」(業務1-6)とは、機能番号で関連付けられている。



資料No.「業務1－6」

防災業務アプリケーションユニット標準仕様
【機能情報関連図（DFD）】

V1.0

平成21年3月



財団法人全国地域情報化推進協会

目 次

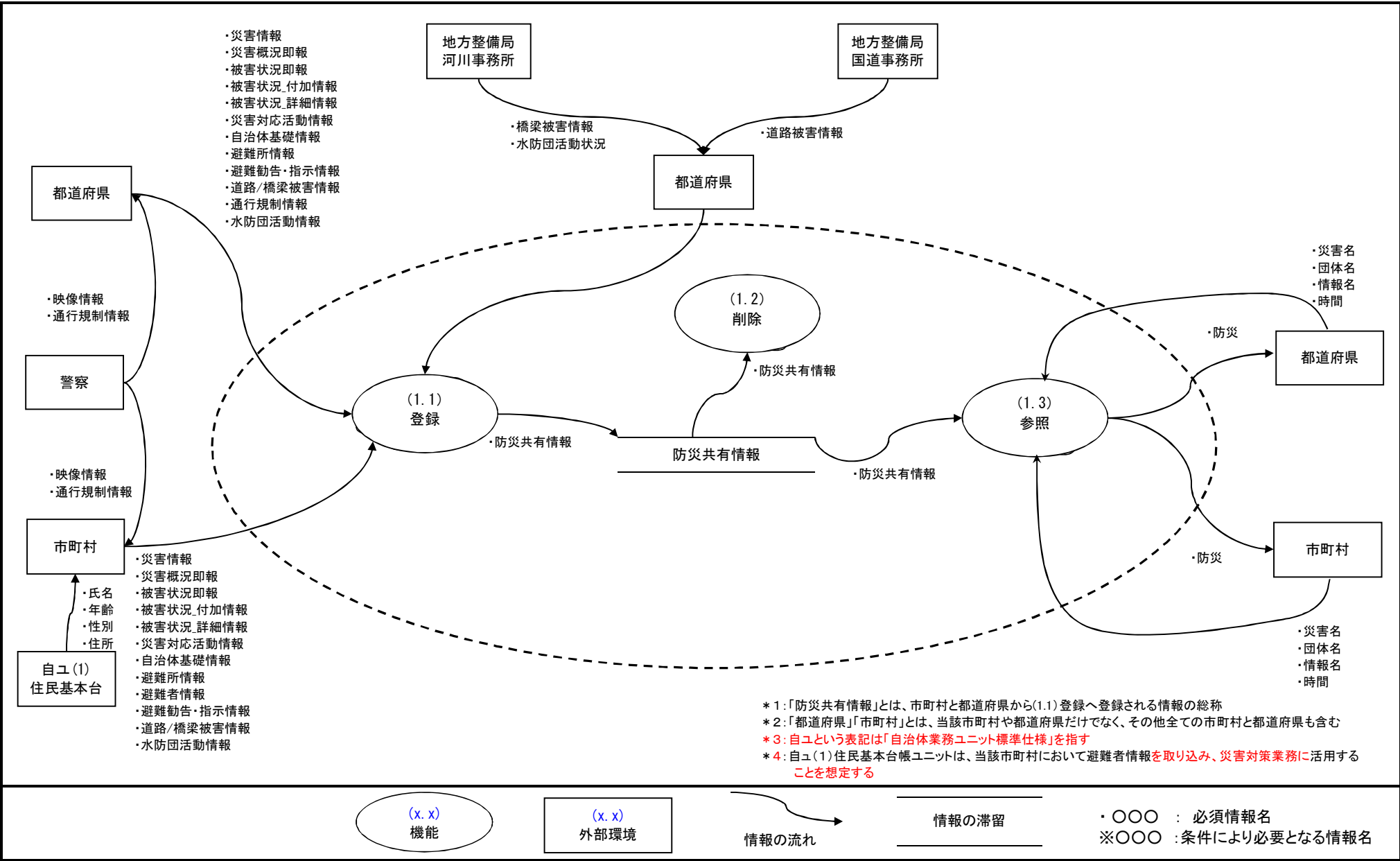
本書の位置づけ	1
機能情報関連図(DFD)	2

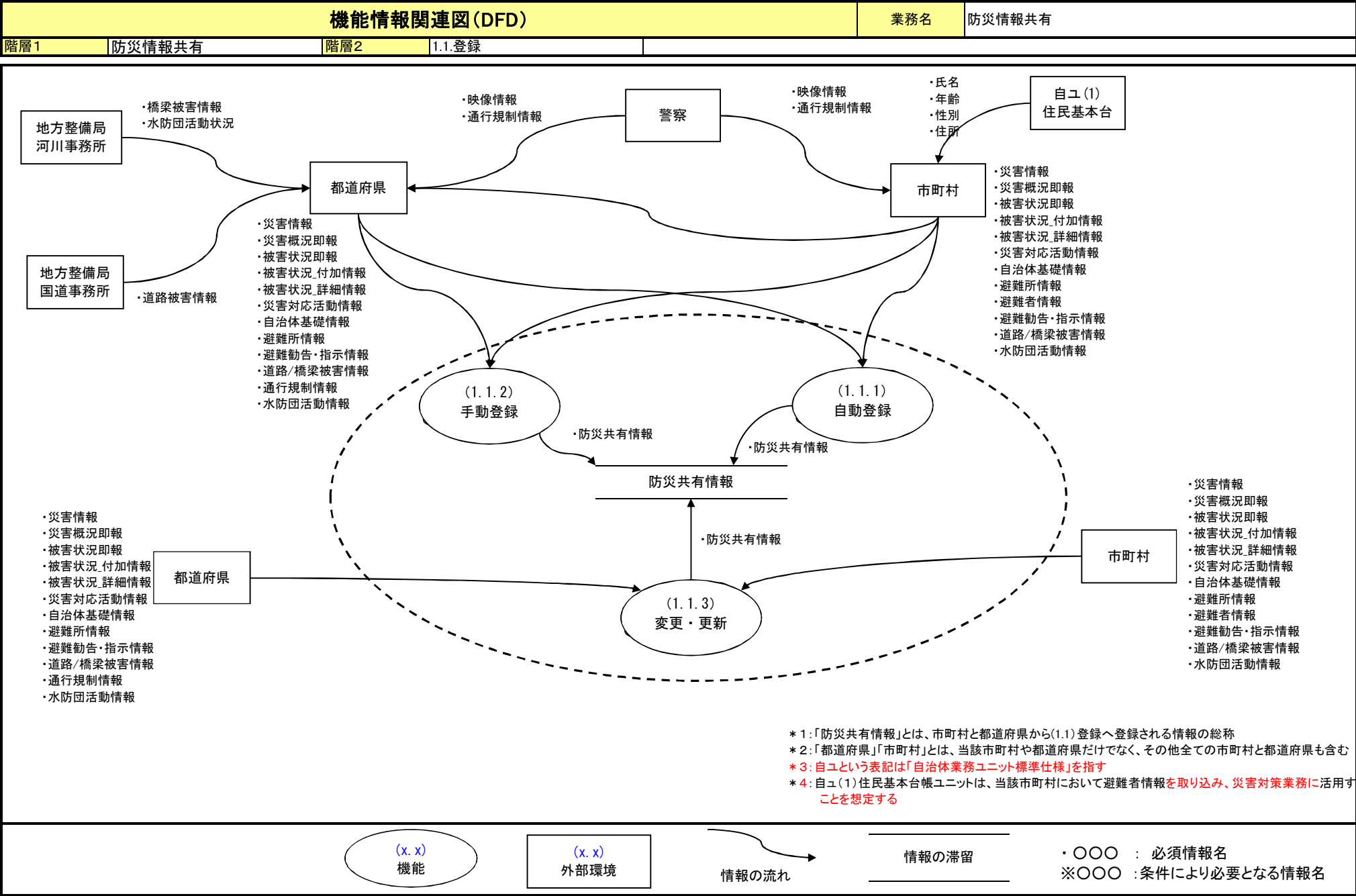
本資料の位置づけ

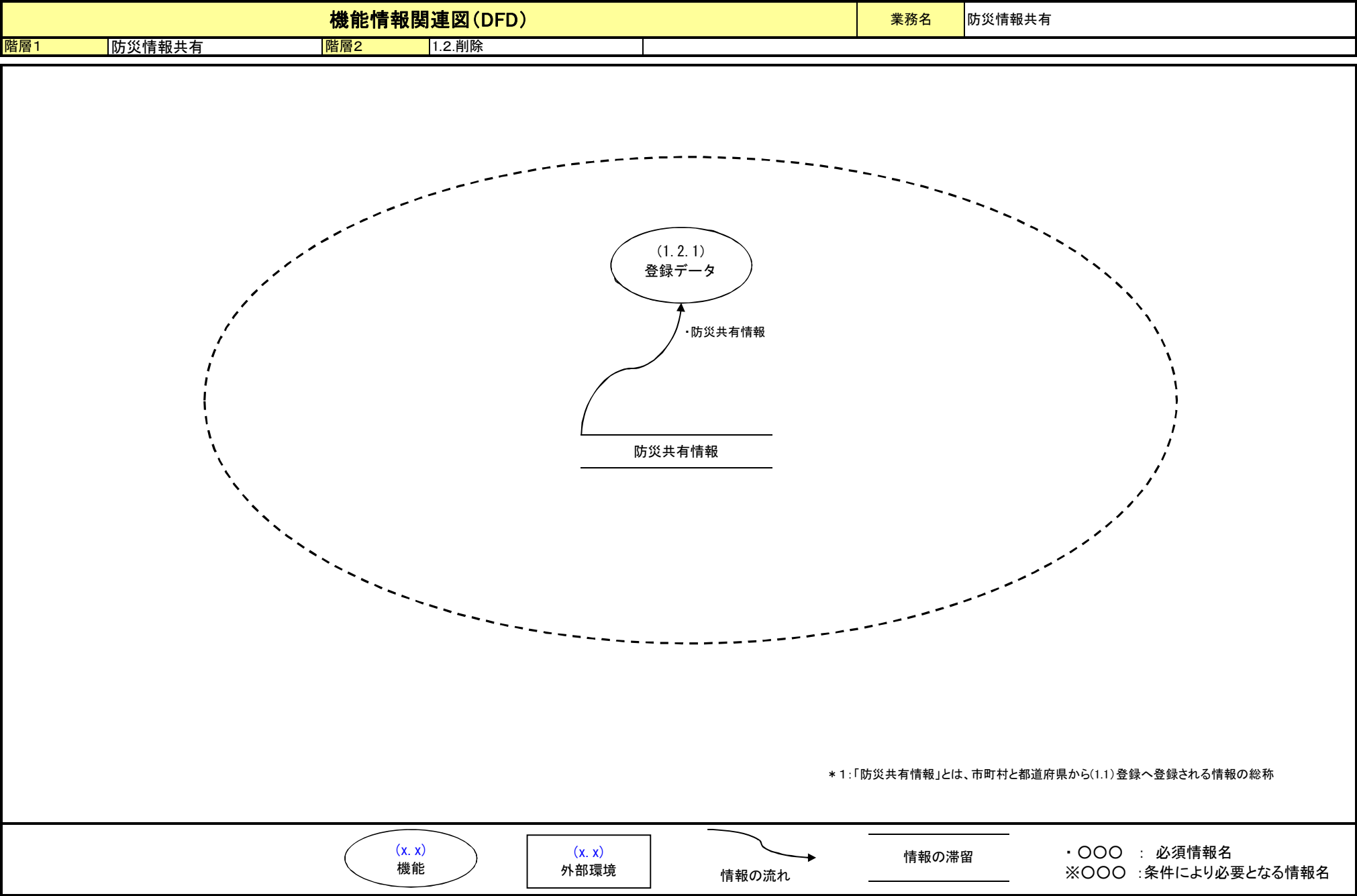
本書「防災業務アプリケーションユニット標準仕様【機能情報関連図(DFD)】」は、業務ユニット間のデータ相関関係及びデータの連携を表すものであり、「機能一覧」(業務1－4)、および「機能情報関連図(DFD)」(業務1－6)とは、機能番号で関連付けられている。また、階層1は、「インタフェース仕様」(業務1－7)と対応しており、その根拠となる資料である。

各業務ユニットは、階層1で示される他の業務ユニットとのデータ連携を実現することが必要である。

機能情報関連図(DFD)				業務名	防災情報共有
階層1	防災情報共有	階層2			







資料No.「業務1-7」

防災業務アプリケーションユニット標準仕様
【インタフェース仕様】

V1.0

平成21年3月



財団法人全国地域情報化推進協会

目 次

本書の位置づけ	1
---------------	---

本資料の位置づけ

本書「防災業務アプリケーションユニット標準仕様【インタフェース仕様】」は、業務ユニット間で連携するデータ項目と入出力を表したものである。同標準仕様「機能情報関連図(DFD)」(業務1-6)の階層1と対応している。

各業務ユニットは、本インタフェース仕様で規定されている他の業務ユニットとのデータ項目の連携を実現することが必要である。

<<準拠ルール>>

- : 各業務ユニットは、利用側業務ユニットに対し、本インタフェース仕様で規定されているデータ項目(オンライン連携、バッチ連携問わず)を提供できること。
(必須) [1.7]
- : 防災情報共有ユニットは、防災情報共有ユニット同士でデータを交換するものとしており(詳細は業務ユニット概要の7ページ参照)、インターフェースとして送受信するデータは、防災情報共有ユニットのデータ一覧で定義している「全てのデータがインプットおよびアウトプットの対象」となる
- : 防災情報共有ユニットは、防災情報システムに内包される機能として実装されるケースが想定される
- : 防災情報システムの避難者管理機能等において、自治体業務アプリケーションユニット標準仕様で定義されているユニットである住民基本台帳ユニットから住民情報を利用して避難者リストを作成する等の利用方法があるが、これらの機能を実装する場合は、住民基本台帳ユニットで規定されるインターフェース仕様書を参照のこと。

資料No.「業務1－8」

防災業務アプリケーションユニット標準仕様
【データ一覧】

V1.0

平成21年3月



財団法人全国地域情報化推進協会

目 次

本書の位置づけ	1
データ一覧	2

本資料の位置づけ

本書「防災業務アプリケーションユニット標準仕様【データ一覧】」は、各業務ユニットが所管するデータの中で、他の業務ユニットより参照されるデータを集約して、まとめたものである。各業務ユニットは、ここで定義するデータを、提供側の業務ユニットとして、利用側の業務ユニットに対して提供できることが必要である。

<<準拠ルール>>

：各業務ユニットは、本データ一覧にて定義されたデータ項目を、利用側の業務ユニットに対して提供できること。(必須) [1.8]

資料3

データ一覧						業務ユニット名：防災情報共有									
NO		データ項目名				キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO								CD	コード名	最小	最大			
01	1	災害情報									1	1			災害時に命名する災害名
	2	災害識別情報			○	X	20				1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
	3	災害名			○	N	40				1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	4	都道府県			○	N	12				1	1			災害名を登録した市町村が属する都道府県の名称、もしくは災害名を登録した都道府県名称
	5	市町村_消防本部名			○	N	12				1	1			災害名を登録した市町村もしくは消防本部の名称
	6	災害区分			○	X	2	○		災害区分	1	1			登録した災害の区分
	7	発生日時			○	日付時間情報					1	1			登録した災害が発生した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	8	終結日時			○	日付時間情報					0	1			登録した災害が終結した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	9	登録日時				日付時間情報					0	1			災害名を登録した日時
	10	更新日時				日付時間情報					0	1			災害名を更新した日時(未定義災害→正式な災害名)
	11	発生場所				N	100				0	1	○		災害が発生している地域(場所)。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	12	災害概要				N	4000				0	1			発生している災害の概要情報
	13	備考				N	4000				0	1			備考欄として災害情報に関連するその他情報を記入する
02	14	災害概況即報									1	1			消防庁第4号様式(その1)
	15	災害識別情報			○	X	20				1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
	16	災害名			○	N	40				1	1			災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	17	報告番号			○	9	3				1	1			報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	18	報告日時			○	日付時間情報					1	1			報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	19	都道府県			○	N	12				1	1			報告を行った市町村が属する都道府県の名称、あるいは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	20	市町村_消防本部名			○	N	12				1	1			報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	21	報告者名				職員名情報					0	1			報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	22	発生場所				N	100				0	1	○		発生した場所に関する情報。消防庁第4号様式参照。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合も多々あるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	23	発生日時				日付時間情報					0	1			発生した日時に関する情報。消防庁第4号様式参照。

データ一覧					業務ユニット名： 防災情報共有									
NO		データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO							CD	コード名	最小	最大			
	24	災害の概況	災害の概況			N	4000			0	1			災害の概況に関する情報。消防庁第4号様式参照。
	25		死傷者							0	1			死傷者の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	26		死者			9	7			0	1			死者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM1.2.0では人的被害(03-04)の「死者【単位:人】(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。
	27		不明			9	7			0	1			行方不明者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM1.2.0では人的被害(03-04)の「行方不明【単位:人】(情報項目識別子:03-04-02)」に相当。
	28		負傷者			9	7			0	1			負傷者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	29		計			9	8			0	1			死傷者の合計数。消防庁第4号様式参照
	30	住家								0	1			住家被害数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	31		全壊_棟			9	7			0	1			住家の全壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM1.2.0では住家被害(07-04)の「全壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-01)」に相当。
	32		一部破損_棟			9	7			0	1			住家の一部破損棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM1.2.0では住家被害(07-04)の「一部半壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-03)」に相当。
	33		半壊_棟			9	7			0	1			住家の半壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM1.2.0では住家被害(07-04)の「半壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-02)」に相当。
	34		床上浸水_棟			9	7			0	1			住家の床上浸水棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM1.2.0では住家被害(07-04)の「床上浸水【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-04)」に相当。
	35	被害の状況				N	4000			0	1			当該災害により生じた被害の状況について、判明している事項を具体的に記入。その際特に人的被害及び住家の被害に重点を置くこと
	36	災害対策本部等設置状況_都道府県								0	N			都道府県における災害対策本部の設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	37		設置状況			N	4000			1	1			災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
	38		設置状況日時			日付時間情報				1	1			災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
	39	災害対策本部等設置状況_市町村								0	N			市町村における災害対策本部を設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「災害対策本部等の設置状況」に相当。
	40		災害対策本部等設置市町村			N	12			1	1			災害対策本部を設置している市町村名。消防庁第4号様式参照。
	41		設置状況			N	4000			1	1			災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
	42		設置状況日時			日付時間情報				1	1			災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
	43	応急対策の状況				N	4000			0	1			応急対策の状況に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。

データ一覧							業務ユニット名：防災情報共有						
NO		データ項目名					コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO						CD	コード名	最小	最大			
03	44	被害状況即報							1	1			消防庁第4号様式(その2)
	45		災害識別情報		○	X	20		1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
	46		都道府県		○	N	12		1	1			報告を行った都道府県名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	47		災害名		○	N	40		1	1			災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	48		報告番号		○	9	3		1	1			報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……)消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	49		報告日時		○	日付時間情報			1	1			報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないときデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	50		報告者名			職員名情報			0	1			報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	51	人的被害							0	1			人的被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	52		死者			9	7		0	1			死者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では人的被害(03-04)の「死者【単位：人】(情報項目識別子：03-04-01)」に相当。
	53		行方不明者			9	7		0	1			行方不明者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では人的被害(03-04)の「行方不明【単位：人】(情報項目識別子：03-04-02)」に相当。
	54		重傷			9	7		0	1			重傷者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	55		軽傷			9	7		0	1			軽傷者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	56								0	1			
	57	住家被害							0	1			住家被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	58		全壊_棟			9	7		0	1			住家の全壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「全壊【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-01)」に相当。
	59		全壊_世帯			9	7		0	1			住家の全壊世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	60		全壊_人			9	7		0	1			住家が全壊した住民の人数。家屋が倒壊するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	61		半壊_棟			9	7		0	1			住家の半壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「一部半壊【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-02)」に相当。
	62		半壊_世帯			9	7		0	1			住家の半壊世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	63		半壊_人			9	7		0	1			住家が半壊した住民の人数。家屋が半壊するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	64		一部破損_棟			9	7		0	1			住家の一部破損棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「一部半壊【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-03)」に相当。
	65		一部破損_世帯			9	7		0	1			住家の一部破損世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	66		一部破損_人			9	7		0	1			住家が一部破損した人数。住家が一部破損するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	67		床上浸水_棟			9	7		0	1			住家の床上浸水棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「床上浸水【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-04)」に相当。
	68		床上浸水_世帯			9	7		0	1			住家が床上浸水した世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	69		床上浸水_人			9	7		0	1			住家が床上浸水した人数。住家が浸水するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	69		床下浸水_棟			9	7		0	1			住家が床下浸水した棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「床下浸水【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-05)」に相当。

データ一覧				業務ユニット名： 防災情報共有										
NO		データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO							CD	コード名	最小	最大			
	70			床下浸水_世帯		9	7			0	1			住家が床下浸水した世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	71			床下浸水_人		9	7			0	1			住家が床下浸水した人数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	72		非住家被害							0	1			非住家被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	73			公共建物_棟		9	7			0	1			被害を受けた公共建物棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	74			非住家被害_その他_棟		9	7			0	1			被害を受けたその他の建物棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	75	その他被害							0	1			その他被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	76		田流失埋没		9	7			0	1			田流失埋没面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	77		田冠水		9	7			0	1			田冠水面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	78		畑流失埋没		9	7			0	1			畑流失埋没面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	79		畑冠水		9	7			0	1			畑冠水面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	80		文教施設		9	7			0	1			被害を受けた文教施設箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害文教施設箇所数」に相当。	
	81		病院		9	7			0	1			被害を受けた病院の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害病院箇所数」に相当。	
	82		道路		9	7			0	1			被害を受けた道路の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害道路箇所数」に相当。	
	83		橋りょう		9	7			0	1			被害を受けた橋梁の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害橋梁箇所数」に相当。	
	84		河川		9	7			0	1			被害を受けた河川の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害河川箇所数」に相当。	
	85		港湾		9	7			0	1			被害を受けた港湾の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害港湾箇所数」に相当。	
	86		砂防		9	7			0	1			被害を受けた砂防の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害砂防箇所数」に相当。	
	87		清掃施設		9	7			0	1			被害を受けた清掃施設の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害清掃施設箇所数」に相当。	
	88		崖くずれ		9	7			0	1			崖崩れが発生している箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「崖崩れ箇所数」に相当。	
	89		鉄道不通		9	7			0	1			鉄道が不通となっている箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「鉄道不通箇所数」に相当。	
	90		被害船舶		9	7			0	1			被害を受けた船舶隻数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害船舶隻数」に相当。	
	91		水道		9	7			0	1			断水している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「断水戸数」に相当。	
	92		電話		9	7			0	1			電話が不通状態となっている電話回線数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「不通電話回線数」に相当。	
	93		電気		9	7			0	1			停電が発生している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「停電戸数」に相当。	
	94		ガス		9	7			0	1			ガス供給が停止している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「ガス供給停止戸数」に相当。	
	95		ブロック塀等		9	7			0	1			被害ブロック塀等箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害ブロック塀等箇所数」に相当。	
	96		り災世帯数			9	7			0	1			罹災対象世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	97		り災者数			9	7			0	1			罹災対象者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	98		火災発生							0	1			火災発生件数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
99			建物			9	7			0	1			建物火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。

データ一覧				業務ユニット名： 防災情報共有										
NO		データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO							CD	コード名	最小	最大			
	100		危険物		9	7			0	1			危険物の火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	101		火災発生_その他		9	7			0	1			その他火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。	
	102		公立文教施設		S9	13			0	1			公立文教施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	103		農林水産業施設		S9	13			0	1			農林水産業施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	104		公共土木施設		S9	13			0	1			公共土木施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	105		その他の公共施設		S9	13			0	1			その他公共施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	106		小計		S9	15			0	1			上記被害額の合計(千円)。消防庁第4号様式参照。	
	107		公共施設被害市町村数		9	4			0	1			公共施設被害市町村の数(団体数)。消防庁第4号様式参照。	
	108	被害額その他							0	1			農業、林業、畜産、水産、商工、その他被害に関する被害規模を登録する。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	109		農業被害		S9	13			0	1			農業被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	110		林業被害		S9	13			0	1			林業被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	111		畜産被害		S9	13			0	1			畜産被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	112		水産被害		S9	13			0	1			水産被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	113		商工被害		S9	13			0	1			商工被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	114		被害額その他_その他		S9	13			0	1			その他の被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	115	被害総額		S9	15			0	1			公共文教施設に関する被害額～その他被害額までの合計(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。		
	116	災害対策本部等設置状況_都道府県							0	N			都道府県における災害対策本部の設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	117		設置状況		N	4000			1	1			災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。	
	118		設置状況日時		日付時間情報				1	1			災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。	
	119	災害対策本部等設置状況_市町村							0	N			災害対策本部を設置している市町村の情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「災害対策本部等の設置状況」に相当。	
	120		災害対策本部等設置市町村		N	12			1	1			災害対策本部を設置している市町村名。消防庁第4号様式参照。	
	121		設置状況		N	4000			1	1			災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。	
	122		設置状況日時		日付時間情報				1	1			災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。	
	123	災害救助法適用市町村							0	N			災害救助法を適用している市町村の情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	124		市町村_消防本部名		N	12			0	1			災害救助法を適用した市町村名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「災害救助法適用市町村名」に相当。	
	125		適用日時		日付時間情報				0	1			災害救助法を適用した日時。消防庁第4号様式参照。	
	126		災害救助法適用市町村数		9	4			0	1			災害救助法を適用した市町村数。消防庁第4号様式参照。	
	127		消防職員出勤延人数		9	5			0	1			消防職員の出勤延人数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	

データー一覧					業務ユニット名： 防災情報共有									
NO		データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO							CD	コード名	最小	最大			
	128	備考	消防団員出動延人数			9	5			0	1			消防団員の出動延人数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	129									0	1			以下の事項を登録する
	130		災害発生場所			N	100			0	1	○		被害を生じた市町村名又は地域名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	131		災害発生日			X	100			0	1			被害を生じた日時又は期間。消防庁第4号様式参照。データ型については、日付時間情報なので本来項目セット辞書を活用するところですが、期間情報を登録する場合もあるため、両方の情報を入力できるようにするため自由記述ができるstring型としている
	132		災害の種類概況			N	4000			0	1			台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等の種別、災害の経過、今後の見通し等。消防庁第4号様式参照
	133		消防・水防・救急・救助等消防機関の活動状況			N	4000			0	1			消防機関の活動の概況情報。消防庁第4号様式参照。
	134		避難の勧告・指示の状況			N	4000			0	1			避難勧告指示の発令状況。消防庁第4号様式参照。
	135		避難所の設置状況			N	4000			0	1			避難所の開設・設置状況。消防庁第4号様式参照。
	136		他の地方公共団体への応援要請・応援活動の状況			N	4000			0	1			他団体からの応援状況。消防庁第4号様式参照。
	137		自衛隊の派遣要請・出動状況			N	4000			0	1			自衛隊の派遣要請及び出動状況
	138		災害ボランティアの活動状況			N	4000			0	1			災害ボランティアの活動状況

データ一覧						業務ユニット名： 防災情報共有									
NO		データ項目名				キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO								CD	コード名	最小	最大			
04	139	被害状況_付加情報								1	1			消防庁第4号様式で扱っていない被害情報項目	
	140		災害識別情報		○	X	20				1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する	
	141		災害名		○	N	40				1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
	142		報告番号		○	9	3				1	1		報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	143		報告日時		○	日付時間情報					1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	
	144		都道府県		○	N	12				1	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、もしくは都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	145		市町村_消防本部名		○	N	12				1	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
	146		被害識別情報		○	X	20				1	1		被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+D+管理番号(5桁～)で管理する	
	147		報告者名			職員名情報					0	1		報告を実施した職員の名前	
	148		発生場所			N	100				0	1	○	被害が発生した場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない	
	149		発生日時			日付時間情報					1	1		被害が発生した日時	
	150		更新日時			日付時間情報					1	1		被害情報の更新日時	
	151		重傷者数								0	1		重傷者の人数。災害時に自治体が需給推計を行い、その推計を元に派遣する職員の数来判断する。TVCM2.0では人的被害(03-04)の「重傷者【単位:人】(情報項目識別子:03-04-03)」に相当。	
	152			総数			9	8				0	1		重傷者の総数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	153			鉄道			9	7				0	1		重傷者のうち、鉄道に関する重傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる
	154			道路			9	7				0	1		重傷者のうち、道路に関する重傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる
	155		軽傷者数								0	1		軽傷者の人数。災害時に自治体が需給推計を行い、その推計を元に派遣する職員の数来判断する。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では人的被害(03-04)の「軽傷者【単位:人】(情報項目識別子:03-04-04)」に相当。	
	156			総数			9	8				0	1		軽傷者数
	157			鉄道			9	7				0	1		軽傷者のうち、鉄道における軽傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる
	158		備考			N	4000				0	1			備考欄として被害状況_付加情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧						業務ユニット名： 防災情報共有									
NO		データ項目名				キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO								CD	コード名	最小	最大			
05	159	被害状況_詳細情報									1	1			被害情報の1事案に関する詳細情報
	160		災害識別情報			○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
	161		災害名			○	N	40			1	1			災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	162		報告日時			○	日付時間情報				1	1			報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	163		都道府県			○	N	12			1	1			報告を行った市町村が属する都道府県の名称、もしくは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	164		市町村_消防本部名			○	N	12			1	1			報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	165		被害識別情報			○	X	20			1	1			被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋D＋管理番号(5桁～)で管理する
	166		報告者名				職員名情報				0	1			報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	167		確実度			○	X	1	○	確実度	1	1			被害情報の確実度(速報or確定報)。減災情報共有スキーマでは「確認未確認情報」に相当
	168		対応			○	X	1	○	対応状況	1	1			発生した被害の対応状況(未対応、対応中、対応済)
	169		被害種別			○	X	1	○	被害種別	1	1			被害種別(人的被害、住家被害、非住家被害、ライフライン被害等)
	170		被害名				N	50			0	1	○		被害対象名称(人名、建物名等)
	171		発生日時				日付時間情報				0	1			被害が発生した日時
	172		発生場所				N	100			0	1	○		被害の発生場所。減災情報共有スキーマでは「被害場所住所」に相当。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	173		報告者名				職員名情報				0	1			被害報告を行った職員名。減災情報共有スキーマでは「発信者氏名組織」に相当
	174		人的被害								0	N			人的被害に関する被害の詳細情報
	175			被害区分			X	1	○	人的被害区分	0	1			人的被害に関する被害区分(死者、行方不明…等)。減災情報共有スキーマでは「人的被害種別」に相当
	176			被害者氏名			氏名情報				0	1	○		被害者氏名に関する情報
	177			被害者性別			X	1	○	性別	0	1			被害者の性別情報
	178			被害者生年月日			生年月日情報				0	1			被害者の生年月日
	179			被害者住所			住所情報				0	1	○		被害者の住所
	180			被害者連絡先			電話番号情報				0	1			被害者の連絡先(電話番号)
	181			収容先			N	100			0	1			被害者の収容先に関する情報
	182			収容先住所			住所情報				0	1	○		被害者の収容先の住所
	183			収容先連絡先			電話番号情報				0	1			被害者の収容先の連絡先(電話番号)
	184		住家被害								0	N			住家被害に関する情報

データー一覧				業務ユニット名： 防災情報共有											
NO		データ項目名				キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO								CD	コード名	最小	最大			
	185		被害区分		X	1	○	住家被害区分	0	1			住家被害に関する被害区分(全壊、半壊・・・等)		
	186			世帯数		9	7			0	1		住家被害により被害を受けた世帯数		
	187			被害概況		N	4000			0	1		発生した被害に関する情報		
	188		非住家被害						0	N		非住家被害に関する情報			
	189	被害対象			X	2	○	被害対象	0	1		被害対象物(公共建物、その他)に関する情報			
	190	被害区分			X	1	○	非住家被害区分	0	1		非住家被害に関する被害区分(全壊、半壊・・・等)			
	191	被害概況			N	4000			0	1		発生した被害に関する情報			
	192	その他被害						0	N		その他被害(田、畑、文教施設・・・等)に関する情報				
	193		被害対象		X	2	○	被害対象	0	1		その他被害に関する被害対象物(田、畑、文教施設・・・等)に関する情報			
	194		被害区分		X	2	○	その他被害区分	0	1		その他被害に関する被害区分(全壊、半壊・・・等)			
	195		被害概況		N	4000			0	1		発生した被害に関する情報			
	196	備考				N	4000			0	1		備考欄として被害状況_詳細情報に関連するその他情報を記入する		

データ一覧						業務ユニット名：防災情報共有									
NO		データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明			
連番	NO					CD	コード名	最小	最大						
06	197	避難勧告_指示情報						1	1			住民へ甚大な被害が及ぶと想定される場合に、市町村が住民に対して避難所や避難場所へ避難するよう勧告または指示を行う情報			
	198		災害識別情報	○	X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する			
	199		災害名	○	N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す			
	200		都道府県	○	N	12			1	1		避難勧告・指示を発令した市町村もしくは消防本部が属する都道府県の名称。減災情報共有スキーマでは「発令機関」に相当			
	201		市町村_消防本部名	○	N	12			1	1		避難勧告・指示を発令した市町村もしくは消防本部の名称。減災情報共有スキーマでは「発令機関」に相当			
	202		避難勧告_指示識別情報	○	X	20			1	1		避難勧告指示情報の整理番号(ID)。CAPでは「identifier」に相当。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+E+管理番号(5桁～)で管理する			
	203		発令システム識別子		X	100			0	1		発令したシステムの識別子。一意性を保証するためにインターネットのドメイン名で修飾された名票を使用。CAPでは「Sender」に相当			
	204		送信日時		日付時間情報				0	1		避難勧告・指示情報をシステムで送信した日時。CAPでは「sent」に相当			
	205		発令日時	○	日付時間情報				1	1		避難勧告・指示を発令した日時。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令日時」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする			
	206		解除日時	○	日付時間情報				0	1		避難勧告・指示を解除した日時。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「解除日時_開始」と「解除日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする			
	207		メッセージ状態		X	1	○	メッセージの状態	0	1		避難勧告・指示情報(メッセージ)に関する情報。この情報が実際の避難情報なのか、避難演習での情報なのか・・・等。CAPでは「Status」に相当			
	208		メッセージ種別		X	1	○	メッセージの種類	0	1		メッセージの種別。CAPでは「msgType」に相当			
	209		配信範囲		X	1	○	配信の範囲	0	1		メッセージ配信先			
	210		言語		N	20			0	1		配信情報の記述言語			
211	災害区分		X	2	○	災害区分	0	1		CAPでは「category」要素で示される災害種別のカテゴリを示す					
212	避難原因		N	4000			0	1		災害区別のカテゴリと、この避難の原因となる内容を示す。CAPでは「category/event」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令要因」に相当					
213	勧告種別	○	X	1	○	避難勧告指示種別	1	1		避難勧告・指示の発令内容種別。CAPでは「responseType(urgency.severity.certainty)」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「避難勧告等種別」(避難指示 避難勧告 避難準備情報 自主避難 解除)に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「勧告・指示区分(コード:1:避難準備、2:避難勧告、3:避難指示)(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。					
214	発令権限者		職員名情報				0	1		避難勧告・指示情報を発令した権者名。メールアドレス等でなく日本語での表示名。CAPでは「senderName」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令者」に相当。					
215	ヘッドライン		N	100			1	1		ニュースヘッドラインのように短い文字列で避難情報を流す。CAPでは「headline」に相当。					
216	避難情報文		N	4000			1	1		避難情報の詳細を示した文章。CAPでは「description」に相当。減災情報共有スキーマでは「指示・連絡内容」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「対象地区(自由記述)(情報項目識別子:03-04-05-01)」に相当。					

データ一覧					業務ユニット名：防災情報共有									
NO		データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO							CD	コード名	最小	最大			
	217		添付ファイル説明文			N	100			0	1			添付ファイルの説明文(例:避難所の場所)。CAPでは「resourceDesc」に相当。
	218		対象地域			N	100			1	1	○		避難勧告・指示の発令対象地域に関する説明文。CAPでは「areaDesc」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報(03-04)の「対象領域」、「対象領域名」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報の「対象地区(情報項目識別子:03-04-05)」に相当。
	219		緊急対処事態							0	1			「地方公共団体における国民保護図上訓練の手引き」で記載されている緊急対処事態に関する情報
	220		都道府県緊急対処事態対策本部を設置すべき都道府県			N	100			0	1			緊急対処事態対策本部を設置している都道府県名
	221		市町村緊急対処事態対策本部を設置すべき市町村			N	100			0	1			緊急対処事態対策本部を設置している市町村名
	222		警報内容			N	4000			0	1			緊急対処事態対策本部から発令される警報に関する情報
	223		警報の通知伝達の対象となる地域の範囲			N	4000			0	1			警報の通知・伝達の対象となる地域の範囲に関する情報。全国もしくは特定地域(都道府県)名
	224		サイレンを使用する地域			N	4000			0	1	○		警報の通知・伝達の際にサイレンを使用する地域に関する情報。全国もしくは攻撃が迫り、又は現に攻撃が発生したと認められる地域名。あるいはサイレンは使用しない・・・等
	225		避難措置の指示内容			N	4000			0	1			緊急対処事態発生に伴い指示した避難措置の内容
	226		要避難地域			N	4000			0	1	○		要避難地域名
	227		避難先地域			N	4000			0	1	○		避難先の地域名
	228		住民の避難に関して関係機関が講ずべき措置の概要			N	4000			0	1			住民の避難に関して関係機関が講ずべき措置の概要内容(関係機関は、避難中の不測の事態発生の場合には、必要に応じ、速やかに、国民保護法等の関係法令に基づく緊急通報の発令、退避の指示等の所要の措置を行う必要がある。また、避難は関係機関と調整の上、攻撃の予防・鎮圧措置等も踏まえ、安全な経路・場所を選択する必要がある)
	229		備考			N	4000			0	1			備考欄として避難勧告・指示情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧						業務ユニット名：防災情報共有									
NO		データ項目名				キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO								CD	コード名	最小	最大			
07	230	避難所情報									1	1			避難所の運営状況に関する情報
	231		災害識別情報		○	X	20				1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
	232		災害名		○	N	40				1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	233		都道府県		○	N	12				1	1			避難所を運営する市町村が属する都道府県の名称
	234		市町村_消防本部名		○	N	12				1	1			避難所を運営する市町村の名称
	235		避難所識別情報		○	X	20				1	1			避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋I＋管理番号(5桁)で管理する。減災情報共有スキーマでは「避難所ID」に相当。
	236		避難所名		○	N	30				1	1			避難所の名称。減災情報共有スキーマでは「避難所施設名称」に相当。TVCMML2.0では「避難所名称(情報項目識別子:03-04-01)」に相当
	237		電話番号			電話番号情報					0	1			避難所の電話番号
	238		FAX番号			電話番号情報					0	1			避難所のFAX番号
	239		管理者			職員名情報					0	1			避難所の管理者名
	240		収容人数			9	7				0	1			避難所の収容者人数。減災情報共有スキーマでは「収容可能数」に相当
	241		報告日時		○	日付時間情報					1	1			避難所からの報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	242		建物被害状況			N	4000				0	1			避難所建物の被害状況。
	243		電力被害状況			N	4000				0	1			避難所建物の電力使用状況。減災情報共有スキーマでは「設備状況(停電)」に相当。
	244		通信手段被害状況			N	4000				0	1			避難所建物の通信手段使用状況。減災情報共有スキーマでは「設備状況(電話不通)」に相当。
	245		その他の被害			N	4000				0	1			避難所建物のその他被害状況
	246		使用可否			X	1	○		可否	0	1			避難所の使用可否(避難所の損壊状況次第では使用できないことも想定)
	247		開設の可否			X	1	○		可否	1	1			避難所の開設の可・不可。TVCMML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖区分(コード) (情報項目識別子:03-04-05)、開設・閉鎖区分(文字) (情報項目識別子(03-04-06)」に相当。
	248		開設日時		○	日付時間情報					1	1			避難所を開設した日時。減災情報共有スキーマでは「開設予定日時」に相当。TVCMML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「開設日時_開始」と「開設日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	249		閉鎖日時		○	日付時間情報					1	1			避難所を閉鎖した日時。減災情報共有スキーマでは「閉鎖予定日時」に相当。TVCMML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「閉鎖日時_開始」と「閉鎖日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	250		避難者数			9	7				0	1			避難所への避難者数。減災情報共有スキーマでは「避難者総数」に相当。
	251		避難世帯数			9	7				0	1			避難所への避難世帯数

データ一覧					業務ユニット名：防災情報共有									
NO		データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO							CD	コード名	最小	最大			
	252	要援護者数	負傷者数			9	7			0	1			負傷している住民数
	253		要援護者数							0	1			避難所へ避難した要援護者住民の数に関する情報
	254		要介護度3以上			9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、要介護度3以上の住民数
	255		一人暮らし高齢者_65歳以上			9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、一人暮らし高齢者の住民数
	256		高齢者世帯_夫婦共に65歳以上			9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、高齢者世帯(夫婦共に65歳以上)の住民数
	257		寝たきり高齢者			9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、寝たきり高齢者の住民数
	258		認知症高齢者			9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、認知症高齢者の住民数
	259		療育手帳A_A1_A2所持者			9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、療育手帳A、A1、A2所持の住民数
	260		身体障がい者手帳1_2級所持者			9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、身体障がい者手帳1、2級所持の住民数
	261	備考				N	4000			0	1			備考欄として避難所情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧						業務ユニット名：防災情報共有									
NO		データ項目名				キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO								CD	コード名	最小	最大			
08	262	避難者情報									1	1			避難所へ避難している住民に関する情報
	263		災害識別情報		○	X	20				1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
	264		災害名		○	N	40				1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	265		氏名		○	氏名情報					1	1	○		避難者の氏名
	266		性別		○	X	1	○		性別	1	1			避難者の性別(男性、女性)
	267		年齢			9	3				0	1			避難者の年齢
	268		生年月日		○	生年月日情報					1	1			避難者の生年月日
	269		住所		○	住所情報					1	1	○		避難者の住所
	270		市外区分			X	1	○		市外区分	0	1			避難者が市内に居住(住民票)を設置しているか、市外に居住しているかを区分する
	271		避難先避難所名			N	30				0	1			避難者が避難した避難所名
	272		避難状況			X	1	○		避難区分	0	1			市民が避難所へ「避難済」「未避難」「避難所を既に退去済」
	273		避難理由			N	4000				0	1			避難した理由(自主避難、避難勧告に基づき避難、避難指示に基づき避難等)
	274		入所年月日			日時時間情報					0	1			避難所へ避難してきた日時
	275		退所年月日			日時時間情報					0	1			避難所を退去した日時
	276		退所先			N	100				0	1			避難所を退去した後、どこへ行ったか(自宅へ帰宅等)
	277		退所先電話番号			電話番号情報					0	1			退去先の電話番号
	278		負傷			X	1	○		負傷	0	1			怪我の有無
	279		負傷内容			N	4000				0	1			怪我の内容
	280		アレルギー			X	1	○		アレルギー	0	1			アレルギーの有無
	281		アレルギー物質			N	4000				0	1			アレルギー物質名
	282		妊婦			X	1	○		妊婦区分	0	1			「妊娠中」「該当しない」かを選択する
	283		乳幼児			X	1	○		乳幼児区分	0	1			「1歳に満たない子供」「該当しない」を選択する
	284		要援護者区分								0	1			要援護者区分「要介護度3以上」「一人暮らし高齢者_65歳以上」「高齢者夫妻_夫婦共に65歳以上」「寝たきり認知証高齢者」「療育手帳A、A1、A2所持者」「身体障がい者手帳1、2級所持者」
	285			要介護度3以上		X	2	○		要介護度	0	1			避難所へ避難した住民のうち、要介護度3以上に該当するか否か
	286			一人暮らし高齢者_65歳以上		X	1	○		一人暮らし高齢者_65歳以上	0	1			避難所へ避難した住民のうち、一人暮らし高齢者に該当するか否か
	287			高齢者世帯_夫婦共に65歳以上		X	1	○		高齢者世帯_夫婦共に65歳以上	0	1			避難所へ避難した住民のうち、高齢者世帯(夫婦共に65歳以上)に該当するか否か
	288			寝たきり高齢者		X	1	○		寝たきり高齢者	0	1			避難所へ避難した住民のうち、寝たきり高齢者に該当するか否か

データ一覧					業務ユニット名：防災情報共有										
NO		データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明	
連番	NO							CD	コード名	最小	最大				
	289			認知症高齢者		X	1	○	認知症高齢者	0	1			避難所へ避難した住民のうち、認知症高齢者に該当するか否か	
	290			療育手帳A_A1_A2所持者		X	2	○	療育手帳等級	0	1			避難所へ避難した住民のうち、療育手帳A、A1、A2所持に該当するか否か	
	291			身体障がい者手帳1_2級所持者		X	1	○	身体障がい者手帳1,2級所持者	0	1			避難所へ避難した住民のうち、身体障がい者手帳1、2級所持に該当するか否か	
	292	備考			N	4000			0	1			備考欄として避難者情報に関連するその他情報を記入する		
09	293	災害対応活動情報								1	1			災害対応活動に関する報告	
	294		災害識別情報		○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する	
	295		災害名		○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
	296		都道府県		○	N	12			1	1			災害対応活動を行い、情報を登録した市町村が属する都道府県の名称	
	297		市町村_消防本部名		○	N	12			1	1			災害対応活動を行い、情報を登録した市町村又は消防本部の名称	
	298		報告日時		○	日付時間情報				1	1			報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、「入力した「時間」がピンポイントで合わない」とデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	
	299		報告者名			職員名情報				0	1			報告を実施した職員の氏名	
	300		組織名			所属情報				0	1			報告元自治体内組織名称	
	301		活動情報							1	1			災害対応活動に関する情報	
	302			活動識別情報		○	X	20			1	1			活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋A+管理番号(5桁～)で管理する
	303			タイトル		○	N	50			1	1			活動内容が分かるタイトル
	304			活動開始日時			日付時間情報				1	1			災害対応活動を開始した日時
	305			活動終了日時			日付時間情報				1	1			災害対応活動を終了した日時
	306			活動場所			N	100			1	1	○		災害対応活動の活動場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	307			活動内容			N	4000			1	1			災害対応活動の内容
	308		備考			N	4000			0	1			備考欄として災害対応活動情報に関連するその他情報を記入する	
10	309	配備体制情報								1	1			地域防災計画に基づき、災害が発生し、または災害が発生する恐れがある場合において、防災活動を推進するために必要がある場合に、各団体にて定められている基準に基づき配備体制を敷く際の配備体制状況	
	310		災害識別情報		○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する	
	311		災害名		○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
	312		都道府県		○	N	12			1	1			配備体制を発令した市町村が属する都道府県の名称	
	313		市町村_消防本部名		○	N	12			1	1			配備体制を発令した市町村の名称	
	314		登録日時			日付時間情報				1	1			配備体制情報を登録した日時	

データ一覧					業務ユニット名： 防災情報共有									
NO		データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO							CD	コード名	最小	最大			
	315	発令日時	発令日時		○	日付時間情報				1	1			配備体制を発令した日時。減災情報共有スキーマでは警戒態勢発令情報の「発令日時」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	316		解除日時			日付時間情報				0	1			配備体制を解除した日時
	317		配備体制名			N	30			1	1			配備体制名称。減災情報共有スキーマでは警戒態勢発令情報の「警戒態勢等種別（通常体制 警戒準備 警戒 警戒本部設置 災害対策本部）」に相当。
	318		備考			N	4000			0	1			備考欄として配備体制情報に関連するその他情報を記入する
11	319	通行規制情報								1	1			各種道路の規制状況に関する情報
	320		規制ID		○	X	20			1	1			規制情報を一意に識別するID。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+C+管理番号(5桁～)で管理する。減災情報共有スキーマでは「道路規制ID」に相当。
	321		管理者		○	X	2	○	管理者種別	1	1			道路の管理者(国、都道府県、市町村)
	322		管理団体名		○	N	30			1	1			道路を管理している団体名
	323		道路種別		○	X	2	○	道路種別	1	1			道路種別
	324		路線名		○	N	40			1	1			路線名称(ex 国道1号線)。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。
	325		登録日時		○	日付時間情報				1	1			登録を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	326		通行規制災害種別		○	X	1	○	通行規制の原因となった災害の種別	1	1			通行規制情報の災害種別
	327		緊急輸送路の指定			X	1	○	緊急輸送路指定	1	1			緊急輸送路指定の有無
	328		規制開始位置			N	100			1	1			通行規制の開始場所
	329		規制終了位置			N	100			1	1			通行規制の終了場所
	330		規制発生日時			日付時間情報				1	1			通行規制が発生した日時。減災情報共有スキーマでは「規制開始時刻」に相当。
	331		規制解除日時			日付時間情報				1	1			通行規制を解除した日時。減災情報共有スキーマでは「規制終了時刻」に相当。
	332		時間帯規制種別							0	1			規制時間帯に関する情報
	333			規制種別		X	1	○	時間帯規制種別	0	1			規制の種類
	334			時間帯規制開始時刻		日付時間情報				0	1			時間帯規制の場合の開始時刻
	335			時間帯規制終了時刻		日付時間情報				0	1			時間帯規制の場合の終了時刻
	336		規制原因内容			N	4000			0	1			通行規制の原因や内容(全面規制、交互規制、片側規制等)。減災情報共有スキーマでは「規制区分」と「規制理由」に相当。
	337		迂回路有無			X	1	○	迂回路	1	1			迂回路が有るのか、迂回路が無いのか
	338		迂回方法			N	4000			0	1			具体的な迂回方法
	339		復旧見込み日時			日付時間情報				1	1			復旧の見込みの日時
	340		備考			N	4000			0	1			備考欄として通行規制情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧					業務ユニット名：防災情報共有									
NO		データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO							CD	コード コード名	最小	最大			
12	341	水防活動情報								1	1			洪水や高潮等の恐れがある時にその現場へ出動し、氾濫等による被害拡大を防止するために対応／処置する水防活動に関する活動報告
	342		災害識別情報		○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
	343		災害名		○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	344		水防活動識別情報		○	X	20			1	1			水防活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋S+管理番号(5桁～)で管理する
	345		管理団体名		○	N	30			1	1			当該施設(河川等)を管理している都道府県の名称、もしくは当該施設(河川等)を管理している市町村が属する都道府県の名称
	346		報告年月日		○	日付情報				1	1			報告を行った年月日。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告年月日_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	347		報告者名			職員名情報				0	1			報告を実施した職員の氏名
	348		河川名		○	N	12			1	1			水防活動を実施する河川の名称
	349		場所			N	100			1	1	○		出水の概況説明。記入例としては○○川(左、右)○○地先○○m。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	350		日時							1	1			活動を実施した日時
	351			自		日付時間情報				1	1			開始日時
	352			至		日付時間情報				1	1			終了日時
	353		出動人員数							0	1			出動人員数
	354			水防団員		9	7			0	1			出動している水防団員の数(人)
	355			消防団員		9	7			0	1			出動している消防団員の数(人)
	356			その他		9	7			0	1			出動しているその他の人員の数(人)
	357			出動人員数_計		9	8			0	1			出動人員の合計(人)
	358		水防作業の概況及び工法							1	1			水防作業の概況及び工法について
	359			工法		N	4000			1	1			実施工法名
	360			箇所		N	4000			1	1			作業箇所
	361			m		9V				1	1			範囲(m)。データ型は“float”となっており、“float”の場合、桁数制約のmaxLengthやtotalDigitsが指定できないため、桁数の定義が出来ないため、出現回数については制約を設けていません
	362		備考			N	4000			0	1			備考欄として水防活動情報に関連するその他情報を記入する

データー一覧					業務ユニット名： 防災情報共有									
NO		データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO							CD	コード名	最小	最大			
13	363	自治体基礎情報								1	1			災害対応時に使用する可能性が高い公共施設の情報
	364		都道府県		○	N	12			1	1			該当する基礎情報を管理している都道府県の名称、もしくは該当する基礎情報を管理している市町村が属する都道府県の名称
	365		市町村_消防本部名		○	N	12			1	1			該当する基礎情報を管理している市町村の名称
	366		公共施設情報							0	N			自治体が有する公共施設に関する情報
	367			公共施設名		N	30			0	1			公共施設名称
	368			公共施設_住所		住所情報				0	1	○		公共施設の住所
	369		重要施設情報							0	N			自治体の管内にある重要施設に関する情報
	370			重要施設名		N	30			0	1			重要施設の名称
	371			重要施設種別		X	2	○	重要施設	0	1			災害時の重要施設の施設種別
	372			重要施設_住所		住所情報				0	1			重要施設の住所
	373		医療施設情報							0	N			自治体の管内にある医療施設に関する情報
	374			医療施設名		N	30			0	1	○		医療施設の名称
	375			医療施設_住所		住所情報				0	1	○		病院の住所
	376			医療施設_連絡先		電話番号情報				0	1			病院の連絡先
	377		備考			N	4000			0	1			備考欄として自治体基礎情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧						業務ユニット名： 防災情報共有									
NO		データ項目名				キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO								CD	コード名	最小	最大			
14	378	物資_資機材備蓄情報									1	1			平常時より管理・備蓄している物資数、資機材数に関する情報
	379	災害識別情報				○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
	380	災害名				○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	381	都道府県				○	N	12			1	1			物資・資機材を管理・備蓄している市町村が属する都道府県の名称
	382	市町村_消防本部名				○	N	12			1	1			物資・資機材を管理・備蓄している市町村の名称
	383	登録日時				○	日付時間情報				1	1			情報を登録した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、「時間」がピンポイントで合わないと言データの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	384	備蓄施設情報									1	N			資機材や物資を備蓄している(防災)施設名称
	385		備蓄施設識別情報	○	X	20				1	1				避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋M+管理番号(5桁)で管理する。
	386		備蓄施設名	○	N	30				1	1				備蓄している物資の名称
	387		保有車両		9	7				0	1				団体が保有している車両数
	388		船艇		9	7				0	1				船艇数
	389		ヘリコプター		9	7				0	1				ヘリコプター数
	390		土嚢袋		9	7				0	1				土嚢袋数
	391		ビニールシート		9	7				0	1				ビニールシート数
	392		テント		9	7				0	1				テントの数
	393		更衣室_授乳室		9	7				0	1				更衣室や授乳室の数
	394		車椅子		9	7				0	1				車椅子の数
	395		なわ		9	7				0	1				なわの数
	396		針金		9	7				0	1				針金の数
	397		スコップ		9	7				0	1				スコップの数
	398		くい		9	7				0	1				くいの数
	399		のこぎり		9	7				0	1				のこぎりの数
	400		おの		9	7				0	1				おのの数
	401		ハンマー		9	7				0	1				ハンマーの数
	402		かま		9	7				0	1				かまの数
	403		なた		9	7				0	1				なたの数
	404		じょれん		9	7				0	1				じょれんの数

データー一覧					業務ユニット名： 防災情報共有									
NO		データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO							CD	コード名	最小	最大			
	405			つるはし		9	7			0	1			つるはしの数
	406			杉丸太		9	7			0	1			杉丸太の数
	407			釘		9	7			0	1			釘の数
	408			かけや		9	7			0	1			かけやの数
	409			小車		9	7			0	1			小車の数
	410			ベンチ		9	7			0	1			ベンチの数
	411			金槌		9	7			0	1			金槌の数
	412			ウィンチ		9	7			0	1			ウィンチの数
	413			かすがい		9	7			0	1			かすがいの数
	414			バケツ		9	7			0	1			バケツの数
	415			救命ブイ		9	7			0	1			救命ブイの数
	416			救命ボート		9	7			0	1			救命ボートの数
	417			ロープ		9	7			0	1			ロープの数
	418			懐中電灯		9	7			0	1			懐中電灯の数
	419			救助用照明具		9	7			0	1			救助用照明具の数
	420			発電機		9	7			0	1			発電機の数
	421			ガソリン携行缶		9	7			0	1			ガソリン携行缶の数
	422			無線機		9	7			0	1			無線機の数
	423			ラジオ		9	7			0	1			ラジオの数
	424			簡易救助器具		9	7			0	1			簡易救命器具の数
	425			拡声器		9	7			0	1			拡声器の数
	426			間仕切り		9	7			0	1			間仕切りの数
	427			コンクリートパネル		9	7			0	1			コンクリートパネルの数
	428			仮設簡易トイレ		9	7			0	1			仮設トイレや簡易トイレの数
	429			断熱シート		9	7			0	1			断熱シートの数
	430			アルファ米		9	7			0	1			アルファ米の数
	431			かんぱん		9	7			0	1			かんぱんの数
	432			クラッカー		9	7			0	1			クラッカーの数

データー一覧					業務ユニット名： 防災情報共有									
NO		データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO							CD	コード名	最小	最大			
	433			保存飲料水		9	7			0	1			保存飲料水の数
	434			毛布		9	7			0	1			毛布の枚数
	435			エマージェンシーブランケット		9	7			0	1			エマージェンシーブランケットの数
	436			オールウェザーブランケット		9	7			0	1			オールウェザーブランケットの数
	437			ミルク		9	7			0	1			ミルクの数
	438			哺乳瓶		9	7			0	1			哺乳瓶の数
	439			離乳食		9	7			0	1			離乳食の数
	440			やかん		9	7			0	1			やかんの数
	441			カセットコンロ		9	7			0	1			カセットコンロの数
	442			おむつ_大人用		9	7			0	1			大人用のおむつの数
	443			おむつ_子供用		9	7			0	1			子供用のおむつの数
	444			生理用品		9	7			0	1			生理用品の数
	445			医療資機材		9	7			0	1			医療資機材の数
	446	備考				N	4000			0	1			備考欄として物資_資機材備蓄情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧					業務ユニット名： 防災情報共有									
NO		データ項目名			キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO							CD	コード名	最小	最大			
15	447	道路被害情報								1	1			道路に関する被害情報
	448		災害識別情報		○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
	449		災害名		○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	450		管理者		○	X	2	○	管理者種別	1	1			道路の管理者(国、都道府県、市町村等)
	451		管理団体名		○	N	30			1	1			道路を管理している団体名
	452		道路種別		○	X	2	○	道路種別	1	1			道路の種別(地方道、高速道等)
	453		路線名		○	N	30			1	1			路線名称(ex国道1号線等)。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。
	454		報告日時		○	日付時間情報				1	1			報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないと言データの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時 開始」と「報告日時 終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	455		報告者名			職員名情報				0	1			報告を実施した職員の氏名
	456		道路被害識別情報		○	X	20			1	1			道路被害情報のID。道路被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋R＋管理番号(5桁～)で管理する
	457		被害区分			X	2	○	その他被害区分	1	1			被害の区分(ex 陥没等)。減災情報共有スキーマでは「被害区分」に相当。
	458		発生場所			N	100			1	1	○		被害が発生した場所。TVCML2.0では被害情報(道路)(03-04)の「発生場所(情報項目識別子:03-04-01-03)」に相当。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない。減災情報共有スキーマでは「被害箇所住所」に相当。
	459		対応状況			N	4000			0	1			被害に対する対応状況
	460		緊急輸送路の指定			X	1	○	緊急輸送路指定	0	1			緊急輸送路指定の有無
	461		復旧見込み日時			日付時間情報				0	1			復旧の見込みの日時。TVCML2.0では被害情報(道路)(03-04)の「発生・復旧日時(情報項目識別子:03-04-01-05)」に相当。
	462		備考			N	4000			0	1			備考欄として道路被害情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧						業務ユニット名：防災情報共有									
NO		データ項目名				キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO								CD	コード名	最小	最大			
16	463	橋梁被害情報									1	1			橋梁に関する被害情報
	464		災害識別情報		○	X	20				1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
	465		災害名		○	N	40				1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	466		管理者		○	X	2	○		管理者種別	1	1			橋梁の管理者
	467		管理団体名		○	N	30				1	1			橋梁を管理している団体名
	468		橋梁名		○	N	30				1	1			橋梁名。減災情報共有スキーマでは「橋梁名」に相当
	469		報告日時		○	日付時間情報					1	1			報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで含まないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	470		報告者名			職員名情報					0	1			報告を実施した職員の氏名
	471		橋梁被害識別情報		○	X	20				1	1			橋梁被害情報のID。橋梁被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋B＋管理番号(5桁～)で管理する
	472		被害区分			X	2	○		その他被害区分	1	1			被害の区分(ex 陥没等)。減災情報共有スキーマでは「被害区分」に相当。
	473		発生場所			N	100				1	1	○		被害が発生した場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	474		対応状況			N	4000				0	1			被害に対する対応状況
	475		復旧見込み日時			日付時間情報					0	1			復旧の見込みの日時
	476		備考			N	4000				0	1			備考欄として橋梁被害情報に関連するその他情報を記入する
17	477	映像情報									1	1			各団体における定点カメラ映像や公共施設管理のカメラ映像に関する情報
	478		管理者		○	X	2	○		管理者種別	1	1			映像情報を管理・配信している団体種別(国、都道府県、市町村、その他)
	479		管理団体名		○	N	30				1	1			映像情報を管理・配信している団体名称
	480		映像提供元URL			X	4000				1	1			被害映像情報を提供先のURL
	481		備考			N	4000				0	1			備考欄として映像情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧			業務ユニット名：防災情報共有（災害情報）	
インタフェース 番号	入出力		メッセージ定義	W S D L 定義
AB0101-1	入力	災害情報	災害情報登録メッセージ	lgxmlAB01s01-0100.xsd lgxmlAB01s01-0100.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	災害情報登録結果メッセージ	
AB0101-2	入力	災害識別情報 災害名 都道府県 市町村_消防本部名 災害区分 発生日時_開始 発生日時_終了 終結日時_開始 終結日時_終了 災害終結フラグ	災害情報参照メッセージ	lgxmlAB01s01-0100.xsd lgxmlAB01s01-0100.wsdl
	出力	災害情報	災害情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害情報							1	N		災害時に命名する災害名
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		都道府県		N	12			1	1		災害名を登録した市町村が属する都道府県の名称、もしくは災害名を登録した都道府県名称
6		市町村_消防本部名		N	12			1	1		災害名を登録した市町村もしくは消防本部の名称
7		災害区分		X	2	○	災害区分	1	1		登録した災害の区分
8		発生日時		日付時間情報				1	1		登録した災害が発生した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9		終結日時		日付時間情報				0	1		登録した災害が終結した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
10		登録日時		日付時間情報				0	1		災害名を登録した日時
11		更新日時		日付時間情報				0	1		災害名を更新した日時(未定義災害→正式な災害名)
12		発生場所		N	100			0	1	○	災害が発生している地域(場所)。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
13		災害概要		N	4000			0	1		発生している災害の概要情報
14		備考		N	4000			0	1		備考欄として災害情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害情報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	都道府県			N	12			0	1		災害名を登録した市町村が属する都道府県の名称、もしくは災害名を登録した都道府県名称
5	市町村_消防本部名			N	12			0	1		災害名を登録した市町村もしくは消防本部の名称
6	災害区分			X	2	○	災害区分	0	1		登録した災害の区分
7	発生日時_開始			日付時間情報				0	1		登録した災害が発生した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	発生日時_終了			日付時間情報				0	1		登録した災害が発生した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9	終結日時_開始			日付時間情報				0	1		登録した災害が終結した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
10	終結日時_終了			日付時間情報				0	1		登録した災害が終結した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
11	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	災害情報							1	N		災害時に命名する災害名
2		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4		都道府県		N	12			1	1		災害名を登録した市町村が属する都道府県の名称、もしくは災害名を登録した都道府県名称
5		市町村_消防本部名		N	12			1	1		災害名を登録した市町村もしくは消防本部の名称
6		災害区分		X	2	○	災害区分	1	1		登録した災害の区分
7		発生日時		日付時間情報				1	1		登録した災害が発生した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8		終結日時		日付時間情報				0	1		登録した災害が終結した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9		登録日時		日付時間情報				0	1		災害名を登録した日時
10		更新日時		日付時間情報				0	1		災害名を更新した日時(未定義災害→正式な災害名)
11		発生場所		N	100			0	1	○	災害が発生している地域(場所)。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
12		災害概要		N	4000			0	1		発生している災害の概要情報
13		備考		N	4000			0	1		備考欄として災害情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧			業務ユニット名：防災情報共有（災害概況即報）	
インタフェース番号	入出力		メッセージ定義	W S D L 定義
AB0102-1	入力	災害概況即報	災害概況即報登録メッセージ	xml AB01s02-0100.xsd xml AB01s02-0100.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	災害概況即報登録結果メッセージ	
AB0102-2	入力	災害識別情報 災害名 報告番号 報告日時_開始 報告日時_終了 都道府県 市町村_消防本部名 災害終結フラグ	災害概況即報参照メッセージ	xml AB01s02-0100.xsd xml AB01s02-0100.wsdl
	出力	災害概況即報	災害概況即報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害概況即報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害概況即報							1	N		消防庁第4号様式（その１）の情報
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		報告番号		9	3			1	1		報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
6		報告日時		日付時間情報				1	1		報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないときデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7		都道府県		N	12			1	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、あるいは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
8		市町村_消防本部名		N	12			1	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
9		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
10		発生場所		N	100			0	1	○	発生した場所に関する情報。消防庁第4号様式参照。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合も多々あるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
11		発生日時		日付時間情報				0	1		発生した日時に関する情報。消防庁第4号様式参照。
12		災害の概況		N	4000			0	1		災害の概況に関する情報。消防庁第4号様式参照。
13		死傷者						0	1		死傷者の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
14			死者	9	7			0	1		死者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では人的被害(03-04)の「死者【単位：人】(情報項目識別子：03-04-01)」に相当。

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害概況即報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
15		不明	9	7			0	1		行方不明者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCMML2.0では人的被害(03-04)の「行方不明【単位：人】(情報項目識別子：03-04-02)」に相当。	
16			負傷者	9	7			0	1		負傷者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
17			計	9	8			0	1		死傷者の合計数。消防庁第4号様式参照
18		住家					0	1		住家被害数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
19			全壊_棟	9	7			0	1		住家の全壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCMML2.0では住家被害(07-04)の「全壊【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-01)」に相当。
20			一部破損_棟	9	7			0	1		住家の一部破損棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCMML2.0では住家被害(07-04)の「一部半壊【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-03)」に相当。
21			半壊_棟	9	7			0	1		住家の半壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCMML2.0では住家被害(07-04)の「半壊【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-02)」に相当。
22			床上浸水_棟	9	7			0	1		住家の床上浸水棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCMML2.0では住家被害(07-04)の「床上浸水【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-04)」に相当。
23		被害の状況	N	4000			0	1		当該災害により生じた被害の状況について、判明している事項を具体的に記入。その際特に人的被害及び住家の被害に重点を置くこと	
24		災害対策本部等設置状況_都道府県					0	N		都道府県における災害対策本部の設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
25			設置状況	N	4000			1	1		災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
26			設置状況日時	日付時間情報			1	1		災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。	
27		災害対策本部等設置状況_市町村					0	N		市町村における災害対策本部を設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「災害対策本部等の設置状況」に相当。	
28			災害対策本部等設置市町村	N	12			1	1		災害対策本部を設置している市町村名。消防庁第4号様式参照。
29			設置状況	N	4000			1	1		災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害概況即報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
30			設置状況日時	日付時間情報				1	1		災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
31		応急対策の状況		N	4000			0	1		応急対策の状況に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害概況即報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害概況即報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	報告番号			9	3			0	1		報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
5	報告日時_開始			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
6	報告日時_終了			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	都道府県			N	12			0	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、あるいは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
8	市町村_消防本部名			N	12			0	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
9	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害概況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	災害概況即報							1	N		消防庁第4号様式（その１）の情報
2		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3		災害名		N	40			1	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4		報告番号		9	3			1	1		報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
5		報告日時		日付時間情報				1	1		報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないでデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
6		都道府県		N	12			1	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、あるいは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
7		市町村_消防本部名		N	12			1	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
8		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
9		発生場所		N	100			0	1	○	発生した場所に関する情報。消防庁第4号様式参照。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合も多々あるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
10		発生日時		日付時間情報				0	1		発生した日時に関する情報。消防庁第4号様式参照。
11		災害の概況		N	4000			0	1		災害の概況に関する情報。消防庁第4号様式参照。
12		死傷者						0	1		死傷者の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
13			死者		9	7			0	1	

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害概況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
14		不明	9	7			0	1		行方不明者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では人的被害（03-04）の「行方不明【単位：人】（情報項目識別子：03-04-02）」に相当。	
15			負傷者	9	7			0	1		負傷者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
16			計	9	8			0	1		死傷者の合計数。消防庁第4号様式参照
17		住家					0	1		住家被害数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
18			全壊_棟	9	7			0	1		住家の全壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害（07-04）の「全壊【単位：棟】（情報項目識別子：07-04-01）」に相当。
19			一部破損_棟	9	7			0	1		住家の一部破損棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害（07-04）の「一部半壊【単位：棟】（情報項目識別子：07-04-03）」に相当。
20			半壊_棟	9	7			0	1		住家の半壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害（07-04）の「半壊【単位：棟】（情報項目識別子：07-04-02）」に相当。
21			床上浸水_棟	9	7			0	1		住家の床上浸水棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害（07-04）の「床上浸水【単位：棟】（情報項目識別子：07-04-04）」に相当。
22		被害の状況	N	4000			0	1		当該災害により生じた被害の状況について、判明している事項を具体的に記入。その際特に人的被害及び住家の被害に重点を置くこと	
23		災害対策本部等設置状況_都道府県					0	N		都道府県における災害対策本部の設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
24			設置状況	N	4000			1	1		災害対策本部の設置状況（未設置、設置、解散等）。消防庁第4号様式参照。
25			設置状況日時	日付時間情報				1	1		災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
26		災害対策本部等設置状況_市町村					0	N		市町村における災害対策本部を設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「災害対策本部等の設置状況」に相当。	
27			災害対策本部等設置市町村	N	12			1	1		災害対策本部を設置している市町村名。消防庁第4号様式参照。

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害概況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
28			設置状況	N	4000			1	1		災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
29			設置状況日時	日付時間情報			1	1		災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。	
30		応急対策の状況		N	4000			0	1		応急対策の状況に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じている。

インタフェース一覧			業務ユニット名：防災情報共有（被害状況即報）	
インタフェース 番号	入出力		メッセージ定義	W S D L 定義
AB0103-1	入力	被害状況即報	被害状況即報登録メッセージ	xml AB01s03-0100.xsd xml AB01s03-0100.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	被害状況即報登録結果メッセージ	
AB0103-2	入力	災害識別情報 都道府県 災害名 報告番号 報告日時_開始 報告日時_終了 災害終了フラグ	被害状況即報参照メッセージ	xml AB01s03-0100.xsd xml AB01s03-0100.wsdl
	出力	被害状況即報	被害状況即報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況即報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	被害状況即報							1	N		消防庁第4号様式（その2）
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
4		都道府県		N	12			1	1		報告を行った都道府県名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
5		災害名		N	40			1	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
6		報告番号		9	3			1	1		報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……)消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
7		報告日時		日付時間情報				1	1		報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないときデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
9		人的被害						0	1		人的被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
10			死者	9	7			0	1		死者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では人的被害(03-04)の「死者【単位：人】(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。
11			行方不明者	9	7			0	1		行方不明者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では人的被害(03-04)の「行方不明【単位：人】(情報項目識別子:03-04-02)」に相当。
12			重傷	9	7			0	1		重傷者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
13			軽傷	9	7			0	1		軽傷者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
14		住家被害						0	1		住家被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況即報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
15			全壊_棟	9	7			0	1		住家の全壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害（07-04）の「全壊【単位：棟】（情報項目識別子：07-04-01）」に相当。
16			全壊_世帯	9	7			0	1		住家の全壊世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
17			全壊_人	9	7			0	1		住家が全壊した住民の人数。家屋が倒壊するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
18			半壊_棟	9	7			0	1		住家の半壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害（07-04）の「半壊【単位：棟】（情報項目識別子：07-04-02）」に相当。
19			半壊_世帯	9	7			0	1		住家の半壊世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
20			半壊_人	9	7			0	1		住家が半壊した住民の人数。家屋が半壊するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
21			一部破損_棟	9	7			0	1		住家の一部破損棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害（07-04）の「一部半壊【単位：棟】（情報項目識別子：07-04-03）」に相当。
22			一部破損_世帯	9	7			0	1		住家の一部破損世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
23			一部破損_人	9	7			0	1		住家が一部破損した人数。住家が一部破損するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
24			床上浸水_棟	9	7			0	1		住家の床上浸水棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害（07-04）の「床上浸水【単位：棟】（情報項目識別子：07-04-04）」に相当。
25			床上浸水_世帯	9	7			0	1		住家が床上浸水した世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
26			床上浸水_人	9	7			0	1		住家が床上浸水した人数。住家が浸水するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
27			床下浸水_棟	9	7			0	1		住家が床下浸水した棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害（07-04）の「床下浸水【単位：棟】（情報項目識別子：07-04-05）」に相当。
28			床下浸水_世帯	9	7			0	1		住家が床下浸水した世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況即報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
29	非住家被害		床下浸水_人	9	7			0	1		住家が床下浸水した人数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
30								0	1		非住家被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
31			公共建物_棟	9	7			0	1		被害を受けた公共建物棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
32			非住家被害_その他_棟	9	7			0	1		被害を受けたその他の建物棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
33	その他被害							0	1		その他被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
34			田流失埋没	9	7			0	1		田流失埋没面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
35			田冠水	9	7			0	1		田冠水面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
36			畑流失埋没	9	7			0	1		畑流失埋没面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
37			畑冠水	9	7			0	1		畑冠水面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
38			文教施設	9	7			0	1		被害を受けた文教施設箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害文教施設箇所数」に相当。
39			病院	9	7			0	1		被害を受けた病院の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害病院箇所数」に相当。
40			道路	9	7			0	1		被害を受けた道路の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害道路箇所数」に相当。
41			橋りょう	9	7			0	1		被害を受けた橋梁の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害橋梁箇所数」に相当。
42			河川	9	7			0	1		被害を受けた河川の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害河川箇所数」に相当。
43		港湾	9	7			0	1		被害を受けた港湾の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害港湾箇所数」に相当。	

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況即報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
44			砂防	9	7			0	1		被害を受けた砂防の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害砂防箇所数」に相当。
45			清掃施設	9	7			0	1		被害を受けた清掃施設の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害清掃施設箇所数」に相当。
46			崖くずれ	9	7			0	1		崖崩れが発生している箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「崖崩れ箇所数」に相当。
47			鉄道不通	9	7			0	1		鉄道が不通となっている箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「鉄道不通箇所数」に相当。
48			被害船舶	9	7			0	1		被害を受けた船舶隻数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害船舶隻数」に相当。
49			水道	9	7			0	1		断水している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「断水戸数」に相当。
50			電話	9	7			0	1		電話が不通状態となっている電話回線数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「不通電話回線数」に相当。
51			電気	9	7			0	1		停電が発生している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「停電戸数」に相当。
52			ガス	9	7			0	1		ガス供給が停止している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「ガス供給停止戸数」に相当。
53			ブロック塀等	9	7			0	1		被害ブロック塀等箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害ブロック塀等箇所数」に相当。
54		り災世帯数		9	7			0	1		罹災対象世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
55		り災者数		9	7			0	1		罹災対象者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
56		火災発生						0	1		火災発生件数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
57			建物	9	7			0	1		建物火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
58			危険物	9	7			0	1		危険物の火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。

メッセージ定義					メッセージ定義名：被害状況即報登録メッセージ						
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
59			火災発生_その他	9	7			0	1		その他火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。
60		公立文教施設		S9	13			0	1		公立文教施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
61		農林水産業施設		S9	13			0	1		農林水産業施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
62		公共土木施設		S9	13			0	1		公共土木施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
63		その他の公共施設		S9	13			0	1		その他公共施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
64		小計		S9	15			0	1		上記被害額の合計(千円)。消防庁第4号様式参照。
65		公共施設被害市町村数		9	4			0	1		公共施設被害市町村の数(団体数)。消防庁第4号様式参照。
66		被害額その他						0	1		農業、林業、畜産、水産、商工、その他被害に関する被害規模を登録する。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
67			農業被害	S9	13			0	1		農業被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
68			林業被害	S9	13			0	1		林業被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
69			畜産被害	S9	13			0	1		畜産被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
70			水産被害	S9	13			0	1		水産被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
71			商工被害	S9	13			0	1		商工被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
72			被害額その他_その他	S9	13			0	1		その他の被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
73		被害総額		S9	15			0	1		公共文教施設に関する被害額～その他被害額までの総計(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況即報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
74		災害対策本部等設置状況_都道府県						0	N		都道府県における災害対策本部の設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
75		設置状況	N	4000				1	1		災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
76		設置状況日時	日付時間情報					1	1		災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
77		災害対策本部等設置状況_市町村						0	N		災害対策本部を設置している市町村の情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「災害対策本部等の設置状況」に相当。
78		災害対策本部等設置市町村	N	12				1	1		災害対策本部を設置している市町村名。消防庁第4号様式参照。
79		設置状況	N	4000				1	1		災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
80		設置状況日時	日付時間情報					1	1		災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
81		災害救助法適用市町村						0	N		災害救助法を適用している市町村の情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
82		市町村_消防本部名	N	12				0	1		災害救助法を適用した市町村名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「災害救助法適用市町村名」に相当。
83		適用日時	日付時間情報					0	1		災害救助法を適用した日時。消防庁第4号様式参照。
84	災害救助法適用市町村数			9	4			0	1		災害救助法を適用した市町村数。消防庁第4号様式参照。
85	消防職員出動延人数			9	5			0	1		消防職員の出動延人数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
86	消防団員出動延人数			9	5			0	1		消防団員の出動延人数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
87	備考							0	1		以下の事項を登録する

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況即報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
88			災害発生場所	N	100			0	1	○	被害を生じた市町村名又は地域名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
89			災害発生年月日	X	100			0	1		被害を生じた日時又は期間。消防庁第4号様式参照。データ型については、日付時間情報なので本来項目セット辞書を活用するところですが、期間情報を登録する場合もあるため、両方の情報を入力できるようにするため自由記述ができるstring型としている
90			災害の種類概況	N	4000			0	1		台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等の種別、災害の経過、今後の見通し等。消防庁第4号様式参照
91			消防_水防_救急_救助等消防機関の活動状況	N	4000			0	1		消防機関の活動の概況情報。消防庁第4号様式参照。
92			避難の勧告_指示の状況	N	4000			0	1		避難勧告指示の発令状況。消防庁第4号様式参照。
93			避難所の設置状況	N	4000			0	1		避難所の開設・設置状況。消防庁第4号様式参照。
94			他の地方公共団体への応援要請_応援活動の状況	N	4000			0	1		他団体からの応援状況。消防庁第4号様式参照。
95			自衛隊の派遣要請_出動状況	N	4000			0	1		自衛隊の派遣要請及び出動状況
96			災害ボランティアの活動状況	N	4000			0	1		災害ボランティアの活動状況

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況即報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況即報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3	都道府県			N	12			0	1		報告を行った都道府県名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
4	災害名			N	40			0	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5	報告番号			9	3			0	1		報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……)消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
6	報告日時_開始			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	報告日時_終了			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	被害状況即報							1	N		消防庁第4号様式（その2）
2		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3		都道府県		N	12			1	1		報告を行った都道府県名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		報告番号		9	3			1	1		報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……)消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
6		報告日時		日付時間情報				1	1		報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
8		人的被害						0	1		人的被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
9			死者	9	7			0	1		死者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCMML2.0では人的被害(03-04)の「死者【単位:人】(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。
10			行方不明者	9	7			0	1		行方不明者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCMML2.0では人的被害(03-04)の「行方不明【単位:人】(情報項目識別子:03-04-02)」に相当。
11			重傷	9	7			0	1		重傷者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
12			軽傷	9	7			0	1		軽傷者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
13		住家被害						0	1		住家被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
14			全壊_棟	9	7			0	1		住家の全壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCMML2.0では住家被害(07-04)の「全壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-01)」に相当。

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
15			全壊_世帯	9	7			0	1		住家の全壊世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
16			全壊_人	9	7			0	1		住家が全壊した住民の人数。家屋が倒壊するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
17			半壊_棟	9	7			0	1		住家の半壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「半壊【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-02)」に相当。
18			半壊_世帯	9	7			0	1		住家の半壊世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
19			半壊_人	9	7			0	1		住家が半壊した住民の人数。家屋が半壊するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
20			一部破損_棟	9	7			0	1		住家の一部破損棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「一部半壊【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-03)」に相当。
21			一部破損_世帯	9	7			0	1		住家の一部破損世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
22			一部破損_人	9	7			0	1		住家が一部破損した人数。住家が一部破損するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
23			床上浸水_棟	9	7			0	1		住家の床上浸水棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「床上浸水【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-04)」に相当。
24			床上浸水_世帯	9	7			0	1		住家が床上浸水した世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
25			床上浸水_人	9	7			0	1		住家が床上浸水した人数。住家が浸水するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
26			床下浸水_棟	9	7			0	1		住家が床下浸水した棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「床下浸水【単位：棟】(情報項目識別子：07-04-05)」に相当。
27			床下浸水_世帯	9	7			0	1		住家が床下浸水した世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
28			床下浸水_人	9	7			0	1		住家が床下浸水した人数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
29		非住家被害						0	1		非住家被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
30			公共建物_棟	9	7			0	1		被害を受けた公共建物棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
31			非住家被害_その他_棟	9	7			0	1		被害を受けたその他の建物棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
32		その他被害						0	1		その他被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
33			田流失埋没	9	7			0	1		田流失埋没面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
34			田冠水	9	7			0	1		田冠水面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
35			畑流失埋没	9	7			0	1		畑流失埋没面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
36			畑冠水	9	7			0	1		畑冠水面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
37			文教施設	9	7			0	1		被害を受けた文教施設箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害文教施設箇所数」に相当。
38			病院	9	7			0	1		被害を受けた病院の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害病院箇所数」に相当。
39			道路	9	7			0	1		被害を受けた道路の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害道路箇所数」に相当。
40			橋りょう	9	7			0	1		被害を受けた橋梁の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害橋梁箇所数」に相当。
41			河川	9	7			0	1		被害を受けた河川の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害河川箇所数」に相当。
42			港湾	9	7			0	1		被害を受けた港湾の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害港湾箇所数」に相当。
43			砂防	9	7			0	1		被害を受けた砂防の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害砂防箇所数」に相当。

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
44			清掃施設	9	7			0	1		被害を受けた清掃施設の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害清掃施設箇所数」に相当。
45			崖くずれ	9	7			0	1		崖崩れが発生している箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「崖崩れ箇所数」に相当。
46			鉄道不通	9	7			0	1		鉄道が不通となっている箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「鉄道不通箇所数」に相当。
47			被害船舶	9	7			0	1		被害を受けた船舶隻数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害船舶隻数」に相当。
48			水道	9	7			0	1		断水している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「断水戸数」に相当。
49			電話	9	7			0	1		電話が不通状態となっている電話回線数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「不通電話回線数」に相当。
50			電気	9	7			0	1		停電が発生している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「停電戸数」に相当。
51			ガス	9	7			0	1		ガス供給が停止している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「ガス供給停止戸数」に相当。
52			ブロック塀等	9	7			0	1		被害ブロック塀等箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害ブロック塀等箇所数」に相当。
53			り災世帯数		9	7			0	1	
54	り災者数		9	7			0	1		罹災対象者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
55	火災発生						0	1		火災発生件数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
56		建物	9	7			0	1		建物火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
57		危険物	9	7			0	1		危険物の火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
58		火災発生_その他	9	7			0	1		その他火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。	

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
59		公立文教施設		S9	13			0	1		公立文教施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
60		農林水産業施設		S9	13			0	1		農林水産業施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
61		公共土木施設		S9	13			0	1		公共土木施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
62		その他の公共施設		S9	13			0	1		その他公共施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
63		小計		S9	15			0	1		上記被害額の合計(千円)。消防庁第4号様式参照。
64		公共施設被害市町村数		9	4			0	1		公共施設被害市町村の数(団体数)。消防庁第4号様式参照。
65		被害額その他						0	1		農業、林業、畜産、水産、商工、その他被害に関する被害規模を登録する。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
66			農業被害	S9	13			0	1		農業被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
67			林業被害	S9	13			0	1		林業被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
68			畜産被害	S9	13			0	1		畜産被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
69			水産被害	S9	13			0	1		水産被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
70			商工被害	S9	13			0	1		商工被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
71			被害額その他_その他	S9	13			0	1		その他の被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
72		被害総額		S9	15			0	1		公共文教施設に関する被害額～その他被害額までの総計(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
73		災害対策本部等設置状況_都道府県						0	N		都道府県における災害対策本部の設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
74			設置状況	N	4000			1	1		災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
75			設置状況日時	日付時間情報				1	1		災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
76		災害対策本部等設置状況_市町村						0	N		災害対策本部を設置している市町村の情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「災害対策本部等の設置状況」に相当。
77			災害対策本部等設置市町村	N	12			1	1		災害対策本部を設置している市町村名。消防庁第4号様式参照。
78			設置状況	N	4000			1	1		災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
79			設置状況日時	日付時間情報				1	1		災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
80			災害救助法適用市町村						0	N	
81		市町村_消防本部名		N	12			0	1		災害救助法を適用した市町村名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「災害救助法適用市町村名」に相当。
82		適用日時		日付時間情報				0	1		災害救助法を適用した日時。消防庁第4号様式参照。
83		災害救助法適用市町村数		9	4			0	1		災害救助法を適用した市町村数。消防庁第4号様式参照。
84		消防職員出動延人数		9	5			0	1		消防職員の出動延人数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
85		消防団員出動延人数		9	5			0	1		消防団員の出動延人数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
86		備考						0	1		以下の事項を登録する
87		災害発生場所	N	100				0	1	○	被害を生じた市町村名又は地域名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況即報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
88			災害発生年月日	X	100			0	1		被害を生じた日時又は期間。消防庁第4号様式参照。データ型については、日付時間情報なので本来項目セット辞書を活用するところですが、期間情報を登録する場合もあるため、両方の情報を入力できるようにするため自由記述ができるstring型としている
89			災害の種類概況	N	4000			0	1		台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等の種別、災害の経過、今後の見通し等。消防庁第4号様式参照
90			消防_水防_救急_救助等消防機関の活動状況	N	4000			0	1		消防機関の活動の概況情報。消防庁第4号様式参照。
91			避難の勧告_指示の状況	N	4000			0	1		避難勧告指示の発令状況。消防庁第4号様式参照。
92			避難所の設置状況	N	4000			0	1		避難所の開設・設置状況。消防庁第4号様式参照。
93			他の地方公共団体への応援要請_応援活動の状況	N	4000			0	1		他団体からの応援状況。消防庁第4号様式参照。
94			自衛隊の派遣要請_出動状況	N	4000			0	1		自衛隊の派遣要請及び出動状況
95			災害ボランティアの活動状況	N	4000			0	1		災害ボランティアの活動状況

インタフェース一覧			業務ユニット名：防災情報共有（被害情報_付加情報）	
インタフェース 番号	入出力		メッセージ定義	W S D L 定義
AB0104-1	入力	被害情報_付加情報	被害情報_付加情報登録メッセージ	xml AB01s04-0100.xsd xml AB01s04-0100.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	被害情報_付加情報登録結果メッセージ	
AB0104-2	入力	災害識別情報 災害名 報告番号 報告日時_開始 報告日時_終了 都道府県 市町村_消防本部名 被害識別情報 災害終結フラグ	被害情報_付加情報参照メッセージ	xml AB01s04-0100.xsd xml AB01s04-0100.wsdl
	出力	被害情報_付加情報	被害情報_付加情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害情報_付加情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	被害状況_付加情報							1	N		消防庁第4号様式で扱っていない被害情報項目を付加情報として整理
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		報告番号		9	3			1	1		報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
6		報告日時		日付時間情報				1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないと言とデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7		都道府県		N	12			1	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、もしくは都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
8		市町村_消防本部名		N	12			1	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
9		被害識別情報		X	20			1	1		被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋D+管理番号(5桁～)で管理する
10		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の名前
11		発生場所		N	100			0	1	○	被害が発生した場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
12		発生日時		日付時間情報				1	1		被害が発生した日時
13		更新日時		日付時間情報				1	1		被害情報の更新日時
14		重傷者数						0	1		重傷者の人数。災害時に自治体が需給推計を行い、その推計を元に派遣する職員の数判断する。TVCML2.0では人的被害(03-04)の「重傷者【単位：人】(情報項目識別子：03-04-03)」に相当。
15			総数	9	8			0	1		重傷者の総数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害情報_付加情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
16			鉄道	9	7			0	1		重傷者のうち、鉄道に関する重傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる
17			道路	9	7			0	1		重傷者のうち、道路に関する重傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる
18		軽傷者数						0	1		軽傷者の人数。災害時に自治体が需給推計を行い、その推計を元に派遣する職員の数来判断する。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM1.2.0では人的被害(03-04)の「軽傷者【単位:人】(情報項目識別子:03-04-04)」に相当。
19			総数	9	8			0	1		軽傷者数
20			鉄道	9	7			0	1		軽傷者のうち、鉄道における軽傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる
21		備考		N	4000			0	1		備考欄として被害状況_付加情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害情報_付加情報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害情報_付加情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	報告番号			9	3			0	1		報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
5	報告日時_開始			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないと言データの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
6	報告日時_終了			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないと言データの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	都道府県			N	12			0	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、あるいは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
8	市町村_消防本部名			N	12			0	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
9	被害識別情報			X	20			0	1		被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋D＋管理番号(5桁～)で管理する
10	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害情報_付加情報参照結果メッセージ								
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
						CD	コード名	最小	最大			
1	被害状況_付加情報							1	N		消防庁第4号様式で扱っていない被害情報項目を付加情報として整理	
2		災害識別情報	X	20				1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する	
3		災害名	N	40				1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
4		報告番号	9	3				1	1		報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
5		報告日時	日付時間情報					1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないときデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	
6		都道府県	N	12				1	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、もしくは都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
7		市町村_消防本部名	N	12				1	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。	
8		被害識別情報	X	20				1	1		被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋D＋管理番号(5桁～)で管理する	
9		報告者名	職員名情報					0	1		報告を実施した職員の名前	
10		発生場所	N	100				0	1	○	被害が発生した場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない	
11		発生日時	日付時間情報					1	1		被害が発生した日時	
12		更新日時	日付時間情報					1	1		被害情報の更新日時	
13		重傷者数						0	1		重傷者の人数。災害時に自治体が需給推計を行い、その推計を元に派遣する職員の数を判断する。TVCML2.0では人的被害(03-04)の「重傷者【単位:人】(情報項目識別子:03-04-03)」に相当。	
14			総数	9	8				0	1		重傷者の総数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
15			鉄道	9	7				0	1		重傷者のうち、鉄道に関する重傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害情報_付加情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
16	軽傷者数		道路	9	7			0	1		重傷者のうち、道路に関する重傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる
17								0	1		軽傷者の人数。災害時に自治体が需給推計を行い、その推計を元に派遣する職員の数进行判断する。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では人的被害(03-04)の「軽傷者【単位：人】(情報項目識別子：03-04-04)」に相当。
18			総数	9	8			0	1		軽傷者数
19			鉄道	9	7			0	1		軽傷者のうち、鉄道における軽傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる
20			備考		N	4000			0	1	

インタフェース一覧			業務ユニット名：防災情報共有（被害状況_詳細情報）	
インタフェース 番号	入出力		メッセージ定義	W S D L 定義
AB0105-1	入力	被害状況_詳細情報	被害状況_詳細情報登録メッセージ	xml AB01s05-0100.xsd xml AB01s05-0100.wsd
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	被害状況_詳細情報登録結果メッセージ	
AB0105-2	入力	災害識別情報 災害名 報告日時_開始 報告日時_終了 都道府県 市町村_消防本部名 被害識別情報 確実度 対応 被害種別 災害終結フラグ	被害状況_詳細情報参照メッセージ	xml AB01s05-0100.xsd xml AB01s05-0100.wsd
	出力	被害状況_詳細情報	被害状況_詳細情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況_詳細情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	被害状況_詳細情報							1	N		被害情報の1事案に関する詳細情報
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		報告日時		日付時間情報				1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
6		都道府県		N	12			1	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、もしくは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
7		市町村_消防本部名		N	12			1	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
8		被害識別情報		X	20			1	1		被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋D＋管理番号(5桁～)で管理する
9		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
10		確実度		X	1	○	確実度	1	1		被害情報の確実度(速報or確定報)。減災情報共有スキーマでは「確認未確認情報」に相当
11		対応		X	1	○	対応状況	1	1		発生した被害の対応状況(未対応、対応中、対応済)
12		被害種別		X	1	○	被害種別	1	1		被害種別(人的被害、住家被害、非住家被害、ライフライン被害等)
13		被害名		N	50			0	1	○	被害対象名称(人名、建物名等)
14		発生日時		日付時間情報				0	1		被害が発生した日時

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況_詳細情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
15		発生場所		N	100			0	1	○	被害の発生場所。減災情報共有スキーマでは「被害場所住所」に相当。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
16		報告者名		職員名情報				0	1		被害報告を行った職員名。減災情報共有スキーマでは「発信者氏名組織」に相当
17		人的被害						0	N		人的被害に関する被害の詳細情報
18			被害区分	X	1	○	人的被害区分	0	1		人的被害に関する被害区分(死者、行方不明・・・等)。減災情報共有スキーマでは「人的被害種別」に相当
19			被害者氏名	氏名情報				0	1	○	被害者氏名に関する情報
20			被害者性別	X	1	○	性別	0	1		被害者の性別情報
21			被害者生年月日	生年月日情報				0	1		被害者の生年月日
22			被害者住所	住所情報				0	1	○	被害者の住所
23			被害者連絡先	電話番号情報				0	1		被害者の連絡先(電話番号)
24			収容先	N	100			0	1		被害者の収容先に関する情報
25			収容先住所	住所情報				0	1	○	被害者の収容先の住所
26			収容先連絡先	電話番号情報				0	1		被害者の収容先の連絡先(電話番号)
27		住家被害						0	N		住家被害に関する情報
28			被害区分	X	1	○	住家被害区分	0	1		住家被害に関する被害区分(全壊、半壊・・・等)

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況_詳細情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
29			世帯数	9	7			0	1		住家被害により被害を受けた世帯数
30			被害概況	N	4000			0	1		発生した被害に関する情報
31		非住家被害						0	N		非住家被害に関する情報
32			被害対象	X	2	○	被害対象	0	1		被害対象物(公共建物、その他)に関する情報
33			被害区分	X	1	○	非住家被害区分	0	1		非住家被害に関する被害区分(全壊、半壊……等)
34			被害概況	N	4000			0	1		発生した被害に関する情報
35		その他被害						0	N		その他被害(田、畑、文教施設……等)に関する情報
36			被害対象	X	2	○	被害対象	0	1		その他被害に関する被害対象物(田、畑、文教施設……等)に関する情報
37			被害区分	X	2	○	その他被害区分	0	1		その他被害に関する被害区分(全壊、半壊……等)
38			被害概況	N	4000			0	1		発生した被害に関する情報
39		備考		N	4000			0	1		備考欄として被害状況_詳細情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況_詳細情報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況_詳細情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5	報告日時_開始			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
6	報告日時_終了			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	都道府県			N	12			0	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、あるいは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
8	市町村_消防本部名			N	12			0	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
9	被害識別情報			X	20			0	1		被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋D＋管理番号(5桁～)で管理する
10	確実度			X	1	○	確実度	0	1		被害情報の確実度(速報or確定報)。減災情報共有スキーマでは「確認未確認情報」に相当
11	対応			X	1	○	対応状況	0	1		発生した被害の対応状況(未対応、対応中、対応済)
12	被害種別			X	1	○	被害種別	0	1		被害種別(人的被害、住家被害、非住家被害、ライフライン被害等)
13	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況_詳細情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	被害状況_詳細情報							1	N		被害情報の1事案に関する詳細情報
2		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3		災害名		N	40			1	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4		報告日時		日付時間情報				1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
5		都道府県		N	12			1	1		報告を行った市町村が属する都道府県の名称、もしくは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
6		市町村_消防本部名		N	12			1	1		報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
7		被害識別情報		X	20			1	1		被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋D＋管理番号(5桁～)で管理する
8		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
9		確実度		X	1	○	確実度	1	1		被害情報の確実度(速報or確定報)。減災情報共有スキーマでは「確認未確認情報」に相当
10		対応		X	1	○	対応状況	1	1		発生した被害の対応状況(未対応、対応中、対応済)
11		被害種別		X	1	○	被害種別	1	1		被害種別(人的被害、住家被害、非住家被害、ライフライン被害等)
12		被害名		N	50			0	1	○	被害対象名称(人名、建物名等)
13		発生日時		日付時間情報				0	1		被害が発生した日時

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況_詳細情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
14		発生場所		N	100			0	1	○	被害の発生場所。減災情報共有スキーマでは「被害場所住所」に相当。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
15		報告者名		職員名情報				0	1		被害報告を行った職員名。減災情報共有スキーマでは「発信者氏名組織」に相当
16		人的被害						0	N		人的被害に関する被害の詳細情報
17			被害区分	X	1	○	人的被害区分	0	1		人的被害に関する被害区分(死者、行方不明・・・等)。減災情報共有スキーマでは「人的被害種別」に相当
18			被害者氏名	氏名情報				0	1	○	被害者氏名に関する情報
19			被害者性別	X	1	○	性別	0	1		被害者の性別情報
20			被害者生年月日	生年月日情報				0	1		被害者の生年月日
21			被害者住所	住所情報				0	1	○	被害者の住所
22			被害者連絡先	電話番号情報				0	1		被害者の連絡先(電話番号)
23			収容先	N	100			0	1		被害者の収容先に関する情報
24			収容先住所	住所情報				0	1	○	被害者の収容先の住所
25		収容先連絡先	電話番号情報				0	1		被害者の収容先の連絡先(電話番号)	
26		住家被害						0	N		住家被害に関する情報
27			被害区分	X	1	○	住家被害区分	0	1		住家被害に関する被害区分(全壊、半壊・・・等)

メッセージ定義				メッセージ定義名：被害状況_詳細情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
28			世帯数	9	7			0	1		住家被害により被害を受けた世帯数
29			被害概況	N	4000			0	1		発生した被害に関する情報
30		非住家被害						0	N		非住家被害に関する情報
31			被害対象	X	2	○	被害対象	0	1		被害対象物(公共建物、その他)に関する情報
32			被害区分	X	1	○	非住家被害区分	0	1		非住家被害に関する被害区分(全壊、半壊……等)
33			被害概況	N	4000			0	1		発生した被害に関する情報
34		その他被害						0	N		その他被害(田、畑、文教施設…等)に関する情報
35			被害対象	X	2	○	被害対象	0	1		その他被害に関する被害対象物(田、畑、文教施設……等)に関する情報
36			被害区分	X	2	○	その他被害区分	0	1		その他被害に関する被害区分(全壊、半壊……等)
37			被害概況	N	4000			0	1		発生した被害に関する情報
38		備考		N	4000			0	1		備考欄として被害状況_詳細情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧			業務ユニット名：防災情報共有（避難勧告_指示情報）	
インタフェース 番号	入出力		メッセージ定義	W S D L 定義
AB0106-1	入力	避難勧告_指示情報	避難勧告_指示情報登録メッセージ	xml AB01s06-0100.xsd xml AB01s06-0100.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	避難勧告_指示情報登録結果メッセージ	
AB0106-2	入力	災害識別情報 災害名 都道府県 市町村_消防本部名 避難勧告_指示識別情報 発令日時_開始 発令日時_終了 解除日時_開始 解除日時_終了 勧告種別 災害終結フラグ	避難勧告_指示情報参照メッセージ	xml AB01s06-0100.xsd xml AB01s06-0100.wsdl
	出力	避難勧告_指示情報	避難勧告_指示情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難勧告_指示情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	避難勧告_指示情報							1	N		住民へ甚大な被害が及ぶと想定される場合に、市町村が住民に対して避難所や避難場所へ避難するよう勧告または指示を行った情報
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		都道府県		N	12			1	1		避難勧告・指示を発令した市町村もしくは消防本部が属する都道府県の名称。減災情報共有スキーマでは「発令機関」に相当
6		市町村_消防本部名		N	12			1	1		避難勧告・指示を発令した市町村もしくは消防本部の名称。減災情報共有スキーマでは「発令機関」に相当
7		避難勧告_指示識別情報		X	20			1	1		避難勧告指示情報の整理番号(ID)。CAPでは「identifier」に相当。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋E＋管理番号(5桁～)で管理する
8		発令システム識別子		X	100			0	1		発令したシステムの識別子。一意性を保証するためにインターネットのドメイン名で修飾された名票を使用。CAPでは「Sender」に相当
9		送信日時		日付時間情報				0	1		避難勧告・指示情報をシステムで送信した日時。CAPでは「sent」に相当
10		発令日時		日付時間情報				1	1		避難勧告・指示を発令した日時。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令日時」に相当。TVCM2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
11	解除日時		日付時間情報				0	1		避難勧告・指示を解除した日時。TVCM2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「解除日時_開始」と「解除日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難勧告_指示情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
12		メッセージ状態		X	1	○	メッセージの状態	0	1		避難勧告・指示情報(メッセージ)に関する情報。この情報が実際の避難情報なのか、避難演習での情報なのか・・・等。CAPでは「Status」に相当
13		メッセージ種別		X	1	○	メッセージの種類	0	1		メッセージの種別。CAPでは「msgType」に相当
14		配信範囲		X	1	○	配信の範囲	0	1		メッセージ配信先
15		言語		N	20			0	1		配信情報の記述言語
16		災害区分		X	2	○	災害区分	0	1		CAPでは「category」要素で示される災害種別のカテゴリを示す
17		避難原因		N	4000			0	1		災害区別のカテゴリと、この避難の原因となる内容を示す。CAPでは「category/event」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令要因」に相当
18		勧告種別		X	1	○	避難勧告指示種別	1	1		避難勧告・指示の発令内容種別。CAPでは「responseType(urgency,severity,certainty)」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「避難勧告等種別」(避難指示 避難勧告 避難準備情報 自主避難 解除)に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「勧告・指示区分(コード:1:避難準備、2:避難勧告、3:避難指示)(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。
19		発令権限者		職員名情報				0	1		避難勧告・指示情報を発令した権者名。メールアドレス等でなく日本語での表示名。CAPでは「senderName」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令者」に相当。
20		ヘッドライン		N	100			1	1		ニュースヘッドラインのように短い文字列で避難情報を流す。CAPでは「headline」に相当。
21		避難情報文		N	4000			1	1		避難情報の詳細を示した文章。CAPでは「description」に相当。減災情報共有スキーマでは「指示・連絡内容」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「対象地区(自由記述)(情報項目識別子:03-04-05-01)」に相当。
22	添付ファイル説明文		N	100			0	1		添付ファイルの説明文(例:避難所の場所)。CAPでは「resourceDesc」に相当。	
23	対象地域		N	100			1	1	○	避難勧告・指示の発令対象地域に関する説明文。CAPでは「areaDesc」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報(03-04)の「対象領域」、「対象領域名」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報の「対象地区(情報項目識別子:03-04-05)」に相当。	

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難勧告_指示情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
24	緊急対処事態							0	1		「地方公共団体における国民保護図上訓練の手引き」で記載されている緊急対処事態に関する情報
25		都道府県緊急対処事態対策本部を設置すべき都道府県	N	100				0	1		緊急対処事態対策本部を設置している都道府県名
26		市町村緊急対処事態対策本部を設置すべき市町村	N	100				0	1		緊急対処事態対策本部を設置している市町村名
27		警報内容	N	4000				0	1		緊急対処事態対策本部から発令される警報に関する情報
28		警報の通知伝達の対象となる地域の範囲	N	4000				0	1		警報の通知・伝達の対象となる地域の範囲に関する情報。全国もしくは特定地域(都道府県)名
29		サイレンを使用する地域	N	4000				0	1	○	警報の通知・伝達の際にサイレンを使用する地域に関する情報。全国もしくは攻撃が迫り、又は現に攻撃が発生したと認められる地域名。あるいはサイレンは使用しない・・・等
30		避難措置の指示内容	N	4000				0	1		緊急対処事態発生に伴い指示した避難措置の内容
31		要避難地域	N	4000				0	1	○	要避難地域名
32		避難先地域	N	4000				0	1	○	避難先の地域名
33			住民の避難に関して関係機関が講ずべき措置の概要	N	4000				0	1	
34	備考		N	4000				0	1		備考欄として避難勧告_指示情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難勧告_指示情報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難勧告_指示情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	都道府県			N	12			0	1		避難勧告・指示を発令した市町村もしくは消防本部が属する都道府県の名称。減災情報共有スキーマでは「発令機関」に相当
5	市町村_消防本部名			N	12			0	1		避難勧告・指示を発令した市町村もしくは消防本部の名称。減災情報共有スキーマでは「発令機関」に相当
6	避難勧告_指示識別情報			X	20			0	1		避難勧告指示情報の整理番号(ID)。CAPでは「identifier」に相当。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋E+管理番号(5桁～)で管理する
7	発令日時_開始			日付時間情報				0	1		避難勧告・指示を発令した日時。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令日時」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	発令日時_終了			日付時間情報				0	1		避難勧告・指示を発令した日時。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令日時」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9	解除日時_開始			日付時間情報				0	1		避難勧告・指示を解除した日時。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「解除日時_開始」と「解除日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難勧告_指示情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
10	解除日時_終了			日付時間情報				0	1		避難勧告・指示を解除した日時。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「解除日時_開始」と「解除日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
11	勧告種別			X	1	○	避難勧告指示種別	0	1		避難勧告・指示の発令内容種別。CAPでは「responseType(urgency,severity,certainty)」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「避難勧告等種別」(避難指示 避難勧告 避難準備情報 自主避難 解除)に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「勧告・指示区分(コード:1:避難準備、2:避難勧告、3:避難指示)(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。
12	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難勧告_指示情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	避難勧告_指示情報							1	N		住民へ甚大な被害が及ぶと想定される場合に、市町村が住民に対して避難所や避難場所へ避難するよう勧告または指示を行った情報
2		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4		都道府県		N	12			1	1		避難勧告・指示を発令した市町村もしくは消防本部が属する都道府県の名称。減災情報共有スキーマでは「発令機関」に相当
5		市町村_消防本部名		N	12			1	1		避難勧告・指示を発令した市町村もしくは消防本部の名称。減災情報共有スキーマでは「発令機関」に相当
6		避難勧告_指示識別情報		X	20			1	1		避難勧告指示情報の整理番号(ID)。CAPでは「identifier」に相当。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋E＋管理番号(5桁～)で管理する
7		発令システム識別子		X	100			0	1		発令したシステムの識別子。一意性を保証するためにインターネットのドメイン名で修飾された名票を使用。CAPでは「Sender」に相当
8		送信日時		日付時間情報				0	1		避難勧告・指示情報をシステムで送信した日時。CAPでは「sent」に相当
9		発令日時		日付時間情報				1	1		避難勧告・指示を発令した日時。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令日時」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
10		解除日時		日付時間情報				0	1		避難勧告・指示を解除した日時。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「解除日時_開始」と「解除日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
11		メッセージ状態		X	1	○	メッセージの状態	0	1		避難勧告・指示情報(メッセージ)に関する情報。この情報が実際の避難情報なのか、避難演習での情報なのか……等。CAPでは「Status」に相当

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難勧告_指示情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
12		メッセージ種別		X	1	○	メッセージの種類	0	1		メッセージの種別。CAPでは「msgType」に相当
13		配信範囲		X	1	○	配信の範囲	0	1		メッセージ配信先
14		言語		N	20			0	1		配信情報の記述言語
15		災害区分		X	2	○	災害区分	0	1		CAPでは「category」要素で示される災害種別のカテゴリを示す
16		避難原因		N	4000			0	1		災害区別のカテゴリと、この避難の原因となる内容を示す。CAPでは「category/event」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令要因」に相当
17		勧告種別		X	1	○	避難勧告指示種別	1	1		避難勧告・指示の発令内容種別。CAPでは「responseType(urgency,severity,certainty)」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「避難勧告等種別」(避難指示 避難勧告 避難準備情報 自主避難 解除)に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「勧告・指示区分(コード:1:避難準備、2:避難勧告、3:避難指示)(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。
18		発令権限者		職員名情報				0	1		避難勧告・指示情報を発令した権者名。メールアドレス等でなく日本語での表示名。CAPでは「senderName」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報の「発令者」に相当。
19		ヘッドライン		N	100			1	1		ニュースヘッドラインのように短い文字列で避難情報を流す。CAPでは「headline」に相当。
20		避難情報文		N	4000			1	1		避難情報の詳細を示した文章。CAPでは「description」に相当。減災情報共有スキーマでは「指示・連絡内容」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報(03-04)の「対象地区(自由記述)(情報項目識別子:03-04-05-01)」に相当。
21		添付ファイル説明文		N	100			0	1		添付ファイルの説明文(例:避難所の場所)。CAPでは「resourceDesc」に相当。
22	対象地域		N	100			1	1	○	避難勧告・指示の発令対象地域に関する説明文。CAPでは「areaDesc」に相当。減災情報共有スキーマでは避難勧告発令情報(03-04)の「対象領域」、「対象領域名」に相当。TVCML2.0では避難勧告・避難指示情報の「対象地区(情報項目識別子:03-04-05)」に相当。	
23		緊急対処事態						0	1		「地方公共団体における国民保護図上訓練の手引き」で記載されている緊急対処事態に関する情報

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難勧告_指示情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
24			都道府県緊急対処事態対策本部を設置すべき都道府県	N	100			0	1		緊急対処事態対策本部を設置している都道府県名
25			市町村緊急対処事態対策本部を設置すべき市町村	N	100			0	1		緊急対処事態対策本部を設置している市町村名
26			警報内容	N	4000			0	1		緊急対処事態対策本部から発令される警報に関する情報
27			警報の通知伝達の対象となる地域の範囲	N	4000			0	1		警報の通知・伝達の対象となる地域の範囲に関する情報。全国もしくは特定地域(都道府県)名
28			サイレンを使用する地域	N	4000			0	1	○	警報の通知・伝達の際にサイレンを使用する地域に関する情報。全国もしくは攻撃が迫り、又は現に攻撃が発生したと認められる地域名。あるいはサイレンは使用しない・・・等
29			避難措置の指示内容	N	4000			0	1		緊急対処事態発生に伴い指示した避難措置の内容
30			要避難地域	N	4000			0	1	○	要避難地域名
31			避難先地域	N	4000			0	1	○	避難先の地域名
32			住民の避難に関して関係機関が講ずべき措置の概要	N	4000			0	1		住民の避難に関して関係機関が講ずべき措置の概要内容(関係機関は、避難中の不測の事態発生の場合には、必要に応じ、速やかに、国民保護法等の関係法令に基づく緊急通報の発令、退避の指示等の所要の措置を行う必要がある。また、避難は関係機関と調整の上、攻撃の予防・鎮圧措置等も踏まえ、安全な経路・場所を選択する必要がある)
33	備考		N	4000			0	1		備考欄として避難勧告_指示情報に関連するその他情報を記入する	

インタフェース一覧			業務ユニット名：防災情報共有（避難所情報）	
インタフェース番号	入出力		メッセージ定義	WSDL定義
AB0107-1	入力	避難所情報	避難所情報登録メッセージ	xml AB01s07-0100.xsd xml AB01s07-0100.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	避難所情報登録結果メッセージ	
AB0107-2	入力	災害識別情報 災害名 都道府県 市町村_消防本部名 避難所識別情報 避難所名 報告日時_開始 報告日時_終了 開設日時_開始 開設日時_終了 閉鎖日時_開始 閉鎖日時_終了 災害終結フラグ	避難所情報参照メッセージ	xml AB01s07-0100.xsd xml AB01s07-0100.wsdl
	出力	避難所情報	避難所情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難所情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	避難所情報							1	N		避難所の運営に関する情報
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		都道府県		N	12			1	1		避難所を運営する市町村が属する都道府県の名称
6		市町村_消防本部名		N	12			1	1		避難所を運営する市町村の名称
7		避難所識別情報		X	20			1	1		避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋I+管理番号(5桁)で管理する。減災情報共有スキーマでは「避難所ID」に相当。
8		避難所名		N	30			1	1		避難所の名称。減災情報共有スキーマでは「避難所施設名称」に相当。TVCML2.0では「避難所名称(情報項目識別子:03-04-01)」に相当
9		電話番号		電話番号情報				0	1		避難所の電話番号
10		FAX番号		電話番号情報				0	1		避難所のFAX番号
11		管理者		職員名情報				0	1		避難所の管理者名
12		収容人数		9	7			0	1		避難所の収容者人数。減災情報共有スキーマでは「収容可能数」に相当
13		報告日時		日付時間情報				1	1		避難所からの報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
14		建物被害状況		N	4000			0	1		避難所建物の被害状況。
15		電力被害状況		N	4000			0	1		避難所建物の電力使用状況。減災情報共有スキーマでは「設備状況(停電)」に相当。

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難所情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
16		通信手段被害状況		N	4000			0	1		避難所建物の通信手段使用状況。減災情報共有スキーマでは「設備状況(電話不通)」に相当。
17		その他の被害		N	4000			0	1		避難所建物のその他被害状況
18		使用可否		X	1	○	可否	0	1		避難所の使用可否(避難所の損壊状況次第では使用できないことも想定)
19		開設の可否		X	1	○	可否	1	1		避難所の開設の可・不可。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖区分(コード)(情報項目識別子:03-04-05)、開設・閉鎖区分(文字)(情報項目識別子(03-04-06)」に相当。
20		開設日時		日付時間情報				1	1		避難所を開設した日時。減災情報共有スキーマでは「開設予定日時」に相当。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「開設日時_開始」と「開設日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
21		閉鎖日時		日付時間情報				1	1		避難所を閉鎖した日時。減災情報共有スキーマでは「閉鎖予定日時」に相当。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「閉鎖日時_開始」と「閉鎖日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
22		避難者数		9	7			0	1		避難所への避難者数。減災情報共有スキーマでは「避難者総数」に相当。
23		避難世帯数		9	7			0	1		避難所への避難世帯数
24		負傷者数		9	7			0	1		負傷している住民数
25		要援護者数						0	1		避難所へ避難した要援護者住民の数に関する情報
26			要介護度3以上	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、要介護度3以上の住民数
27			一人暮らし高齢者_65歳以上	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、一人暮らし高齢者の住民数
28			高齢者世帯_夫婦共に65歳以上	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、高齢者世帯(夫婦共に65歳以上)の住民数

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難所情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
29			寝たきり高齢者	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、寝たきり高齢者の住民数
30			認知症高齢者	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、認知症高齢者の住民数
31			療育手帳A_A1_A2所持者	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、療育手帳A、A1、A2所持の住民数
32			身体障がい者手帳1_2級所持者	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、身体障がい者手帳1、2級所持の住民数
33		備考		N	4000			0	1		備考欄として避難所情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難所情報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難所情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	都道府県			N	12			0	1		避難所を運営する市町村が属する都道府県の名称
5	市町村_消防本部名			N	12			0	1		避難所を運営する市町村の名称
6	避難所識別情報			X	20			0	1		避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋I+管理番号(5桁)で管理する。減災情報共有スキーマでは「避難所ID」に相当
7	避難所名			N	30			0	1		避難所の名称。減災情報共有スキーマでは「避難所施設名称」に相当。TVCML2.0では「避難所名称(情報項目識別子:03-04-01)」に相当
8	報告日時_開始			日付時間情報				0	1		避難所からの報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9	報告日時_終了			日付時間情報				0	1		避難所からの報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
10	開設日時_開始			日付時間情報				0	1		避難所を開設した日時。減災情報共有スキーマでは「開設予定日時」に相当。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「開設日時_開始」と「開設日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難所情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
11	開設日時_終了			日付時間情報				0	1		避難所を開設した日時。減災情報共有スキーマでは「開設予定日時」に相当。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「開設日時_開始」と「開設日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
12	閉鎖日時_開始			日付時間情報				0	1		避難所を閉鎖した日時。減災情報共有スキーマでは「閉鎖予定日時」に相当。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「閉鎖日時_開始」と「閉鎖日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
13	閉鎖日時_終了			日付時間情報				0	1		避難所を閉鎖した日時。減災情報共有スキーマでは「閉鎖予定日時」に相当。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「閉鎖日時_開始」と「閉鎖日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
14	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難所情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	避難所情報							1	N		避難所の運営に関する情報
2		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4		都道府県		N	12			1	1		避難所を運営する市町村が属する都道府県の名称
5		市町村_消防本部名		N	12			1	1		避難所を運営する市町村の名称
6		避難所識別情報		X	20			1	1		避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋I＋管理番号(5桁)で管理する。減災情報共有スキーマでは「避難所ID」に相当。
7		避難所名		N	30			1	1		避難所の名称。減災情報共有スキーマでは「避難所施設名称」に相当。TVCML2.0では「避難所名称(情報項目識別子:03-04-01)」に相当
8		電話番号		電話番号情報				0	1		避難所の電話番号
9		FAX番号		電話番号情報				0	1		避難所のFAX番号
10		管理者		職員名情報				0	1		避難所の管理者名
11		収容人数		9	7			0	1		避難所の収容者人数。減災情報共有スキーマでは「収容可能数」に相当
12		報告日時		日付時間情報				1	1		避難所からの報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとはデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
13		建物被害状況		N	4000			0	1		避難所建物の被害状況。
14		電力被害状況		N	4000			0	1		避難所建物の電力使用状況。減災情報共有スキーマでは「設備状況(停電)」に相当。
15		通信手段被害状況		N	4000			0	1		避難所建物の通信手段使用状況。減災情報共有スキーマでは「設備状況(電話不通)」に相当。

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難所情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
16		その他の被害		N	4000			0	1		避難所建物のその他被害状況
17		使用可否		X	1	○	可否	0	1		避難所の使用可否(避難所の損壊状況次第では使用できないことも想定)
18		開設の可否		X	1	○	可否	1	1		避難所の開設の可・不可。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖区分(コード)(情報項目識別子:03-04-05)、開設・閉鎖区分(文字)(情報項目識別子(03-04-06))」に相当。
19		開設日時		日付時間情報				1	1		避難所を開設した日時。減災情報共有スキーマでは「開設予定日時」に相当。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「開設日時_開始」と「開設日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
20		閉鎖日時		日付時間情報				1	1		避難所を閉鎖した日時。減災情報共有スキーマでは「閉鎖予定日時」に相当。TVCML2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「閉鎖日時_開始」と「閉鎖日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
21		避難者数		9	7			0	1		避難所への避難者数。減災情報共有スキーマでは「避難者総数」に相当。
22		避難世帯数		9	7			0	1		避難所への避難世帯数
23		負傷者数		9	7			0	1		負傷している住民数
24		要援護者数						0	1		避難所へ避難した要援護者住民の数に関する情報
25			要介護度3以上	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、要介護度3以上の住民数
26			一人暮らし高齢者_65歳以上	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、一人暮らし高齢者の住民数
27			高齢者世帯_夫婦共に65歳以上	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、高齢者世帯(夫婦共に65歳以上)の住民数
28			寝たきり高齢者	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、寝たきり高齢者の住民数

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難所情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
29			認知症高齢者	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、認知症高齢者の住民数
30			療育手帳A_A1_A2所持者	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、療育手帳A、A1、A2所持の住民数
31			身体障がい者手帳1_2級所持者	9	7			0	1		避難所へ避難した住民のうち、身体障がい者手帳1、2級所持の住民数
32		備考		N	4000			0	1		備考欄として避難所情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧			業務ユニット名：防災情報共有（避難者情報）	
インタフェース 番号	入出力		メッセージ定義	W S D L 定義
AB0108-1	入力	避難者情報	避難者情報登録メッセージ	xml AB01s08-0100.xsd xml AB01s08-0100.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	避難者情報登録結果メッセージ	
AB0108-2	入力	災害識別情報 災害名 氏名 性別 生年月日 住所 災害終結フラグ	避難者情報参照メッセージ	xml AB01s08-0100.xsd xml AB01s08-0100.wsdl
	出力	避難者情報	避難者情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難者情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	避難者情報							1	N		避難所へ避難している住民に関する情報
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		氏名		氏名情報				1	1	○	避難者の氏名
6		性別		X	1	○	性別	1	1		避難者の性別(男性、女性)
7		年齢		9	3			0	1		避難者の年齢
8		生年月日		生年月日情報				1	1		避難者の生年月日
9		住所		住所情報				1	1	○	避難者の住所
10		市外区分		X	1	○	市外区分	0	1		避難者が市内に居住(住民票)を設置しているか、市外に居住しているかを区分する
11		避難先避難所名		N	30			0	1		避難者が避難した避難所名
12		避難状況		X	1	○	避難区分	0	1		市民が避難所へ「避難済」「未避難」「避難所を既に退去済」
13		避難理由		N	4000			0	1		避難した理由(自主避難、避難勧告に基づき避難、避難指示に基づき避難等)
14		入所年月日		日時時間情報				0	1		避難所へ避難してきた日時
15		退所年月日		日時時間情報				0	1		避難所を退去した日時
16		退所先		N	100			0	1		避難所を退去した後、どこへ行ったか(自宅へ帰宅等)
17	退所先電話番号		電話番号情報				0	1		退去先の電話番号	

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難者情報登録メッセージ								
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
						CD	コード名	最小	最大			
18		負傷		X	1	○	負傷	0	1		怪我の有無	
19		負傷内容		N	4000			0	1		怪我の内容	
20		アレルギー		X	1	○	アレルギー	0	1		アレルギーの有無	
21		アレルギー物質		N	4000			0	1		アレルギー物資名	
22		妊婦		X	1	○	妊婦区分	0	1		「妊娠中」「該当しない」かを選択する	
23		乳幼児		X	1	○	乳幼児区分	0	1		「1歳に満たない子供」「該当しない」を選択する	
24		要援護者区分							0	1		要援護者区分「要介護度3以上」「一人暮らし高齢者_65歳以上」「高齢者夫妻_夫婦共に65歳以上」「寝たきり認知証高齢者」「療育手帳A、A1、A2所持者」「身体障がい者手帳1、2級所持者」
25			要介護度3以上		X	2	○	要介護度	0	1		避難所へ避難した住民のうち、要介護度3以上に該当するか否か
26			一人暮らし高齢者_65歳以上		X	1	○	一人暮らし高齢者_65歳以上	0	1		避難所へ避難した住民のうち、一人暮らし高齢者に該当するか否か
27			高齢者世帯_夫婦共に65歳以上		X	1	○	高齢者世帯_夫婦共に65歳以上	0	1		避難所へ避難した住民のうち、高齢者世帯(夫婦共に65歳以上)に該当するか否か
28			寝たきり高齢者		X	1	○	寝たきり高齢者	0	1		避難所へ避難した住民のうち、寝たきり高齢者に該当するか否か
29			認知症高齢者		X	1	○	認知症高齢者	0	1		避難所へ避難した住民のうち、認知症高齢者に該当するか否か
30			療育手帳A_A1_A2所持者		X	2	○	療育手帳等級	0	1		避難所へ避難した住民のうち、療育手帳A、A1、A2所持に該当するか否か
31			身体障がい者手帳1_2級所持者		X	1	○	身体障がい者手帳1,2級所持者	0	1		避難所へ避難した住民のうち、身体障がい者手帳1、2級所持に該当するか否か
32		備考		N	4000				0	1		備考欄として避難者情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難者情報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難者情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	氏名			氏名情報				0	1	○	避難者の氏名
5	性別			X	1	○	性別	0	1		避難者の性別（男性、女性）
6	生年月日			生年月日情報				0	1		避難者の生年月日
7	住所			住所情報				0	1	○	避難者の住所
8	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難者情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	避難者情報							1	N		避難所へ避難している住民に関する情報
2		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4		氏名		氏名情報				1	1	○	避難者の氏名
5		性別		X	1	○	性別	1	1		避難者の性別(男性、女性)
6		年齢		9	3			0	1		避難者の年齢
7		生年月日		生年月日情報				1	1		避難者の生年月日
8		住所		住所情報				1	1	○	避難者の住所
9		市外区分		X	1	○	市外区分	0	1		避難者が市内に居住(住民票)を設置しているか、市外に居住しているかを区分する
10		避難先避難所名		N	30			0	1		避難者が避難した避難所名
11		避難状況		X	1	○	避難区分	0	1		市民が避難所へ「避難済」「未避難」「避難所を既に退去済」
12		避難理由		N	4000			0	1		避難した理由(自主避難、避難勧告に基づき避難、避難指示に基づき避難等)
13		入所年月日		日時時間情報				0	1		避難所へ避難してきた日時
14		退所年月日		日時時間情報				0	1		避難所を退去した日時
15		退所先		N	100			0	1		避難所を退去した後、どこへ行ったか(自宅へ帰宅等)
16		退所先電話番号		電話番号情報				0	1		退去先の電話番号
17		負傷		X	1	○	負傷	0	1		怪我の有無

メッセージ定義				メッセージ定義名：避難者情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
18		負傷内容		N	4000			0	1		怪我の内容
19		アレルギー		X	1	○	アレルギー	0	1		アレルギーの有無
20		アレルギー物質		N	4000			0	1		アレルギー物質名
21		妊婦		X	1	○	妊婦区分	0	1		「妊娠中」「該当しない」かを選択する
22		乳幼児		X	1	○	乳幼児区分	0	1		「1歳に満たない子供」「該当しない」を選択する
23		要援護者区分						0	1		要援護者区分「要介護度3以上」「一人暮らし高齢者_65歳以上」「高齢者夫妻_夫婦共に65歳以上」「寝たきり認知証高齢者」「療育手帳A、A1、A2所持者」「身体障がい者手帳1、2級所持者」
24			要介護度3以上	X	2	○	要介護度	0	1		避難所へ避難した住民のうち、要介護度3以上に該当するか否か
25			一人暮らし高齢者_65歳以上	X	1	○	一人暮らし高齢者_65歳以上	0	1		避難所へ避難した住民のうち、一人暮らし高齢者に該当するか否か
26			高齢者世帯_夫婦共に65歳以上	X	1	○	高齢者世帯_夫婦共に65歳以上	0	1		避難所へ避難した住民のうち、高齢者世帯(夫婦共に65歳以上)に該当するか否か
27			寝たきり高齢者	X	1	○	寝たきり高齢者	0	1		避難所へ避難した住民のうち、寝たきり高齢者に該当するか否か
28			認知症高齢者	X	1	○	認知症高齢者	0	1		避難所へ避難した住民のうち、認知症高齢者に該当するか否か
29			療育手帳A_A1_A2所持者	X	2	○	療育手帳等級	0	1		避難所へ避難した住民のうち、療育手帳A、A1、A2所持に該当するか否か
30			身体障がい者手帳1_2級所持者	X	1	○	身体障がい者手帳1_2級所持者	0	1		避難所へ避難した住民のうち、身体障がい者手帳1、2級所持に該当するか否か
31			備考		N	4000			0	1	

インタフェース一覧			業務ユニット名：防災情報共有（災害対応活動情報）	
インタフェース 番号	入出力		メッセージ定義	W S D L 定義
AB0109-1	入力	災害対応活動情報	災害対応活動情報登録メッセージ	xml AB01s09-0100.xsd xml AB01s09-0100.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	災害対応活動情報登録結果メッセージ	
AB0109-2	入力	災害識別情報 災害名 都道府県 市町村_消防本部名 報告日時_開始 報告日時_終了 活動情報 災害終結フラグ	災害対応活動情報参照メッセージ	xml AB01s09-0100.xsd xml AB01s09-0100.wsdl
	出力	災害対応活動情報	災害対応活動情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害対応活動情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害対応活動情報							1	N		災害対応に関する情報。例えば、発生した被害に対する対応/処置状況に関する情報等
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		都道府県		N	12			1	1		災害対応活動を行い、情報を登録した市町村が属する都道府県の名称
6		市町村_消防本部名		N	12			1	1		災害対応活動を行い、情報を登録した市町村又は消防本部の名称
7		報告日時		日付時間情報				1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないときデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名
9		組織名		所属情報				0	1		報告元自治体内組織名称
10		活動情報						1	1		災害対応活動に関する情報
11			活動識別情報	X	20			1	1		活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋A+管理番号(5桁～)で管理する
12			タイトル	N	50			1	1		活動内容が分かるタイトル
13			活動開始日時	日付時間情報				1	1		災害対応活動を開始した日時
14			活動終了日時	日付時間情報				1	1		災害対応活動を終了した日時
15			活動場所	N	100			1	1	○	災害対応活動の活動場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害対応活動情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
16			活動内容	N	4000			1	1		災害対応活動の内容
17		備考		N	4000			0	1		備考欄として災害対応活動情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害対応活動情報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害対応活動情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	都道府県			N	12			0	1		災害対応活動を行い、情報を登録した市町村が属する都道府県の名称
5	市町村_消防本部名			N	12			0	1		災害対応活動を行い、情報を登録した市町村又は消防本部の名称
6	報告日時_開始			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	報告日時_終了			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	活動情報							0	1		災害対応活動に関する情報
9		活動識別情報		X	20			0	1		活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋A+管理番号(5桁～)で管理する
10		タイトル		N	50			0	1		活動内容が分かるタイトル
11	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：災害対応活動情報参照結果メッセージ								
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
						CD	コード名	最小	最大			
1	災害対応活動情報							1	N		災害対応に関する情報。例えば、発生した被害に対する対応/処置状況に関する情報等	
2		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する	
3		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
4		都道府県		N	12			1	1		災害対応活動を行い、情報を登録した市町村が属する都道府県の名称	
5		市町村_消防本部名		N	12			1	1		災害対応活動を行い、情報を登録した市町村又は消防本部の名称	
6		報告日時		日付時間情報				1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとなデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	
7		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名	
8		組織名		所属情報				0	1		報告元自治体内組織名称	
9		活動情報						1	1		災害対応活動に関する情報	
10			活動識別情報		X	20			1	1		活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋A+管理番号(5桁～)で管理する
11			タイトル		N	50			1	1		活動内容が分かるタイトル
12			活動開始日時		日付時間情報				1	1		災害対応活動を開始した日時
13			活動終了日時		日付時間情報				1	1		災害対応活動を終了した日時
14			活動場所		N	100			1	1	○	災害対応活動の活動場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
15			活動内容		N	4000			1	1		災害対応活動の内容
16		備考		N	4000			0	1		備考欄として災害対応活動情報に関連するその他情報を記入する	

インタフェース一覧			業務ユニット名：防災情報共有（配備体制情報）	
インタフェース 番号	入出力		メッセージ定義	W S D L 定義
AB0110-1	入力	配備体制情報	配備体制情報登録メッセージ	xml AB01s10-0100.xsd xml AB01s10-0100.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	配備体制情報登録結果メッセージ	
AB0110-2	入力	災害識別情報 災害名 都道府県 市町村_消防本部名 発令日時_開始 発令日時_終了 災害終結フラグ	配備体制情報参照メッセージ	xml AB01s10-0100.xsd xml AB01s10-0100.wsdl
	出力	配備体制情報	配備体制情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名： 配備体制情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	配備体制情報							1	N		地域防災計画に基づき、災害が発生し、または災害が発生する恐れがある場合において、防災活動を推進するために必要がある時に、各団体ににて定められている基準に基づき配備体制を敷く際の配備体制名に関する女王
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		都道府県		N	12			1	1		配備体制を発令した市町村が属する都道府県の名称
6		市町村_消防本部名		N	12			1	1		配備体制を発令した市町村の名称
7		登録日時		日付時間情報				1	1		配備体制情報を登録した日時
8		発令日時		日付時間情報				1	1		配備体制を発令した日時。減災情報共有スキーマでは警戒態勢発令情報の「発令日時」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9		解除日時		日付時間情報				0	1		配備体制を解除した日時
10		配備体制名		N	30			1	1		配備体制名称。減災情報共有スキーマでは警戒態勢発令情報の「警戒態勢等種別(通常体制 警戒準備 警戒 警戒本部設置 災害対策本部)」に相当。
11		備考		N	4000			0	1		備考欄として配備体制情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義				メッセージ定義名：配備体制情報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名： 配備体制情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	都道府県			N	12			0	1		配備体制を発令した市町村が属する都道府県の名称
5	市町村_消防本部名			N	12			0	1		配備体制を発令した市町村の名称
6	発令日時_開始			日付時間情報				0	1		配備体制を発令した日時。減災情報共有スキーマでは警戒態勢発令情報の「発令日時」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないときデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	発令日時_終了			日付時間情報				0	1		配備体制を発令した日時。減災情報共有スキーマでは警戒態勢発令情報の「発令日時」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないときデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：配備体制情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	配備体制情報							1	N		地域防災計画に基づき、災害が発生し、または災害が発生する恐れがある場合において、防災活動を推進するために必要がある時に、各団体に定められている基準に基づき配備体制を敷く際の配備体制名に関する女王
2		災害識別情報	X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する	
3		災害名	N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
4		都道府県	N	12			1	1		配備体制を発令した市町村が属する都道府県の名称	
5		市町村_消防本部名	N	12			1	1		配備体制を発令した市町村の名称	
6		登録日時	日付時間情報				1	1		配備体制情報を登録した日時	
7		発令日時	日付時間情報				1	1		配備体制を発令した日時。減災情報共有スキーマでは警戒態勢発令情報の「発令日時」に相当。 メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないでデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	
8		解除日時	日付時間情報				0	1		配備体制を解除した日時	
9		配備体制名	N	30			1	1		配備体制名称。減災情報共有スキーマでは警戒態勢発令情報の「警戒態勢等種別(通常体制 警戒準備 警戒 警戒本部設置 災害対策本部)」に相当。	
10		備考	N	4000			0	1		備考欄として配備体制情報に関連するその他情報を記入する	

インタフェース一覧		業務ユニット名：防災情報共有（通行規制情報）		
インタフェース番号	入出力		メッセージ定義	WSDL定義
AB0111-1	入力	通行規制情報	通行規制情報登録メッセージ	lgxmlAB01s11-0100.xsd lgxmlAB01s11-0100.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	通行規制情報登録結果メッセージ	
AB0111-2	入力	規制ID 管理者 管理団体名 道路種別 路線名 登録日時_開始 登録日時_終了 通行規制災害種別	通行規制情報参照メッセージ	lgxmlAB01s11-0100.xsd lgxmlAB01s11-0100.wsdl
	出力	通行規制情報	通行規制情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：通行規制情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	通行規制情報							1	N		各種道路の規制状況に関する情報
3		規制ID		X	20			1	1		規制情報を一意に識別するID。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋C＋管理番号(5桁～)で管理する。減災情報共有スキーマでは「道路規制ID」に相当。
4		管理者		X	2	○	管理者種別	1	1		道路の管理者(国、都道府県、市町村)
5		管理団体名		N	30			1	1		道路を管理している団体名
6		道路種別		X	2	○	道路種別	1	1		道路種別
7		路線名		N	40			1	1		路線名称(ex 国道1号線)。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。
8		登録日時		日付時間情報				1	1		登録を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとならないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9		通行規制災害種別		X	1	○	通行規制の原因となった災害の種別	1	1		通行規制情報の災害種別
10		緊急輸送路の指定		X	1	○	緊急輸送路指定	1	1		緊急輸送路指定の有無
11		規制開始位置		N	100			1	1		通行規制の開始場所
12		規制終了位置		N	100			1	1		通行規制の終了場所
13		規制発生日時		日付時間情報				1	1		通行規制が発生した日時。減災情報共有スキーマでは「規制開始時刻」に相当。
14		規制解除日時		日付時間情報				1	1		通行規制を解除した日時。減災情報共有スキーマでは「規制終了時刻」に相当。
15		時間帯規制種別						0	1		規制時間帯に関する情報

メッセージ定義				メッセージ定義名：通行規制情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
16			規制種別	X	1	○	時間帯規制種別	0	1		終日規制
17			時間帯規制開始時刻	日付時間情報				0	1		時間帯規制の場合の開始時刻
18			時間帯規制終了時刻	日付時間情報				0	1		時間帯規制の場合の終了時刻
19		規制原因内容		N	4000			0	1		通行規制の原因や内容(全面規制、交互規制、片側規制等)。減災情報共有スキーマでは「規制区分」と「規制理由」に相当。
20		迂回路有無		X	1	○	迂回路	1	1		迂回路が有るのか、迂回路が無いのか
21		迂回方法		N	4000			0	1		具体的な迂回方法
22		復旧見込み日時		日付時間情報				1	1		復旧の見込みの日時
23		備考		N	4000			0	1		備考欄として通行規制情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義				メッセージ定義名：通行規制情報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：通行規制情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	規制ID			X	20			0	1		規制情報を一意に識別するID。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+C+管理番号(5桁～)で管理する。減災情報共有スキーマでは「道路規制ID」に相当。
3	管理者			X	2	○	管理者種別	0	1		道路の管理者(国、都道府県、市町村)
4	管理団体名			N	30			0	1		道路を管理している団体名
5	道路種別			X	2	○	道路種別	0	1		道路種別
	路線名			N	40			0	1		路線名称(ex 国道1号線)。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。
6	登録日時_開始			日付時間情報				0	1		登録を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	登録日時_終了			日付時間情報				0	1		登録を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	通行規制識別情報			X	1	○	通行規制の原因となった災害の種別	0	1		通行規制情報の災害種別

メッセージ定義				メッセージ定義名：通行規制情報参照結果メッセージ								
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
						CD	コード名	最小	最大			
1	通行規制情報							1	N		各種道路の規制状況に関する情報	
2		規制ID		X	20			1	1		規制情報を一意に識別するID。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋C+管理番号(5桁～)で管理する。減災情報共有スキーマでは「道路規制ID」に相当。	
3		管理者		X	2	○	管理者種別	1	1		道路の管理者(国、都道府県、市町村)	
4		管理団体名		N	30			1	1		道路を管理している団体名	
5		道路種別		X	2	○	道路種別	1	1		道路種別	
6		路線名		N	40			1	1		路線名称(ex 国道1号線)。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。	
7		登録日時		日付時間情報				1	1		登録を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないときデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	
8		通行規制災害種別		X	1	○	通行規制の原因となった災害の種別	1	1		通行規制情報の災害種別	
9		緊急輸送路の指定		X	1	○	緊急輸送路指定	1	1		緊急輸送路指定の有無	
10		規制開始位置		N	100			1	1		通行規制の開始場所	
11		規制終了位置		N	100			1	1		通行規制の終了場所	
12		規制発生日時		日付時間情報				1	1		通行規制が発生した日時。減災情報共有スキーマでは「規制開始時刻」に相当。	
13		規制解除日時		日付時間情報				1	1		通行規制を解除した日時。減災情報共有スキーマでは「規制終了時刻」に相当。	
14		時間帯規制種別						0	1		規制時間帯に関する情報	
15			規制種別		X	1	○	時間帯規制種別	0	1		終日規制
16			時間帯規制開始時刻		日付時間情報				0	1		時間帯規制の場合の開始時刻

メッセージ定義				メッセージ定義名：通行規制情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
17			時間帯規制終了時刻	日付時間情報				0	1		時間帯規制の場合の終了時刻
18		規制原因内容		N	4000			0	1		通行規制の原因や内容(全面規制、交互規制、片側規制等)。減災情報共有スキーマでは「規制区分」と「規制理由」に相当。
19		迂回路有無		X	1	○	迂回路	1	1		迂回路が有るのか、迂回路が無いのか
20		迂回方法		N	4000			0	1		具体的な迂回方法
21		復旧見込み日時		日付時間情報				1	1		復旧の見込みの日時
22		備考		N	4000			0	1		備考欄として通行規制情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧			業務ユニット名：防災情報共有（水防活動情報）	
インタフェース番号	入出力		メッセージ定義	WSDL定義
AB0112-1	入力	水防活動情報	水防活動情報登録メッセージ	lgxmlAB01s12-0100.xsd lgxmlAB01s12-0100.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	水防活動情報登録結果メッセージ	
AB0112-2	入力	災害識別情報 災害名 水防活動識別情報 管理団体名 報告年月日_開始 報告年月日_終了 河川名 災害終結フラグ	水防活動情報参照メッセージ	lgxmlAB01s12-0100.xsd lgxmlAB01s12-0100.wsdl
	出力	水防活動情報	水防活動情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：水防活動情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	水防活動情報							1	N		洪水や高潮等の恐れがある時にその現場へ出動し、氾濫等による被害拡大を防止するために対応/処置する水防活動に関する情報
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		水防活動識別情報		X	20			1	1		水防活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋S+管理番号(5桁～)で管理する
6		管理団体名		N	30			1	1		当該施設(河川等)を管理している都道府県の名称、もしくは当該施設(河川等)を管理している市町村が属する都道府県の名称
7		報告年月日		日付情報				1	1		報告を行った年月日。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わない とデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告年月日_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名
9		河川名		N	12			1	1		水防活動を実施する河川の名称
10		場所		N	100			1	1	○	出水の概況説明。記入例としては○○川(左、右)○○地先○○m。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
11		日時						1	1		活動を実施した日時
12			自	日付時間情報				1	1		開始日時
13			至	日付時間情報				1	1		終了日時
14		出動人員数						0	1		出動人員数
15			水防団員	9	7			0	1		出動している水防団員の数(人)

メッセージ定義				メッセージ定義名：水防活動情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
16			消防団員	9	7			0	1		出動している消防団員の数(人)
17			その他	9	7			0	1		出動しているその他の人員の数(人)
18			出動人員数_計	9	8			0	1		出動人員の合計(人)
19		水防作業の概況及び工法						1	1		水防作業の概況及び工法について
20			工法	N	4000			1	1		実施工法名
21			箇所	N	4000			1	1		作業箇所
22			m	9V				1	1		範囲(m)。データ型は“float”となっており、“float”の場合、桁数制約のmaxLengthやtotalDigitsが指定できないため、桁数の定義が出来ないため、出現回数については制約を設けていません
23		備考		N	4000			0	1		備考欄として水防活動情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義				メッセージ定義名：水防活動情報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：水防活動情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	水防活動識別情報			X	20			0	1		水防活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋S+管理番号(5桁～)で管理する
5	管理団体名			N	30			0	1		当該施設(河川等)を管理している都道府県の名称、もしくは当該施設(河川等)を管理している市町村が属する都道府県の名称
6	報告年月日_開始			日付情報				0	1		報告を行った年月日。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わない とデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告年月日_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	報告年月日_終了			日付情報				0	1		報告を行った年月日。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わない とデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告年月日_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	河川名			N	12			0	1		水防活動を実施する河川の名称
9	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：水防活動情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	水防活動情報							1	N		洪水や高潮等の恐れがある時にその現場へ出動し、氾濫等による被害拡大を防止するために対応/処置する水防活動に関する情報
2		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4		水防活動識別情報		X	20			1	1		水防活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋S+管理番号(5桁～)で管理する
5		管理団体名		N	30			1	1		当該施設(河川等)を管理している都道府県の名称、もしくは当該施設(河川等)を管理している市町村が属する都道府県の名称
6		報告年月日		日付情報				1	1		報告を行った年月日。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータとの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告年月日_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名
8		河川名		N	12			1	1		水防活動を実施する河川の名称
9		場所		N	100			1	1	○	出水の概況説明。記入例としては○○川(左、右)○○地先○○m。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
10		日時						1	1		活動を実施した日時
11			自	日付時間情報				1	1		開始日時
12			至	日付時間情報				1	1		終了日時
13		出動人員数						0	1		出動人員数
14			水防団員	9	7			0	1		出動している水防団員の数(人)
15			消防団員	9	7			0	1		出動している消防団員の数(人)

メッセージ定義				メッセージ定義名：水防活動情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
16			その他	9	7			0	1		出勤しているその他の人員の数(人)
17			出勤人員数_計	9	8			0	1		出勤人員の合計(人)
18		水防作業の概況及び工法						1	1		水防作業の概況及び工法について
19			工法	N	4000			1	1		実施工法名
20			箇所	N	4000			1	1		作業箇所
21			m	9V				1	1		範囲(m)。データ型は“float”となっており、“float”の場合、桁数制約のmaxLengthやtotalDigitsが指定できないため、桁数の定義が出来ないため、出現回数については制約を設けていません
22		備考		N	4000			0	1		備考欄として水防活動情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧			業務ユニット名：防災情報共有（自治体基礎情報）	
インタフェース 番号	入出力		メッセージ定義	W S D L 定義
AB0113-1	入力	自治体基礎情報	自治体基礎情報登録メッセージ	xml AB01s13-0100.xsd xml AB01s13-0100.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	自治体基礎情報登録結果メッセージ	
AB0113-2	入力	都道府県 市町村_消防本部名	自治体基礎情報参照メッセージ	xml AB01s13-0100.xsd xml AB01s13-0100.wsdl
	出力	自治体基礎情報	自治体基礎情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：自治体基礎情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	自治体基礎情報							1	N		災害対応時に使用する可能性が高い公共施設（自治体管理対象）の情報
3		都道府県		N	12			1	1		該当する基礎情報を管理している都道府県の名称、もしくは該当する基礎情報を管理している市町村が属する都道府県の名称
4		市町村_消防本部名		N	12			1	1		該当する基礎情報を管理している市町村の名称
5		公共施設情報						0	N		自治体が有する公共施設に関する情報
6			公共施設名	N	30			0	1		公共施設名称
7			公共施設_住所	住所情報				0	1	○	公共施設の住所
8		重要施設情報						0	N		自治体の管内にある重要施設に関する情報
9			重要施設名	N	30			0	1		重要施設の名称
10			重要施設種別	X	2	○	重要施設	0	1		災害時の重要施設の施設種別
11			重要施設_住所	住所情報				0	1		重要施設の住所
12		医療施設情報						0	N		自治体の管内にある医療施設に関する情報
13			医療施設名	N	30			0	1	○	医療施設の名称
14			医療施設_住所	住所情報				0	1	○	病院の住所
15			医療施設_連絡先	電話番号情報				0	1		病院の連絡先
16		備考		N	4000				0	1	

メッセージ定義				メッセージ定義名：自治体基礎情報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：自治体基礎情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	都道府県			N	12			0	1		該当する基礎情報を管理している都道府県の名称、もしくは該当する基礎情報を管理している市町村が属する都道府県の名称
3	市町村_消防本部名			N	12			0	1		該当する基礎情報を管理している市町村の名称

メッセージ定義				メッセージ定義名：自治体基礎情報参照結果メッセージ								
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
						CD	コード名	最小	最大			
1	自治体基礎情報							1	N		災害対応時に使用する可能性が高い公共施設（自治体管理対象）の情報	
2		都道府県	N	12				1	1		該当する基礎情報を管理している都道府県の名称、もしくは該当する基礎情報を管理している市町村が属する都道府県の名称	
3		市町村_消防本部名	N	12				1	1		該当する基礎情報を管理している市町村の名称	
4		公共施設情報						0	N		自治体が有する公共施設に関する情報	
5			公共施設名	N	30				0	1		公共施設名称
6			公共施設_住所	住所情報					0	1	○	公共施設の住所
7		重要施設情報						0	N		自治体の管内にある重要施設に関する情報	
8			重要施設名	N	30				0	1		重要施設の名称
9			重要施設種別	X	2	○	重要施設	0	1		災害時の重要施設の施設種別	
10			重要施設_住所	住所情報					0	1		重要施設の住所
11		医療施設情報						0	N		自治体の管内にある医療施設に関する情報	
12			医療施設名	N	30				0	1	○	医療施設の名称
13			医療施設_住所	住所情報					0	1	○	病院の住所
14			医療施設_連絡先	電話番号情報					0	1		病院の連絡先
15		備考		N	4000				0	1		備考欄として自治体基礎情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧			業務ユニット名：防災情報共有（物資_資機材備蓄情報）	
インタフェース 番号	入出力		メッセージ定義	W S D L 定義
AB0114-1	入力	物資_資機材備蓄情報	物資_資機材備蓄情報登録メッセージ	xml AB01s14-0100.xsd xml AB01s14-0100.wsd
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	物資_資機材備蓄情報登録結果メッセージ	
AB0114-2	入力	災害識別情報 災害名 都道府県 市町村_消防本部名 登録日時_開始 登録日時_終了 備蓄施設情報 災害終結フラグ	物資_資機材備蓄情報参照メッセージ	xml AB01s14-0100.xsd xml AB01s14-0100.wsd
	出力	物資_資機材備蓄情報	物資_資機材備蓄情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	物資_資機材備蓄情報							1	N		平常時より管理・備蓄している物資数、資機材数に関する情報
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		都道府県		N	12			1	1		物資・資機材を管理・備蓄している市町村が属する都道府県の名称
6		市町村_消防本部名		N	12			1	1		物資・資機材を管理・備蓄している市町村の名称
7		登録日時		日付時間情報				1	1		情報を登録した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わない とデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8		備蓄施設情報						1	N		資機材や物資を備蓄している(防災)施設名称
9			備蓄施設識別情報	X	20			1	1		避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋M+管理番号(5桁)で管理する。
10			備蓄施設名	N	30			1	1		備蓄している物資の名称
11			保有車両	9	7			0	1		団体が保有している車両数
12			船艇	9	7			0	1		船艇数
13			ヘリコプター	9	7			0	1		ヘリコプター数
14			土嚢袋	9	7			0	1		土嚢袋数
15			ビニールシート	9	7			0	1		ビニールシート数
16			テント	9	7			0	1		テントの数

メッセージ定義				メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
17			更衣室 授乳室	9	7			0	1		更衣室や授乳室の数
18			車椅子	9	7			0	1		車椅子の数
19			なわ	9	7			0	1		なわの数
20			針金	9	7			0	1		針金の数
21			スコップ	9	7			0	1		スコップの数
22			くい	9	7			0	1		くいの数
23			のこぎり	9	7			0	1		のこぎりの数
24			おの	9	7			0	1		おのの数
25			ハンマー	9	7			0	1		ハンマーの数
26			かま	9	7			0	1		かまの数
27			なた	9	7			0	1		なたの数
28			じょれん	9	7			0	1		じょれんの数
29			つるはし	9	7			0	1		つるはしの数
30			杉丸太	9	7			0	1		杉丸太の数
31			釘	9	7			0	1		釘の数
32			かけや	9	7			0	1		かけやの数
33			小車	9	7			0	1		小車の数
34			ペンチ	9	7			0	1		ペンチの数

メッセージ定義				メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
35			金槌	9	7			0	1		金槌の数
36			ウィンチ	9	7			0	1		ウィンチの数
37			かすがい	9	7			0	1		かすがいの数
38			バケツ	9	7			0	1		バケツの数
39			救命ブイ	9	7			0	1		救命ブイの数
40			救命ボート	9	7			0	1		救命ボートの数
41			ロープ	9	7			0	1		ロープの数
42			懐中電灯	9	7			0	1		懐中電灯の数
43			救助用照明具	9	7			0	1		救助用照明具の数
44			発電機	9	7			0	1		発電機の数
45			ガソリン携行缶	9	7			0	1		ガソリン携行缶の数
46			無線機	9	7			0	1		無線機の数
47			ラジオ	9	7			0	1		ラジオの数
48			簡易救助器具	9	7			0	1		簡易救命器具の数
49			拡声器	9	7			0	1		拡声器の数
50			間仕切り	9	7			0	1		間仕切りの数
51			コンクリートパネル	9	7			0	1		コンクリートパネルの数
52			仮設簡易トイレ	9	7			0	1		仮設トイレや簡易トイレの数

メッセージ定義				メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
53			断熱シート	9	7			0	1		断熱シートの数
54			アルファ米	9	7			0	1		アルファ米の数
55			かんぱん	9	7			0	1		かんぱんの数
56			クラッカー	9	7			0	1		クラッカーの数
57			保存飲料水	9	7			0	1		保存飲料水の数
58			毛布	9	7			0	1		毛布の枚数
59			エマージェンシーブランケット	9	7			0	1		エマージェンシーブランケットの数
60			オールウェザーブランケット	9	7			0	1		オールウェザーブランケットの数
61			ミルク	9	7			0	1		ミルクの数
62			哺乳瓶	9	7			0	1		哺乳瓶の数
63			離乳食	9	7			0	1		離乳食の数
64			やかん	9	7			0	1		やかんの数
65			カセットコンロ	9	7			0	1		カセットコンロの数
66			おむつ_大人用	9	7			0	1		大人用のおむつの数
67			おむつ_子供用	9	7			0	1		子供用のおむつの数
68			生理用品	9	7			0	1		生理用品の数
69			医療資機材	9	7			0	1		医療資機材の数
70		備考		N	4000			0	1		備考欄として物資_資機材備蓄情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義				メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	都道府県			N	12			0	1		該当する基礎情報を管理している都道府県の名称、もしくは該当する基礎情報を管理している市町村が属する都道府県の名称
5	市町村_消防本部名			N	12			0	1		該当する基礎情報を管理している市町村の名称
6	登録日時_開始			日付時間情報				0	1		情報を登録した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わない とデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
7	登録日時_終了			日付時間情報				0	1		情報を登録した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わない とデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	備蓄施設情報							0	N		資機材や物資を備蓄している(防災)施設名称
9		備蓄施設識別情報		X	20			0	1		避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋M+管理番号(5桁)で管理する。
10		備蓄施設名		N	30			0	1		備蓄している物資の名称
11	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報参照結果メッセージ								
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明	
						CD	コード名	最小	最大			
1	物資_資機材備蓄情報							1	N		平常時より管理・備蓄している物資数、資機材数に関する情報	
2		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する	
3		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
4		都道府県		N	12			1	1		物資・資機材を管理・備蓄している市町村が属する都道府県の名称	
5		市町村_消防本部名		N	12			1	1		物資・資機材を管理・備蓄している市町村の名称	
6		登録日時		日付時間情報				1	1		情報を登録した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わない とデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする	
7		備蓄施設情報						1	N		資機材や物資を備蓄している(防災)施設名称	
8			備蓄施設識別情報		X	20			1	1		避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋M＋管理番号(5桁)で管理する。
9			備蓄施設名		N	30			1	1		備蓄している物資の名称
10			保有車両		9	7			0	1		団体が保有している車両数
11			船艇		9	7			0	1		船艇数
12			ヘリコプター		9	7			0	1		ヘリコプター数
13			土嚢袋		9	7			0	1		土嚢袋数
14			ビニールシート		9	7			0	1		ビニールシート数
15			テント		9	7			0	1		テントの数
16			更衣室_授乳室		9	7			0	1		更衣室や授乳室の数

メッセージ定義				メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
17			車椅子	9	7			0	1		車椅子の数
18			なわ	9	7			0	1		なわの数
19			針金	9	7			0	1		針金の数
20			スコップ	9	7			0	1		スコップの数
21			くい	9	7			0	1		くいの数
22			のこぎり	9	7			0	1		のこぎりの数
23			おの	9	7			0	1		おのの数
24			ハンマー	9	7			0	1		ハンマーの数
25			かま	9	7			0	1		かまの数
26			なた	9	7			0	1		なたの数
27			じょれん	9	7			0	1		じょれんの数
28			つるはし	9	7			0	1		つるはしの数
29			杉丸太	9	7			0	1		杉丸太の数
30			釘	9	7			0	1		釘の数
31			かけや	9	7			0	1		かけやの数
32			小車	9	7			0	1		小車の数
33			ペンチ	9	7			0	1		ペンチの数
34			金槌	9	7			0	1		金槌の数

メッセージ定義				メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
35			ウィンチ	9	7			0	1		ウィンチの数
36			かすがい	9	7			0	1		かすがいの数
37			バケツ	9	7			0	1		バケツの数
38			救命ブイ	9	7			0	1		救命ブイの数
39			救命ボート	9	7			0	1		救命ボートの数
40			ロープ	9	7			0	1		ロープの数
41			懐中電灯	9	7			0	1		懐中電灯の数
42			救助用照明具	9	7			0	1		救助用照明具の数
43			発電機	9	7			0	1		発電機の数
44			ガソリン携行缶	9	7			0	1		ガソリン携行缶の数
45			無線機	9	7			0	1		無線機の数
46			ラジオ	9	7			0	1		ラジオの数
47			簡易救助器具	9	7			0	1		簡易救命器具の数
48			拡声器	9	7			0	1		拡声器の数
49			間仕切り	9	7			0	1		間仕切りの数
50			コンクリートパネル	9	7			0	1		コンクリートパネルの数
51			仮設簡易トイレ	9	7			0	1		仮設トイレや簡易トイレの数
52			断熱シート	9	7			0	1		断熱シートの数

メッセージ定義				メッセージ定義名：物資_資機材備蓄情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
53			アルファ米	9	7			0	1		アルファ米の数
54			かんぱん	9	7			0	1		かんぱんの数
55			クラッカー	9	7			0	1		クラッカーの数
56			保存飲料水	9	7			0	1		保存飲料水の数
57			毛布	9	7			0	1		毛布の枚数
58			エマージェンシーブランケット	9	7			0	1		エマージェンシーブランケットの数
59			オールウェザーブランケット	9	7			0	1		オールウェザーブランケットの数
60			ミルク	9	7			0	1		ミルクの数
61			哺乳瓶	9	7			0	1		哺乳瓶の数
62			離乳食	9	7			0	1		離乳食の数
63			やかん	9	7			0	1		やかんの数
64			カセットコンロ	9	7			0	1		カセットコンロの数
65			おむつ_大人用	9	7			0	1		大人用のおむつの数
66			おむつ_子供用	9	7			0	1		子供用のおむつの数
67			生理用品	9	7			0	1		生理用品の数
68			医療資機材	9	7			0	1		医療資機材の数
69	備考		N	4000			0	1		備考欄として物資_資機材備蓄情報に関連するその他情報を記入する	

インタフェース一覧			業務ユニット名：防災情報共有（道路被害情報）	
インタフェース 番号	入出力		メッセージ定義	W S D L 定義
AB0115-1	入力	道路被害情報	道路被害情報登録メッセージ	xml AB01s15-0100.xsd xml AB01s15-0100.wsd
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	道路被害情報登録結果メッセージ	
AB0115-2	入力	災害識別情報 災害名 管理者 管理団体名 道路種別 路線名 報告日時_開始 報告日時_終了 道路被害識別情報 災害終結フラグ	道路被害情報参照メッセージ	xml AB01s15-0100.xsd xml AB01s15-0100.wsd
	出力	道路被害情報	道路被害情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：道路被害情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	道路被害情報							1	N		道路に関する被害情報
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		管理者		X	2	○	管理者種別	1	1		道路の管理者(国、都道府県、市町村等)
6		管理団体名		N	30			1	1		道路を管理している団体名
7		道路種別		X	2	○	道路種別	1	1		道路の種別(地方道、高速道等)
8		路線名		N	30			1	1		路線名称(ex国道1号線等)。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。
9		報告日時		日付時間情報				1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとなデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
10		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名
11		道路被害識別情報		X	20			1	1		道路被害情報のID。道路被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋R+管理番号(5桁～)で管理する
12		被害区分		X	2	○	その他被害区分	1	1		被害の区分(ex 陥没等)。減災情報共有スキーマでは「被害区分」に相当。
13		発生場所		N	100			1	1	○	被害が発生した場所。TVCML2.0では被害情報(道路)(03-04)の「発生場所(情報項目識別子:03-04-01-03)」に相当。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない。減災情報共有スキーマでは「被害箇所住所」に相当。
14		対応状況		N	4000			0	1		被害に対する対応状況
15		緊急輸送路の指定		X	1	○	緊急輸送路指定	0	1		緊急輸送路指定の有無

メッセージ定義				メッセージ定義名：道路被害情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
16		復旧見込み日時		日付時間情報				0	1		復旧の見込みの日時。TVCML2.0では被害情報(道路)(03-04)の「発生・復旧日時(情報項目識別子:03-04-01-05)」に相当。
17		備考		N	4000				0	1	

メッセージ定義				メッセージ定義名：道路被害情報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：道路被害情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	管理者			X	2	○	管理者種別	0	1		道路の管理者(国、都道府県、市町村等)
5	管理団体名			N	30			0	1		道路を管理している団体名
6	道路種別			X	2	○	道路種別	0	1		道路の種別(地方道、高速道等)
7	路線名			N	30			0	1		路線名称(ex国道1号線等)。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。
8	報告日時_開始			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9	報告日時_終了			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
10	道路被害識別情報			X	20			0	1		道路被害情報のID。道路被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋R+管理番号(5桁～)で管理する
11	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：道路被害情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	道路被害情報							1	N		道路に関する被害情報
2		災害識別情報	X	20				1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3		災害名	N	40				1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4		管理者	X	2	○	管理者種別		1	1		道路の管理者(国、都道府県、市町村等)
5		管理団体名	N	30				1	1		道路を管理している団体名
6		道路種別	X	2	○	道路種別		1	1		道路の種別(地方道、高速道等)
7		路線名	N	30				1	1		路線名称(ex国道1号線等)。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。
8		報告日時		日付時間情報				1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとなデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名
10		道路被害識別情報	X	20				1	1		道路被害情報のID。道路被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋R+管理番号(5桁～)で管理する
11		被害区分	X	2	○	その他被害区分		1	1		被害の区分(ex 陥没等)。減災情報共有スキーマでは「被害区分」に相当。
12		発生場所	N	100				1	1	○	被害が発生した場所。TVCML2.0では被害情報(道路)(03-04)の「発生場所(情報項目識別子:03-04-01-03)」に相当。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない。減災情報共有スキーマでは「被害箇所住所」に相当。
13		対応状況	N	4000				0	1		被害に対する対応状況
14		緊急輸送路の指定	X	1	○	緊急輸送路指定		0	1		緊急輸送路指定の有無
15		復旧見込み日時		日付時間情報				0	1		復旧の見込みの日時。TVCML2.0では被害情報(道路)(03-04)の「発生・復旧日時(情報項目識別子:03-04-01-05)」に相当。

メッセージ定義				メッセージ定義名：道路被害情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
16		備考		N	4000			0	1		備考欄として道路被害情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧			業務ユニット名：防災情報共有（橋梁被害情報）	
インタフェース番号	入出力		メッセージ定義	WSDL定義
AB0116-1	入力	橋梁被害情報	橋梁被害情報登録メッセージ	xml AB01s16-0100.xsd xml AB01s16-0100.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	橋梁被害情報登録結果メッセージ	
AB0116-2	入力	災害識別情報 災害名 管理者 管理団体名 橋梁名 報告日時_開始 報告日時_終了 橋梁被害識別情報 災害終結フラグ	橋梁被害情報参照メッセージ	xml AB01s16-0100.xsd xml AB01s16-0100.wsdl
	出力	橋梁被害情報	橋梁被害情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：橋梁被害情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	橋梁被害情報							1	N		橋梁に関する被害情報
3		災害識別情報		X	20			1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
4		災害名		N	40			1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
5		管理者		X	2	○	管理者種別	1	1		橋梁の管理者
6		管理団体名		N	30			1	1		橋梁を管理している団体名
7		橋梁名		N	30			1	1		橋梁名。減災情報共有スキーマでは「橋梁名」に相当
8		報告日時		日付時間情報				1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名
10		橋梁被害識別情報		X	20			1	1		橋梁被害情報のID。橋梁被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋B+管理番号(5桁～)で管理する
11		被害区分		X	2	○	その他被害区分	1	1		被害の区分(ex 陥没等)。減災情報共有スキーマでは「被害区分」に相当。
12		発生場所		N	100			1	1	○	被害が発生した場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
13		対応状況		N	4000			0	1		被害に対する対応状況
14		復旧見込み日時		日付時間情報				0	1		復旧の見込みの日時
15		備考		N	4000			0	1		備考欄として橋梁被害情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義				メッセージ定義名：橋梁被害情報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：橋梁被害情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	災害識別情報			X	20			0	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3	災害名			N	40			0	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4	管理者			X	2	○	管理者種別	0	1		橋梁の管理者
5	管理団体名			N	30			0	1		橋梁を管理している団体名
6	橋梁名			N	30			0	1		橋梁名。減災情報共有スキーマでは「橋梁名」に相当
7	報告日時_開始			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないときデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8	報告日時_終了			日付時間情報				0	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないときデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
9	橋梁被害識別情報			X	20			0	1		橋梁被害情報のID。橋梁被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋B＋管理番号(5桁～)で管理する
10	災害終結フラグ			X	10			0	1		災害の終結状態（継続しているか、終結しているか）を表す

メッセージ定義				メッセージ定義名：橋梁被害情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	橋梁被害情報							1	N		橋梁に関する被害情報
2		災害識別情報	X	20				1	1		災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋管理番号(5桁～)で管理する
3		災害名	N	40				1	1		災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
4		管理者	X	2	○	管理者種別		1	1		橋梁の管理者
5		管理団体名	N	30				1	1		橋梁を管理している団体名
6		橋梁名	N	30				1	1		橋梁名。減災情報共有スキーマでは「橋梁名」に相当
7		報告日時		日付時間情報				1	1		報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
8		報告者名		職員名情報				0	1		報告を実施した職員の氏名
9		橋梁被害識別情報	X	20				1	1		橋梁被害情報のID。橋梁被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)＋市町村コード(3桁)＋B＋管理番号(5桁～)で管理する
10		被害区分	X	2	○	その他被害区分		1	1		被害の区分(ex 陥没等)。減災情報共有スキーマでは「被害区分」に相当。
11		発生場所	N	100				1	1	○	被害が発生した場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
12		対応状況	N	4000				0	1		被害に対する対応状況
13		復旧見込み日時		日付時間情報				0	1		復旧の見込みの日時
14		備考	N	4000				0	1		備考欄として橋梁被害情報に関連するその他情報を記入する

インタフェース一覧			業務ユニット名：防災情報共有（映像情報）	
インタフェース番号	入出力		メッセージ定義	W S D L 定義
AB0117-1	入力	映像情報	映像情報登録メッセージ	lgxmlAB01s17-0100.xsd lgxmlAB01s17-0100.wsdl
	出力	結果情報 結果内容 受領日時	映像情報登録結果メッセージ	
AB0117-2	入力	管理者 管理団体名	映像情報参照メッセージ	lgxmlAB01s17-0100.xsd lgxmlAB01s17-0100.wsdl
	出力	映像情報	映像情報参照結果メッセージ	

メッセージ定義				メッセージ定義名：映像情報登録メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	映像情報							1	N		各団体における定点カメラ映像や公共施設管理のカメラ映像等に関する情報
3		管理者		X	2	○	管理者種別	1	1		映像情報を管理・配信している団体種別（国、都道府県、市町村、その他）
4		管理団体名		N	30			1	1		映像情報を管理・配信している団体名称
5		映像提供元URL		X	4000			1	1		被害映像情報を提供先のURL
6		備考		N	4000			0	1		備考欄として映像情報に関連するその他情報を記入する

メッセージ定義				メッセージ定義名：映像情報登録結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	結果情報			X	1			1	1		処理結果コード
2	結果内容			N	256			0	1		処理内容（エラー内容）
3	受領日時			日付時間情報				1	1		受領日時を入れる

メッセージ定義				メッセージ定義名：映像情報参照メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	利用業務ユニット			X	4	○	業務ユニット	1	1		データ連携においてデータを利用する側の業務ユニット（サービス要求側業務ユニット）の業務ユニット番号
2	管理者			X	2	○	管理者種別	0	1		映像情報を管理・配信している団体種別（国、都道府県、市町村、その他）
3	管理団体名			N	30			0	1		映像情報を管理・配信している団体名称

メッセージ定義				メッセージ定義名：映像情報参照結果メッセージ							
NO	データ項目名			データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	項目説明
						CD	コード名	最小	最大		
1	映像情報							1	N		各団体における定点カメラ映像や公共施設管理のカメラ映像等に関する情報
2		管理者		X	2	○	管理者種別	1	1		映像情報を管理・配信している団体種別(国、都道府県、市町村、その他)
3		管理団体名		N	30			1	1		映像情報を管理・配信している団体名称
4		映像提供元URL		X	4000			1	1		被害映像情報を提供先のURL
5		備考		N	4000			0	1		備考欄として映像情報に関連するその他情報を記入する

資料No.「業務1－13」

防災業務アプリケーションユニット標準仕様
【コード辞書】

V1.0

平成21年3月



財団法人全国地域情報化推進協会

目 次

本書の位置づけ	1
コード辞書	2

本資料の位置づけ

本書「防災業務アプリケーションユニット標準仕様【コード辞書】」は、各業務ユニット間の連携データ項目において、共通的なリファレンスとなるデータ項目のコード値及びコード値に対応する内容を定義した辞書である。

本書は、インタフェースの設計等を効率的に進めることを目的としており、同標準仕様「インタフェース仕様」(業務1－7)や「データ一覧」(業務1－8)等を参照する時に利用する。

<<準拠ルール>>

- ： 各業務ユニットは、利用側の業務ユニットとのデータ連携(SOAP連携)時に、本コード辞書に定義された値に変換できること。(必須) [1.13]

コード辞書(防災情報共有)				版	作成日
				標準仕様V1.0	H21.3.4
項番	項目名	データ型	桁数	コード値	コード値の内容
1	災害区分	X	2	01	台風
				02	暴風
				03	豪雨
				04	降雪
				05	洪水
				06	高潮
				07	地震
				08	津波
				09	火災
				10	爆発
				11	噴火
				12	雷害
				13	落雷
				14	地滑り等
				15	竜巻
				16	強風
				17	その他嵐
				18	干ばつ
				19	異常高温
				20	異常低温
				21	非熱帯サイクロン
				22	鉄砲水
				23	雪崩
				24	泥流
				25	地震火災
				26	森林火災
				27	伝染病
				28	虫害
				29	その他自然災害
				30	複合災害
				31	人為災害
				32	その他
				99	未定義災害
2	確実度	X	1	1	確定報
				2	速報
3	対応状況	X	1	1	未対応
				2	対応中
				3	対応済
4	被害種別	X	1	1	人
				2	住家
				3	非住家
				4	その他
5	人的被害区分	X	1	1	死者
				2	行方不明者
				3	負傷者_重傷
				4	負傷者_軽傷
6	住家被害区分	X	1	1	全壊
				2	半壊
				3	一部破損
				4	床上浸水
				5	床下浸水
7	被害対象	X	2	01	人的被害
				02	住家被害
				03	非住家被害_公共建物
				04	非住家被害_その他
				05	その他_田
				06	その他_畑
				07	その他_文教施設
				08	その他_病院
				09	その他_道路
				10	その他_橋りょう
				11	その他_河川
				12	その他_港湾
				13	その他_砂防
				14	その他_清掃施設
				15	その他_崖くずれ
				16	その他_鉄道不通
				17	その他_被害船舶
				18	その他_水道
				19	その他_電話
				20	その他_電気
				21	その他_ガス
				22	その他_ブロック塀等
8	非住家被害区分	X	1	1	全壊

コード辞書(防災情報共有)				版	作成日
				標準仕様V1.0	H21.3.4
項番	項目名	データ型	桁数	コード値	コード値の内容
9	その他被害区分	X	2	2	半壊
				3	一部破損
				4	床上浸水
				5	床下浸水
				01	流失
				02	埋没
				03	冠水
				04	全壊
				05	半壊
				06	一部破損
				07	床上浸水
				08	床下浸水
				09	路面陥没
				10	路面崩壊
				11	土砂崩落
				12	落橋
				13	橋脚破損
				14	橋台破損
				15	越水
				16	破堤
				17	決壊
				18	土砂流入
				19	水没
				20	線路流失
				21	築堤崩壊
				22	橋桁流失
				23	列車脱線
				24	架線被害
				25	施設被害
				26	衝突
				27	座礁
				28	転覆
				29	爆発火災
				30	浸水
				31	油流失
				32	その他の流失
10	メッセージの状態	X	1	1	実際の避難情報
				2	避難演習
				3	システムの内部機能向けのメッセージ
				4	テスト用
				5	テンプレートやメッセージ例など
11	メッセージの種類	X	1	1	最初の避難情報
				2	避難情報の更新情報
				3	避難情報の取り消し
				4	受信者が避難情報の指示に同意したことを送信者に報告する情報
				5	受信者が避難情報の指示を拒否したことを送信者に報告する情報
12	配信範囲	X	1	1	公開配信
				2	限定配信
				3	宛先指定配信
13	避難勧告指示種別	X	1	1	避難準備
				2	避難勧告
				3	避難指示
				4	自主避難
14	可否	X	1	1	可
				2	不可
15	市外区分	X	1	1	市内
				0	市外
16	避難区分	X	1	1	避難済
				2	未避難
				3	退所済

コード辞書(防災情報共有)					版	作成日
					標準仕様V1.0	H21.3.4
項番	項目名	データ型	桁数	コード値	コード値の内容	
17	負傷	X	1	1	有	
				0	無	
18	アレルギー	X	1	1	アレルギー有	
				0	アレルギー無	
19	妊婦区分	X	1	1	妊婦中	
				0	該当しない	
20	乳幼児区分	X	1	1	乳児	
				2	幼児	
				0	該当しない	
21	要介護度	X	2	00	非該当	
				01	要支援	
				02	要介護1	
				03	要介護2	
				04	要介護3	
				05	要介護4	
				06	要介護5	
				91	みなし非該当	
				92	みなし要支援	
				93	みなし要介護	
22	一人暮らし高齢者_65歳以上	X	1	1	該当する	
				0	該当しない	
23	高齢者世帯_夫婦共に65歳以上	X	1	1	該当する	
				0	該当しない	
24	寝たきり高齢者	X	1	1	該当する	
				0	該当しない	
25	認知症高齢者	X	1	1	該当する	
				0	該当しない	
26	療育手帳等級	X	2	01	最重度	
				02	0A	
				03	A1	
				04	1度	
				05	重度	
				06	A	
				07	A2	
				08	2度	
				09	中度	
				10	B	
				11	B1	
				12	3度	
				13	軽度	
				14	C	
				15	B2	
				16	4度	
				99	なし	
27	身体障がい者手帳1,2級所持者	X	1	1	1級	
				2	2級	
				0	該当しない	
28	管理者種別	X	2	01	国	
				02	都道府県	
				03	市町村	
				04	その他	
29	道路種別	X	2	01	高速自動車道	
				02	都市高速道路	
				03	一般国道	
				04	主要地方道(都道府県道)	
				05	主要地方道(指定市道)	
				06	一般都道府県道	
				07	指定市の一般市道	
				09	その他の道路	
				00	未調査	
30	通行規制の原因となった災害の種別	X	1	0	雨量	
				1	災害	
				2	工事	
				3	冬季	
31	緊急輸送路指定	X	1	1	有	
				0	無	
32	時間帯規制種別	X	1	0	終日	
				1	時間帯	
33	迂回路	X	1	1	有	
				0	無	
34	重要施設	X	2	01	原子力関連施設	
				02	放射性物質取扱施設	
				03	危険物取扱施設	
				04	毒物・劇物取扱施設	
				05	火薬類取扱施設	

コード辞書(防災情報共有)					版	作成日
					標準仕様V1.0	H21.3.4
項番	項目名	データ型	桁数	コード値	コード値の内容	
				06	その他の重要施設	